

品川区

子ども・子育て支援事業計画の 中間年度見直しに伴う意向調査

報告書

令和 4 年 10 月

品 川 区

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査の概要	3
3. 調査項目	3
4. 調査結果を見る上での注意事項	4
5. 調査結果の特徴	4
第2章 調査結果の詳細	6
1. 家族の住まい	8
(1) 居住地区【3歳未満・以上：問1】	8
(2) 居住年数【3歳未満・以上：問1-1】	8
2. 子どもと家族の状況	9
(1) お子様の年齢【3歳未満・以上：問2】	9
(2) きょうだいの人数【3歳未満・以上：問3】	9
(3) 調査票回答者【3歳未満・以上：問4】	10
(4) 回答者の配偶関係【3歳未満・以上：問5】	10
(5) 子育てを主に行っている人【3歳未満・以上：問6】	11
3. 教育環境	12
(1) 子育てをする上で、気軽に相談できる人の有無【3歳未満・以上：問7】	12
(2) 子育てに関して、気軽に相談できる先【3歳未満・以上：問8】	13
(3) 日頃子どもをみてもらえる親族・知人【3歳未満・以上：問9】	14
4. 保護者の就労状況	17
(1) 子育てや就労についての考え方【3歳未満・以上：問10】	17
(2) 就労状況【3歳未満・以上：問11-1】	19
(3) フルタイムへの転換希望【3歳未満・以上：問11-2】	23
(4) 就労希望【3歳未満・以上：問11-3】	25
5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	29
(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用有無【3歳未満・以上：問12】	29
(2) 平日に、定期的に利用したい教育・保育事業【3歳未満・以上：問13】	40
(3) 保育施設検討時の立地に関する考え方【3歳未満・以上：問14】	42
6. 新型コロナウイルス感染症による影響	43
(1) 保護者の働き方の変化【3歳未満・以上：問15】	43
(2) 保護者の働き方の変化【3歳未満・以上：問16】	44
7. 地域の子育て支援事業の利用状況	45
(1) 地域子育て支援事業の現在の利用状況・今後の利用希望【3歳未満・以上：問17】	45
(2) 事業の認知度、利用意向【3歳未満・以上：問18】	51
8. 土曜・日曜・休日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望	55
(1) 土曜・日曜・休日の定期的な教育・保育事業の利用希望【3歳未満・以上：問19】	55

(2) 毎週ではなく、たまに利用したい理由【3歳未満・以上：問19-1】	62
9. 子どもが病気の際の対応（平日の教育・保育の利用者のみ）	63
(1) 病気やケガで通常の事業を利用できなかった経験【3歳未満・以上：問20】	63
(2) 病児保育施設等の利用希望【3歳未満・以上：問20-1】	70
(3) 病後児保育施設等の利用希望【3歳未満・以上：問20-2】	71
10. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	72
(1) 不定期な教育・保育事業の利用状況【3歳未満・以上：問21】	72
(2) 不定期な教育・保育事業の利用希望【3歳未満・以上：問22】	79
(3) 宿泊を伴う一時預かりが必要な機会の有無【3歳未満・以上：問23】	84
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度	88
(1) 育児休業の取得状況【3歳未満・以上：問24】	88
12. 小学校就学後の放課後の過ごし方（生年月日が平成30年4月1日以前の場合）	91
(1) 放課後過ごさせたい場所／小学校低学年（1～3年生）【3歳以上：問25】	91
(2) 放課後過ごさせたい場所／小学校高学年（4～6年生）【3歳以上：問26】	96
(3) すまいるスクールの利用希望【3歳以上：問27】	101
13. 自由記述	103
(1) 自由記述【3歳未満：問25・3歳以上：問28】	103

資料編（調査票）

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とする「第二期品川区子ども・子育て支援事業計画」の中間年度見直しに向けた基礎資料とするため、区民の教育・保育・子育て支援に関する現在の利用状況や今後の利用希望等を把握するアンケート調査を実施することとした。

2. 調査の概要

調査対象	3歳未満	区内に居住する0歳～3歳未満の子どもを持つ保護者(3,459人)
	3歳以上	区内に居住する3歳～就学前の子どもを持つ保護者(3,541人)
調査方法	郵送およびインターネットによるアンケート調査	
調査期間	令和4年7月4日(月)～7月29日(金)	
回収結果	全体	3,770件(回収率53.9%)
	3歳未満	1,917件(回収率55.4%)
	3歳以上	1,853件(回収率52.3%)

3. 調査項目

●家族の住まい

[居住地区、居住年数]

●子どもと家族の状況

[子どもの年齢、きょうだい人数、調査票回答者、回答者の配偶関係、子育てを主に行う人]

●養育環境

[子育ての相談先、日頃子どもをみてもらえる親族・知人]

●保護者の就労状況

[子育てや就労への考え方、就労状況、就労意向]

●平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

[事業の利用有無、利用意向、保育施設の立地に関する考え方]

●新型コロナウイルス感染症による影響

[働き方の変化、平日の定期的な教育・保育事業の利用の変化]

●地域の子育て支援事業の利用状況

[事業の現在の利用状況、認知状況、利用意向]

●土曜・日曜・休日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

[事業の利用希望、毎週(毎日)ではなくたまに利用したい理由]

●子どもが病気の際の対応(平日の教育・保育の利用者のみ)

[病気等で通常事業を利用できなかった経験、病児・病後児保育施設等の利用希望]

●不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

[事業の利用状況、利用希望、宿泊を伴う一時預かりが必要な機会の有無]

●育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度

〔育児休業取得状況〕

●小学校就学後の放課後の過ごし方（生年月日が平成30年4月1日以前の場合）

〔放課後過ごさせたい場所、すまいるスクールの利用希望〕

●自由意見

4. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、％を足し合わせて100％にならない場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

5. 調査結果の特徴

本調査の主目的である、区民の教育・保育・子育て支援に関する現在の利用状況や今後の利用希望等は、家族構成や保護者の就労状況等の家庭の状況が影響する。

今回の調査では、フルタイム（育休等含む）で働く母親が、前回（平成30年度）の調査より増加したが、より詳細を見るべく、調査結果から国が定める家庭類型[※]（タイプAからFの8種類）に沿った分布を算出したところ、両親共にフルタイム勤務の家庭（タイプB）が現状で66.4%、今後の希望を踏まえた潜在的には69.0%となった一方、専業主婦（夫）の家庭（タイプD）は現状で18.4%、潜在で15.1%となった。

前々回、前回、今回と調査を経るごとに専業主婦（夫）の家庭が減り、両親共にフルタイム勤務の家庭が増える状況が見られる。

[※] 国の定義では、本調査の両親の就労形態等の項目より現状の家庭類型別割合を算出。現状の家庭類型に、本調査における転職希望、1年以内の就労希望等の意向を反映させて潜在的な家庭類型を算出

タイプ	家庭類型	構成比(上段=現状・下段=潜在)		
		今回 (R4)	前回 (H30)	前々回 (H25)
A	ひとり親家庭	2.0%	2.6%	4.4%
		2.0%	2.6%	4.4%
B	フルタイム×フルタイム	66.4%	57.0%	44.3%
		69.0%	59.4%	46.6%
C	フルタイム×パートタイム (月 120 時間以上+48 時間～120 時間の一部)	7.8%	8.2%	7.6%
		7.7%	8.1%	6.9%
C'	フルタイム×パートタイム (月 48 時間未満+48 時間～120 時間の一部)	4.5%	4.5%	4.2%
		5.7%	6.3%	3.9%
D	専業主婦(夫)	18.4%	27.6%	38.8%
		15.1%	23.5%	37.6%
E	パートタイム×パートタイム (双方が月 120 時間以上+48 時間～120 時間の一部)	0.2%	0.0%	0.2%
		0.0%	0.0%	0.2%
E'	パートタイム×パートタイム (いずれかが 48 時間未満+48 時間～120 時間の一部)	0.1%	0.0%	0.0%
		0.1%	0.0%	0.0%
F	無業×無業	0.6%	0.1%	0.5%
		0.4%	0.1%	0.4%

第2章 調査結果の詳細

1. 家族の住まい

(1) 居住地区【3歳未満・以上：問1】

問1 お住まいの地区をお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

3歳未満・3歳以上いずれも、「品川地区」が他に比べてやや多く、「大崎地区」が少ない。これら以外の4地区はほぼ同じ割合であった。

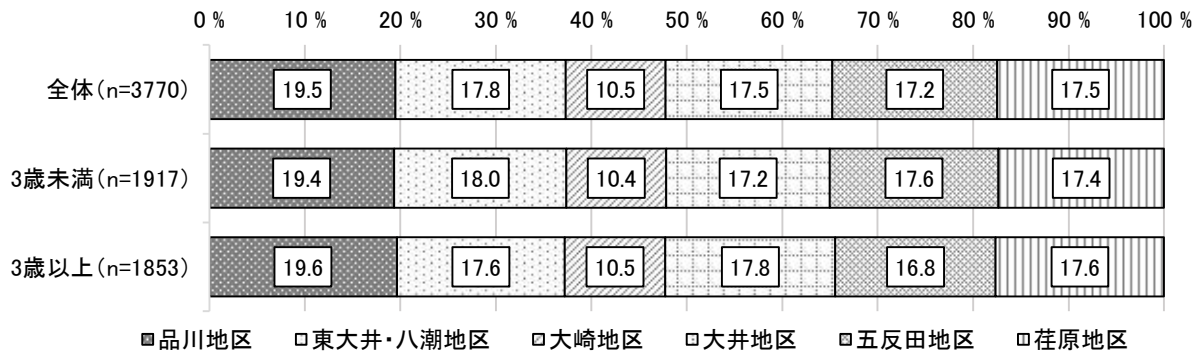


図1 居住地区

(2) 居住年数【3歳未満・以上：問1-1】

問1-1 品川区に居住して何年になりますか。(口内に数字(1枠に1字)をご記入ください)

3歳未満は、「0～4年」が46.1%で最も多い。
 3歳以上は、「5～9年」が40.7%で最も多い。

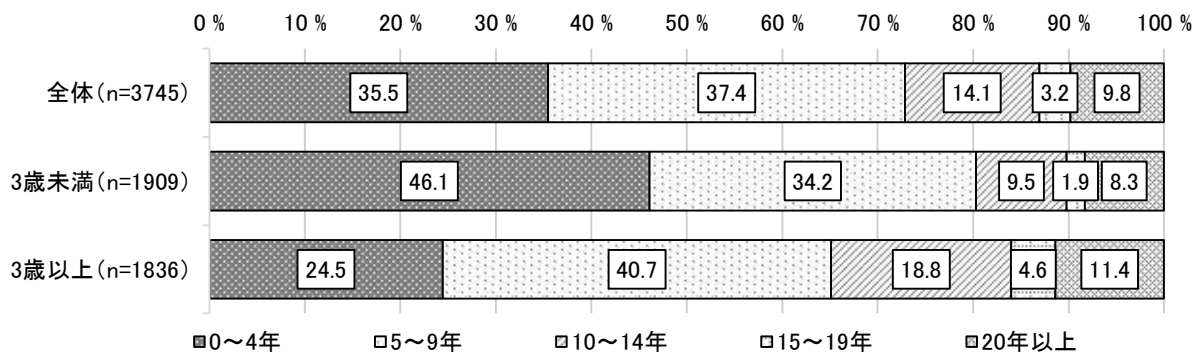


図2 居住年数

2. 子どもと家族の状況

(1) お子様の年齢【3歳未満・以上：問2】

問2 あて名のお子様の生年月をご記入ください。(□内に数字(1枠に1字)をご記入ください)

3歳未満は、「0歳」(34.3%)、「1歳」(32.4%)、「2歳」(33.3%)となっている。
3歳以上は、「3歳」(35.9%)、「4歳」(33.8%)、「5歳」(30.4%)となっている。

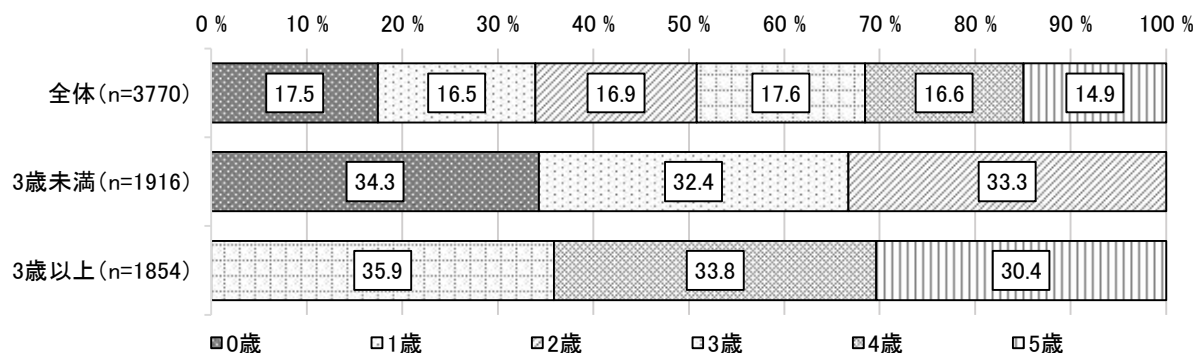


図3 お子さんの年齢

(2) きょうだいの人数【3歳未満・以上：問3】

問3 あて名のお子様にかょうだいは何人いますか。あて名のお子様を含めた人数をご記入ください。きょうだいが2人以上の場合は、末子の生年月をご記入ください。(□内に数字(1枠に1字)をご記入ください)

3歳未満は、「1人(一人っ子)」が57.5%で最も多い。
3歳以上は、「2人」が46.7%で最も多い。

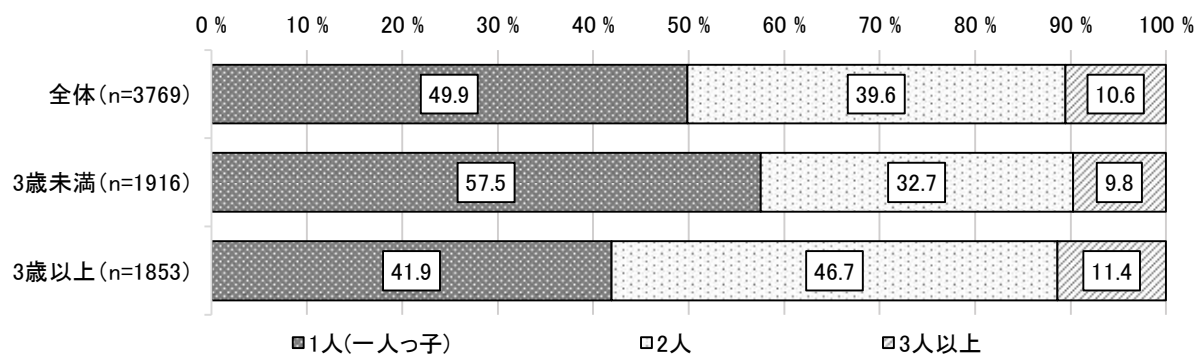


図4 きょうだいの人数

(3) 調査票回答者【3歳未満・以上：問4】

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子様からみた関係でお答えください。

3歳未満・3歳以上ともに、「母親」が8割前後を占めた。

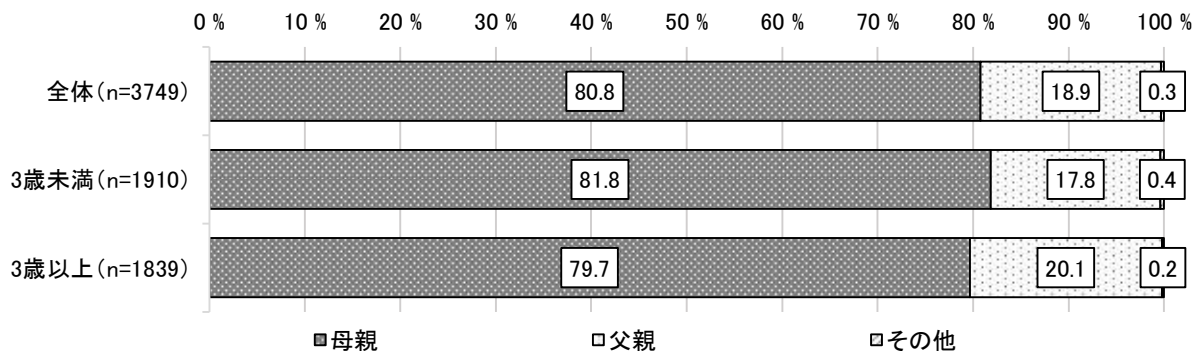


図5 調査票回答者

(4) 回答者の配偶関係【3歳未満・以上：問5】

問5 この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。

3歳未満・3歳以上ともに、「配偶者（パートナー）がいる」が9割以上を占めた。

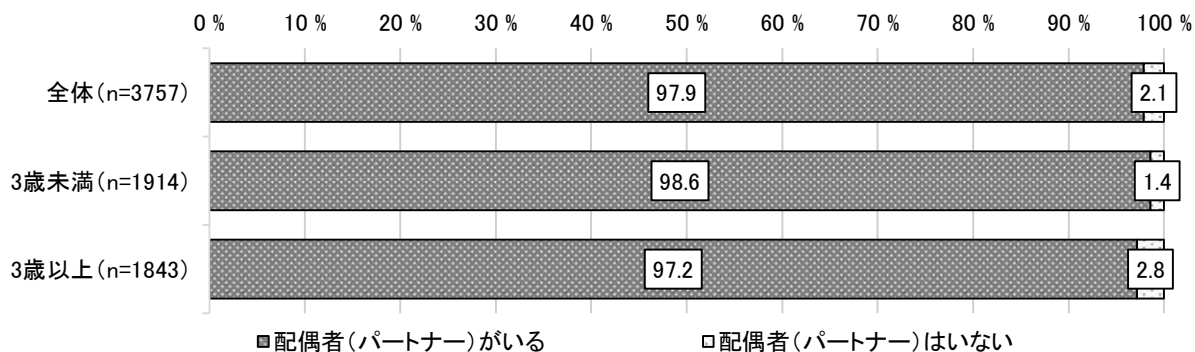


図6 回答者の配偶関係

(5) 子育てを主に行っている人【3歳未満・以上：問6】

問6 あて名のお子様の子育て（教育を含む）を主に行っている方はどなたですか。お子様からみた関係でお答えください。

3歳未満・3歳以上ともに、「父母ともに」が7割弱で最も多い。次いで「主に母親」が約3割となった。

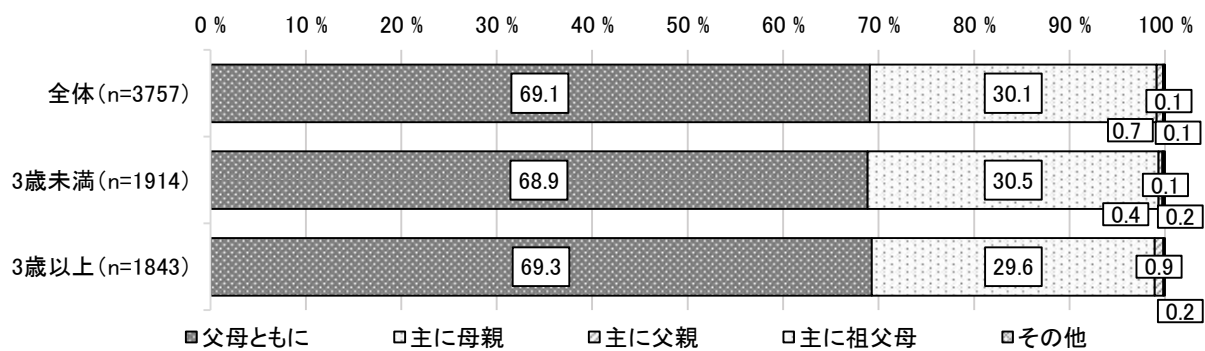


図 7 子育てを主に行っている人

3. 教育環境

(1) 子育てをする上で、気軽に相談できる人の有無【3歳未満・以上：問7】

問7 お子様の子育て（教育を含む）について気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。いる（ある）場合は、相談相手（場所）とあわせてお答えください。あてはまる番号1つに○、記号すべてに○をつけてください。

3歳未満・3歳以上ともに、「いる（ある）」が9割を超えている。

3歳未満・3歳以上ともに「配偶者（パートナー）・祖父母等の親族」が約95%で最も多く、次いで「友人や知人」が約7割、「保育園の先生」が4割台となっている。

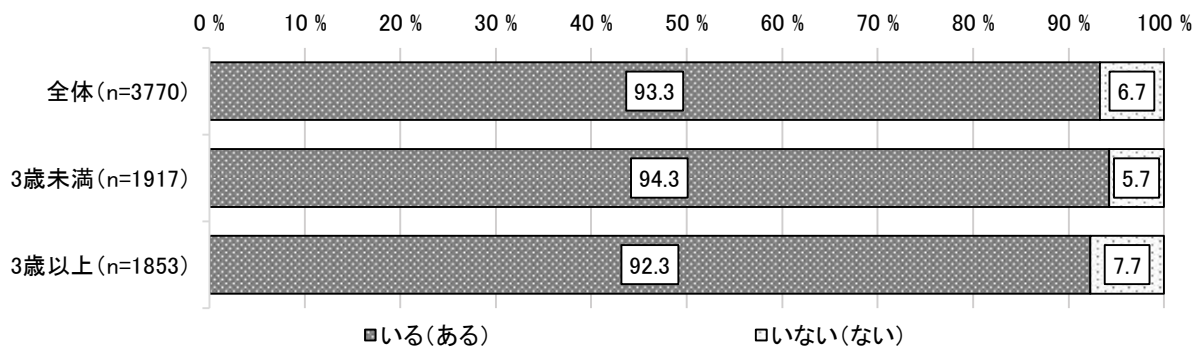


図 8 相談相手の有無

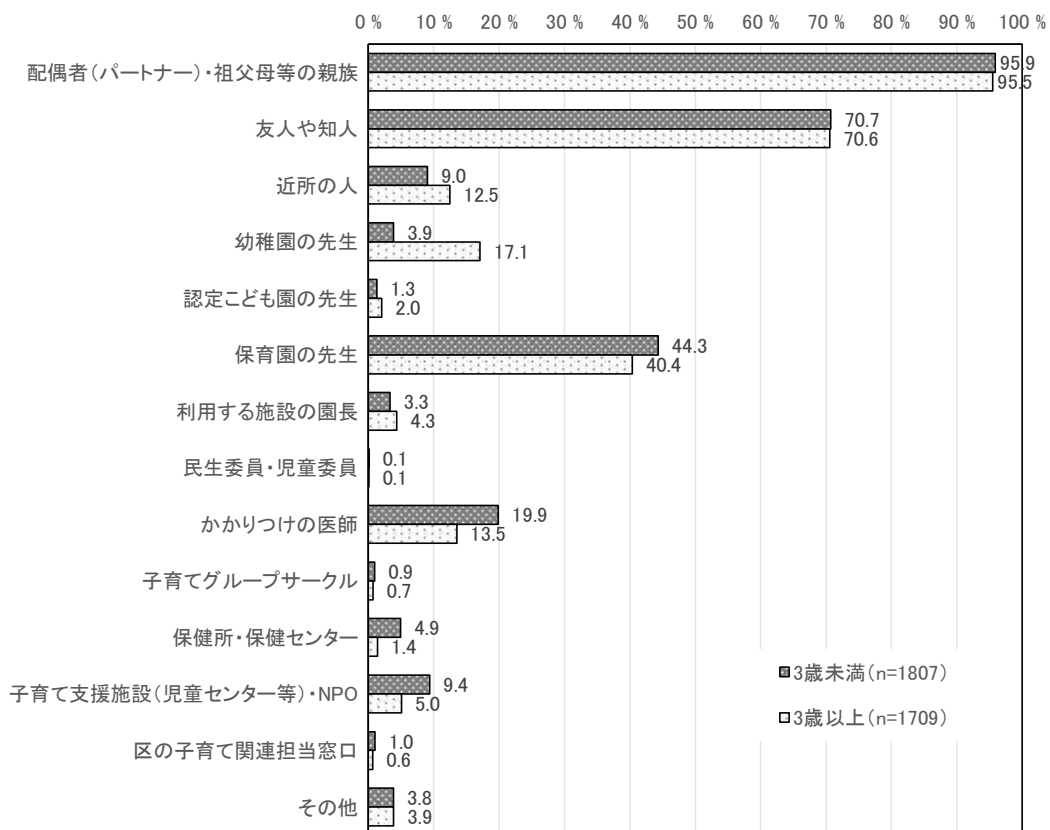


図 9 相談相手

(2) 子育てに関して、気軽に相談できる先【3歳未満・以上：問8】

問8 日頃、お子様をみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

3歳未満・3歳以上ともに、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が6割弱と最も多く、次いで「いずれもない」が3割弱を占めた。

3歳未満では、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が13.0%で続いた。

3歳以上では、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が15.4%で続いた。

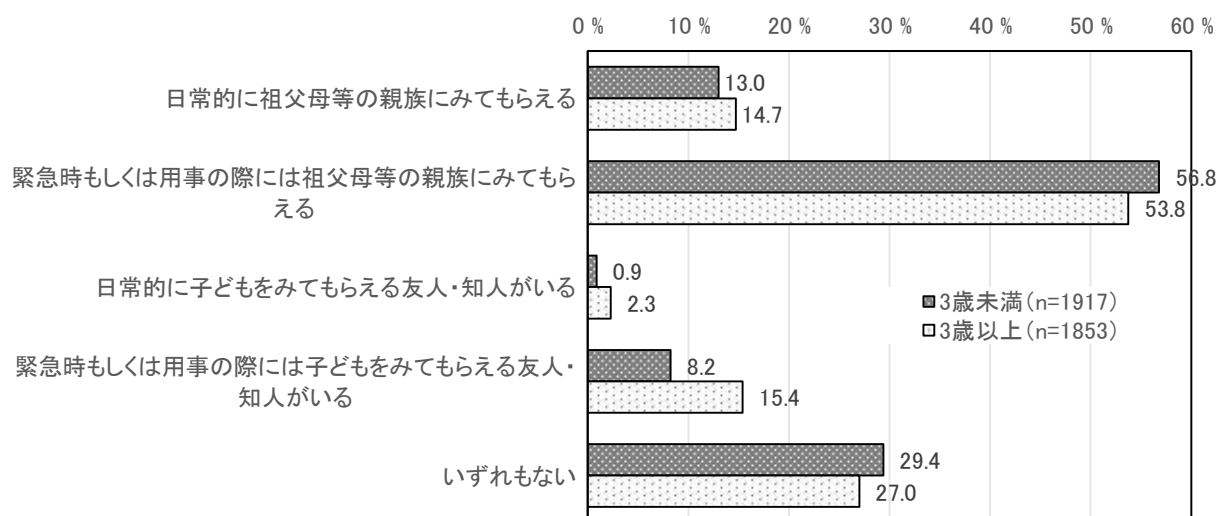


図 10 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

(3) 日頃子どもをみてもらえる親族・知人【3歳未満・以上：問9】

問9 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあれば良いと思いますか。ご自由にご記入ください。

2,423人（回答者の64.3%）から回答があり、うち「特になし」の類を除く2,343人の回答について事業を中心とした分類に整理したところ、次図のような分布となった。

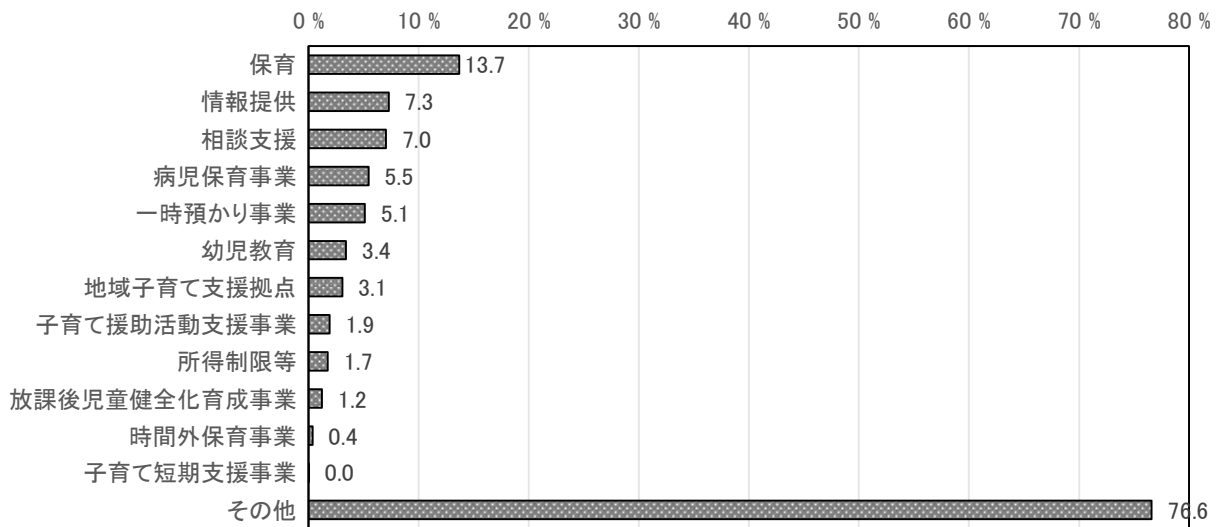


図 11 周囲に望むサポート内容

主な意見（一部抜粋・要約しています）

保育	
要望	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育園、幼稚園などの詳細な情報をまとめて教えてほしい。 ● 専業主婦の場合でも、保育園への入園を認めてほしい。 ● 熱で急に保育園に預けることができなくなった場合、シッターも使えず、仕事を休むしか方法がない。急時に対応してもらえるヘルパー等がほしい。
意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 認可保育園に預けている場合、オアシスルームが使えないため、美容院に行けない。ワンオペなので夫には子を頼めない。仕事以外の場合でも保育園での預かりを認めてほしい。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育園のサポートはとても手厚く助かっている。

情報提供	
要望	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政などにどのようなサービスがあるのか、もっと情報を得やすくなるとよい。 ● 子の発育に応じて、行政からお知らせなどがあるとよい。
意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育てに関する情報を紙ベースではなくHPを通じて分かりやすく告知してほしい。現行のHPにも情報はあると思うが、情報が探しにくいし分かりにくい。

相談支援	
要望	<ul style="list-style-type: none"> ● たわいもない話を聞いてほしい。 ● スマホ等で気軽に相談できる仕組みがあると嬉しい。 ● 本人と教育や子育てに関わることを、共によく知る人に助言してほしい。
意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもを連れて、気軽に相談員や行政担当者に相談に行けるような場所を増やして

	ほしい。保健センターなど区の建物は駅から遠く、不便である。
評価	● 健診へ参加しなかった際、お電話いただき、話をきいていただくと共に、アドバイスをたくさんいただけてとても助かった。特に、当時は上の子との関わり方に悩んでいた。今後もこのような対応をしていただけると、助かるママがいるだろう。

病児保育事業	
要望	● 病児保育をより拡充してほしい。 ● 病児保育の手続きがもっと簡素になればありがたい。

一時預かり事業	
要望	● 保育園入園後もオアシスルームが使用できるようにしてもらえると通院や用事の時に助かる。 ● オアシスルームのような預かり施設の枠を増やしてほしい。上の子の時、オアシスルームを利用したい日に空きがなく利用できないことが何度もあった。 ● オアシスルームのような場所がもう少しあった方がよい。なかなか予約で入れなかったり、急遽預けないといけない場面で活用できなかったりする。 ● オアシスルームのような施設が当日でも気軽に利用できるとうれしい。
意見	● わたしの住む居住区にはオアシスがあるが、遠いので利用しにくい。
評価	● 保育園に入園出来なかった際、オアシスルームを利用していました。オアシスルームは非常に助かりました。

幼児教育	
要望	● 幼稚園についてもっと情報が得られる場がほしい。 ● 幼稚園の送り迎えをしてほしい。

地域子育て支援拠点事業	
要望	● 児童センターの参加は予約制ではなく、好きなタイミングで参加できるとありがたい。 ● ママ友が作りにくい環境だと思うので、児童センター等での交流の場を充実させてほしい。 ● 児童館の数を増やしてほしい。 ● 日曜日もあいてる児童センターが増えてほしい。 ● いろいろな経験をさせてあげたいけれど、習い事にはお金がかかるため、区での保健センター等での親子体操やリトミック・ダンスなど、お手頃な金額でできるものをもっと充実してほしい。
意見	● 地域の児童館などは混んでいて予約が取れない。
評価	● 児童センターのスタッフのように、話をきいてくれて、少し見てもらえる存在はありがたいと、利用させてもらっている。

子育てに関する援助（子育て援助活動支援事業等）	
要望	● ファミサポの提供会員を増やしてほしい。相談に行ったが、提供会員が少なく希望していたサービスが受けられなかった。 ● ファミサポを充実してほしい。登録やマッチングが面倒な上、そもそも提供会員が足りていないと聞いている。
意見	● ファミリーサポートは予約が億劫になって活用できなかった。

所得制限等	
-------	--

要望	● 児童手当の所得制限の基準が下がっているため、品川区独自の児童手当のような制度を作ってほしい。
意見	● 保育料が高すぎる。住民税を多く支払う人ほど保育料も高いのも納得がいかない。

放課後児童健全育成事業	
要望	<ul style="list-style-type: none"> ● 学童の情報を得ることが難しいため、相談先がほしい。 ● 夏休み等の長期休暇に、学童でも給食やお弁当を出してほしい。 ● 学童は終了時間が早いため、追加料金を徴収する等で、延長して預かってほしい。

時間外保育事業	
要望	● 時間外保育、土日保育を簡単に利用できるようにしてほしい。

子育て短期支援事業	
要望	● 区のショートステイは、親の出張時は利用できるが、夜勤の際は利用できないと言われ疑問を感じる。同等に使えるようにしてほしい。

その他	
要望	<ul style="list-style-type: none"> ● 緊急時等、気軽に子どもを預けられる環境がほしい。 ● 明石市のようにオムツの配布をかねて月に一回訪問するサポートを導入してほしい。 ● 各種手続をデジタル化するとともに、役所の子ども関連相談窓口を一元化してほしい。 ● 産後ドゥーラの使用期間と補助金額、補助時間を拡張してほしい。 ● 金銭的な支援がほしい。 ● 実際に子育て中の先輩ママなどと座談会のようなことをしたい。
意見	● 新型コロナウイルスの影響で保育園休園が続き、仕事に支障が出ている。休園中に見てもらえる施設を作るか、見てもらえる人に自宅に来てほしい。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 産後ドゥーラはとても助かった。助産師さんの訪問も心強かった。 ● 最近始まった品川区のベビーシッター助成はありがたいと思った。ただし利用者が多く思い通りにシッターが捕まらない。

4. 保護者の就労状況

(1) 子育てや就労についての考え方【3歳未満・以上：問10】

問10 お子様の保護者は子育てと就労についてどのような希望がありますか。それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。

①母親／子育て・就労の希望

3歳未満・3歳以上ともに「教育・保育事業を利用して働きながら子育てをしたい」が8割弱と最も多く、次いで「在宅で子育てをしたい」が約2割と続いた。

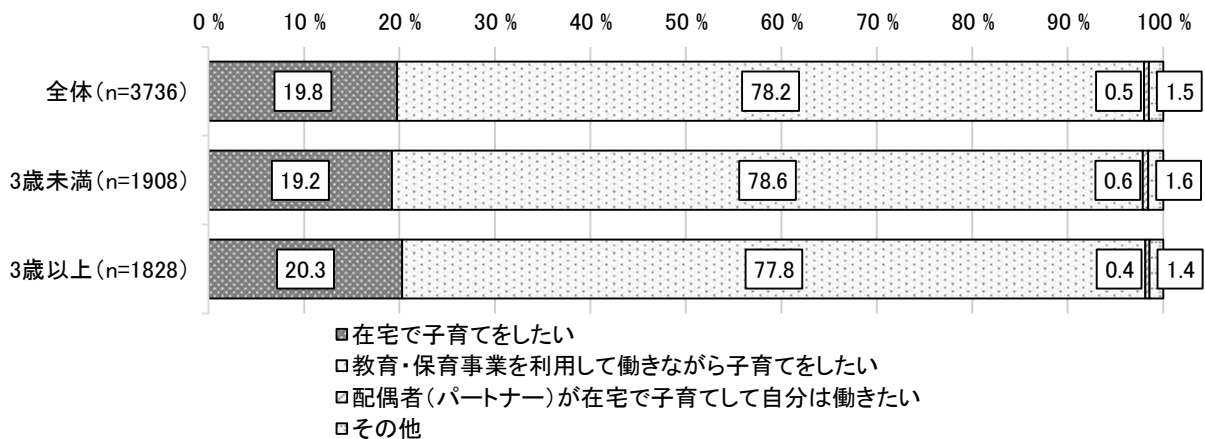


図 12 母親／子育て・就労の希望

■前回調査(H30 実施)比較

「在宅で子育てをしたい」が、前回調査より2.1ポイント減ったのに対し、「教育・保育事業を利用して働きながら子育てをしたい」が2.7ポイント増えた。

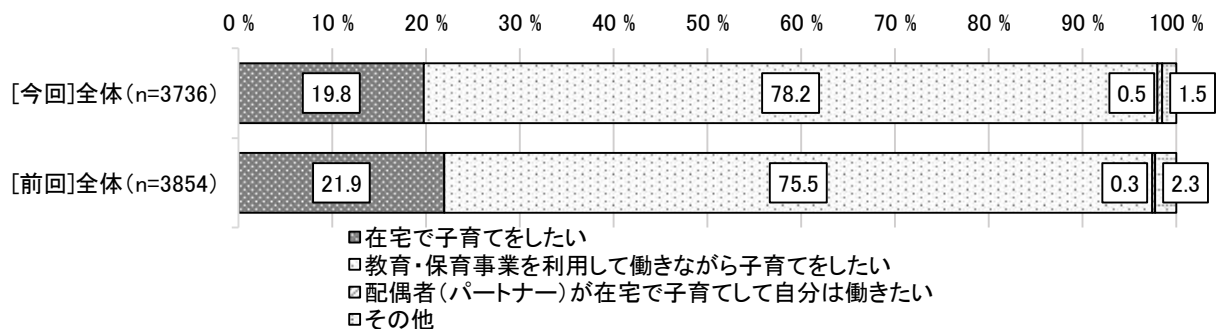


図 13 母親／子育て・就労の希望 (前回調査との比較)

②父親／子育て・就労の希望

3歳未満・3歳以上ともに「教育・保育事業を利用して働きながら子育てをしたい」が8割弱と最も多く、次いで「配偶者（パートナー）が在宅で子育てして自分は働きたい」が2割弱と続いた。

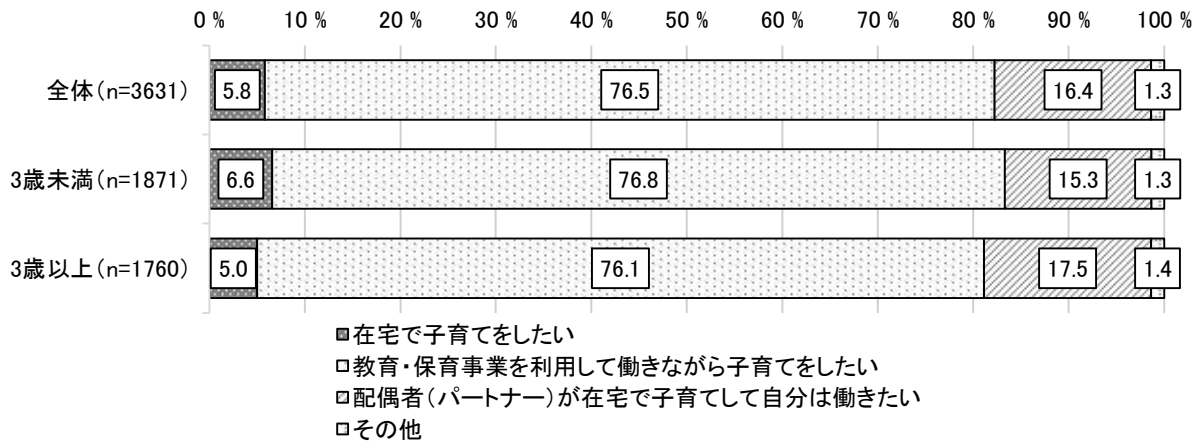


図 14 父親／子育て・就労の希望

■前回調査(H30 実施)比較

「教育・保育事業を利用して働きながら子育てをしたい」が、前回調査よりも4.6ポイント増えたのに対し、「配偶者が在宅で子育てして自分は働きたい」が7.6ポイント減った。

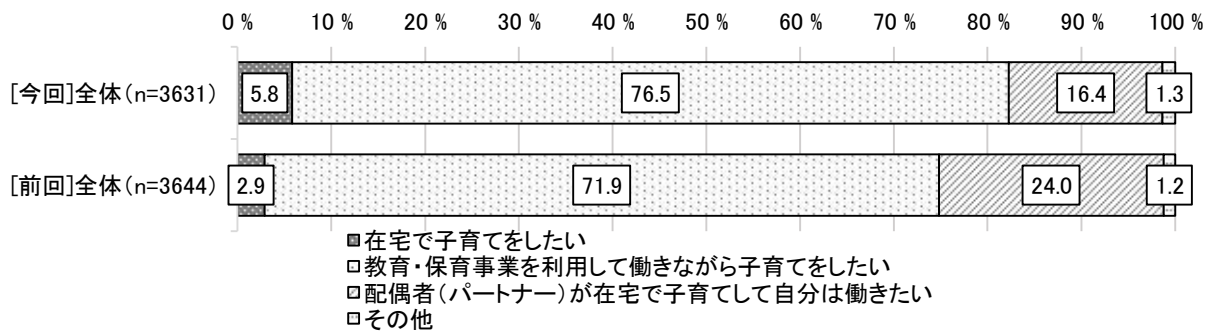


図 15 父親／子育て・就労の希望（前回調査との比較）

(2) 就労状況【3歳未満・以上：問11-1】

問11 お子様の保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を伺います。

問11-1 保護者の就労状況と就労時間をお答えください。就労日数、就労時間等が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。それぞれ、あてはまる番号1つに○、□内に数字（1枠に1字）をご記入ください。

①母親／就労状況

3歳未満・3歳以上ともに「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が5割前後で最も多かった。

次いで、3歳未満では「フルタイムで就労しているが、産休・介護休業中である」が、3歳以上では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が続いた。

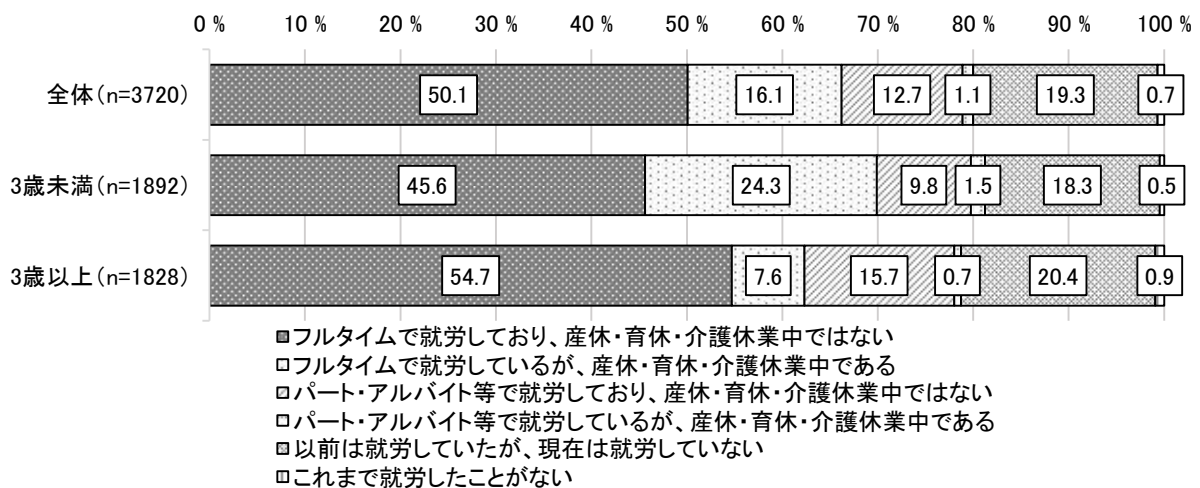


図 16 母親／就労状況

■前回調査(H30 実施)比較

フルタイム（育休等含む）で働く（「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の合計）母親が、前回調査よりも7.1ポイント増えた。

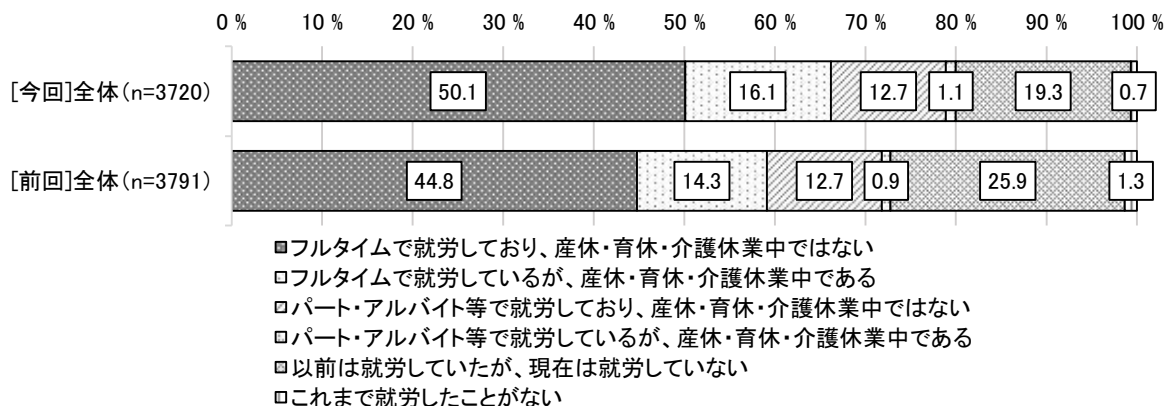


図 17 母親／就労状況（前回調査との比較）

②母親／1週あたりの就労日数

3歳未満・3歳以上ともに「週5日」が8割台で最も多かった。

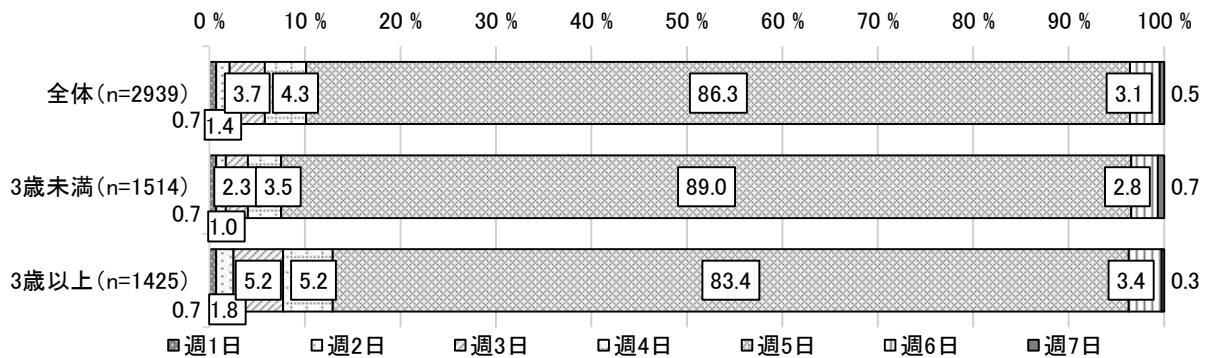


図 18 母親／1週あたりの就労日数

③母親／1日あたりの就労時間

3歳未満・3歳以上ともに「8時間」が約1/3を占め最も多かった。

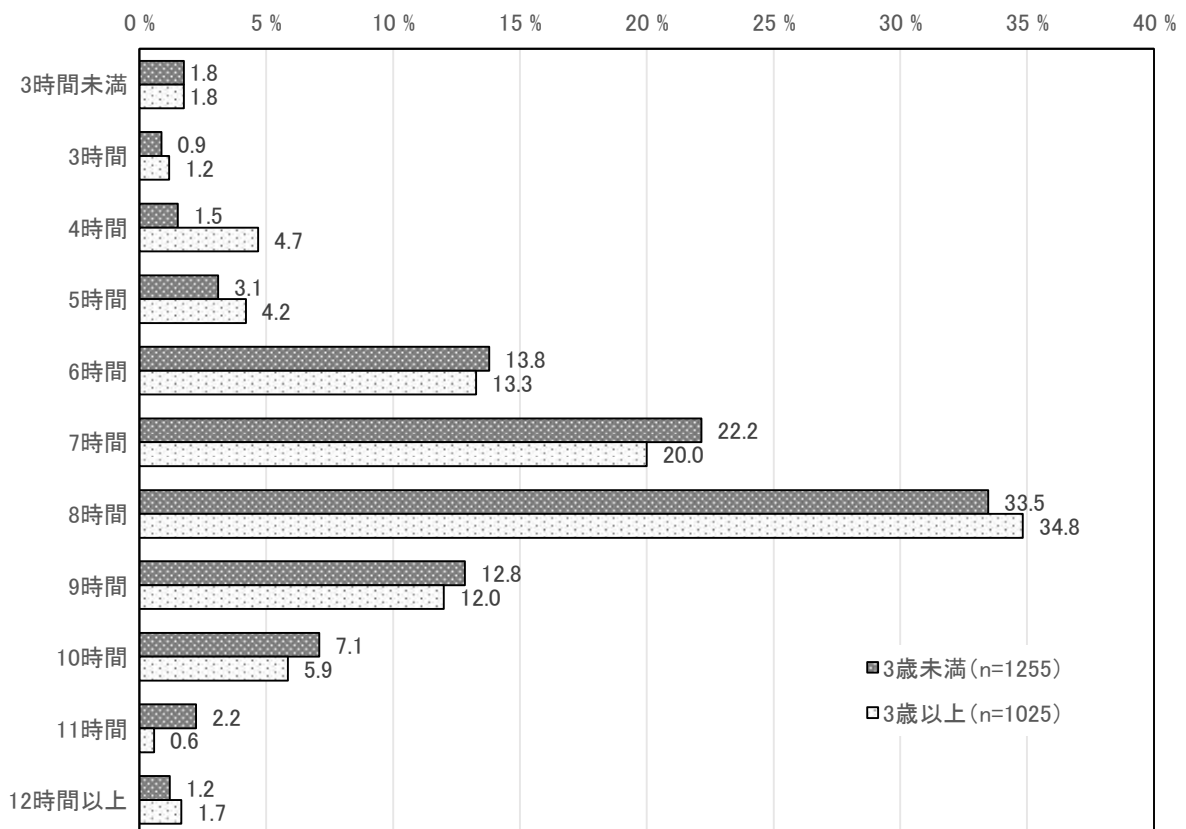


図 19 母親／1日あたりの就労時間

④父親／就労状況

3歳未満・3歳以上ともに「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が95%を超え、最も多かった。

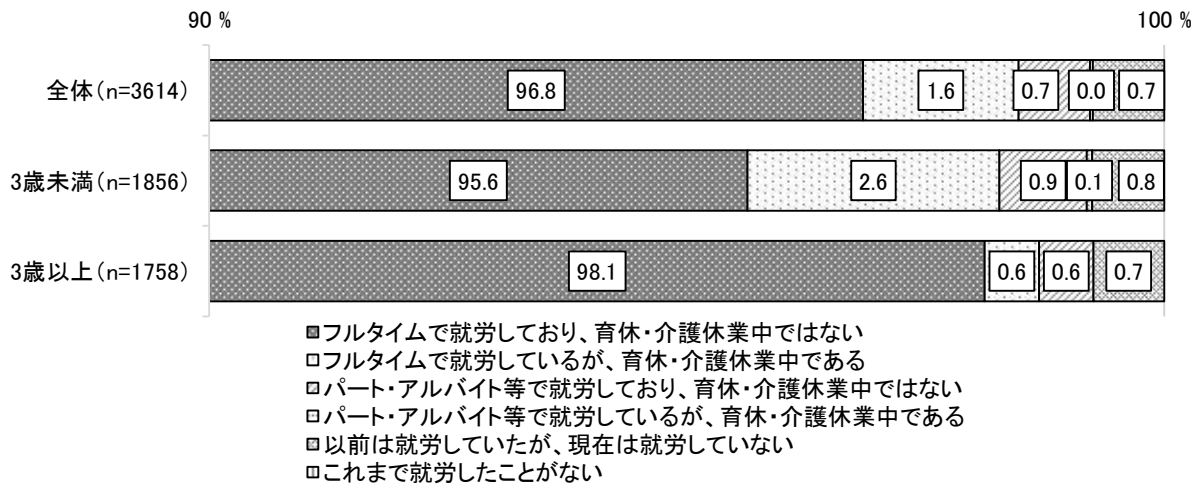


図 20 父親／就労状況

■前回調査(H30 実施)比較

総じて前回調査と大きな差異は見られなかった。「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は前回調査より2ポイント減ったのに対し、「フルタイムで就労しているが、産休・介護休業中である」が1.4ポイント増えた。

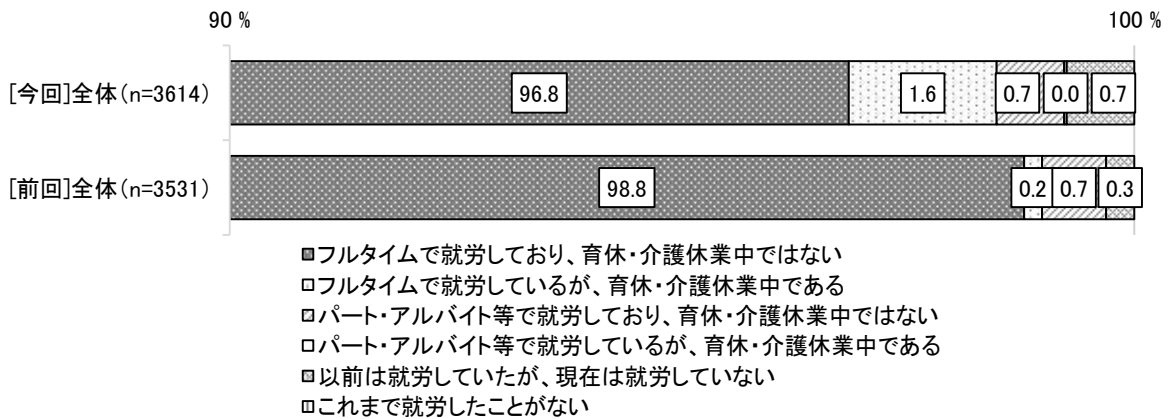


図 21 父親／就労状況（前回調査との比較）

⑤父親／1週あたりの就労日数

3歳未満・3歳以上ともに「週5日」が8割台で最も多く、次いで「週6日」が1割台が続いた。

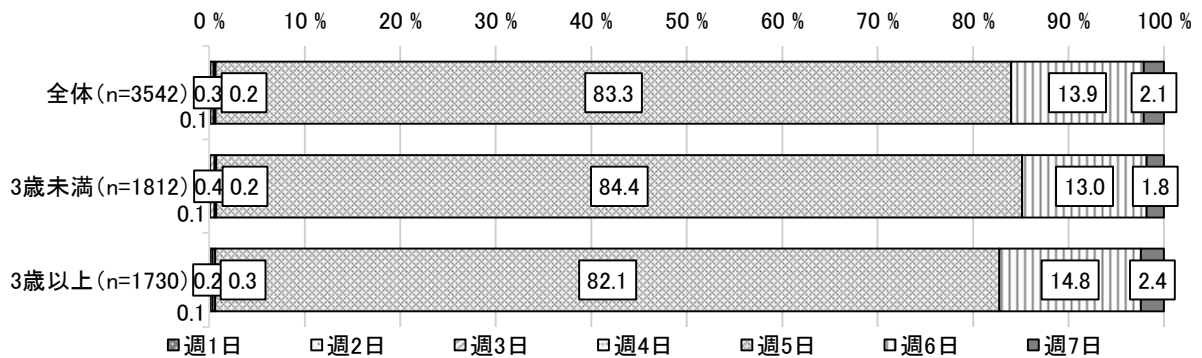


図 22 父親／1週あたりの就労日数

⑥父親／1日あたりの就労時間

3歳未満・3歳以上ともに「10時間」が2割台半ばで最も多かった。

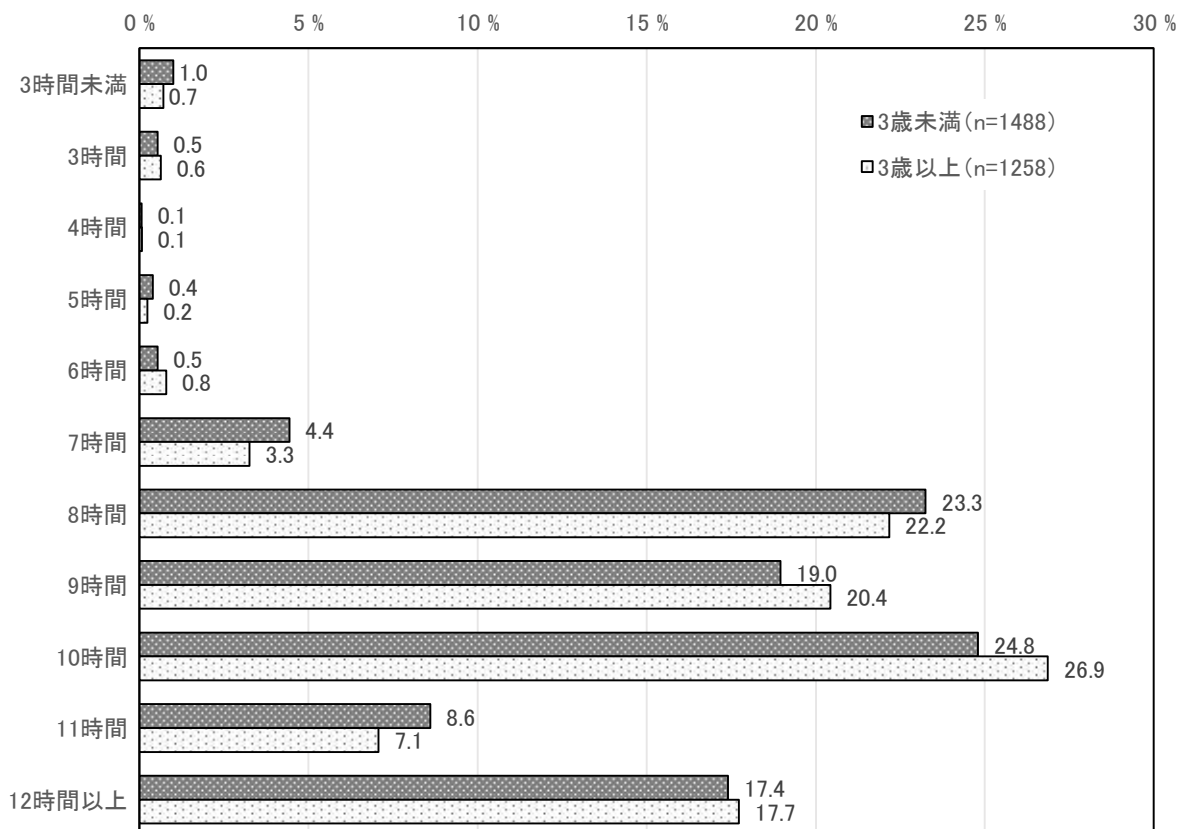


図 23 父親／1日あたりの就労時間

(3) フルタイムへの転換希望【3歳未満・以上：問11-2】

問11-1で、「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）を選んだ方に伺います。

問11-2 フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

①母親／フルタイムへの転換希望

3歳未満・3歳以上ともに「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が5割台と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が2割台で続いた。

3歳未満は3歳以上よりもフルタイム志向がやや（7.4ポイント）多い。

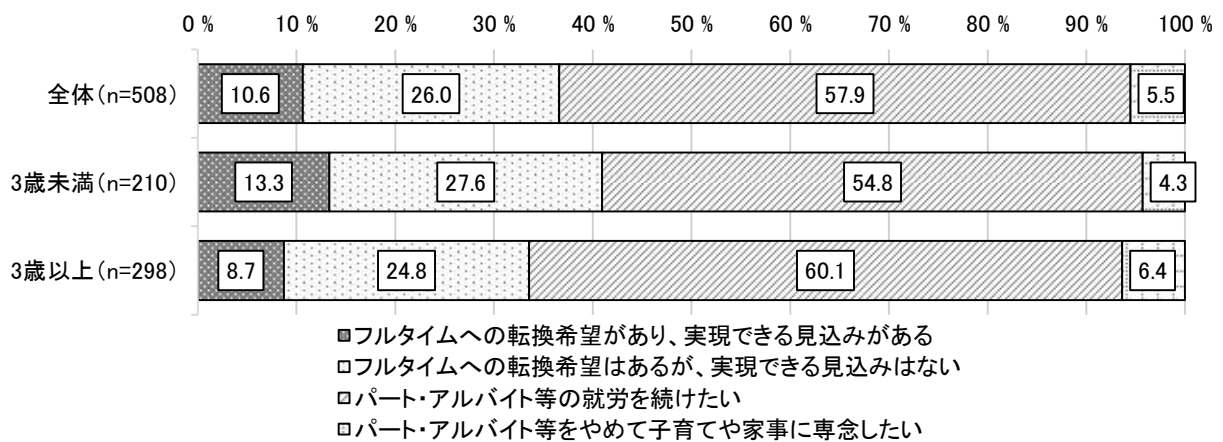


図 24 母親／フルタイムへの転換希望

■前回調査(H30 実施)比較

フルタイムへの転換希望がある者は前回調査よりも5.7ポイント減ったのに対し、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」者が3.3ポイント増えた。

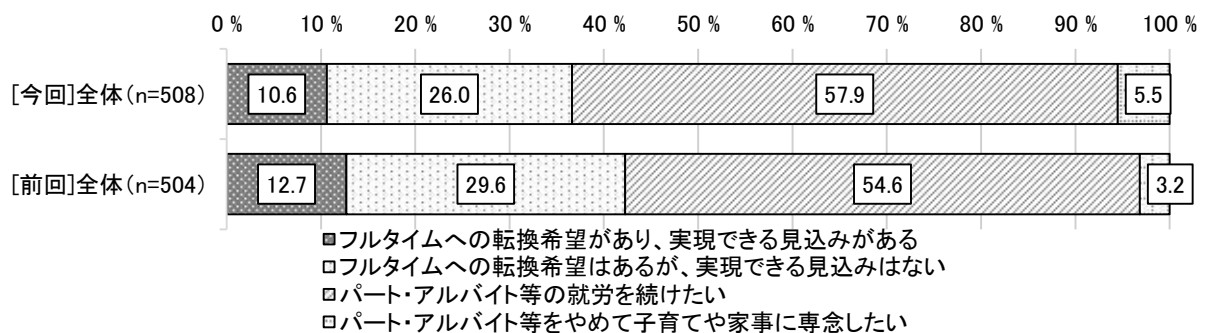


図 25 母親／フルタイムへの転換希望（前回調査との比較）

②父親／フルタイムへの転換希望

回答数が少ないため、あくまで参考情報であるが、3歳未満では「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が最も多く、半数を占めた。一方、3歳以上では「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が半数を占めた。

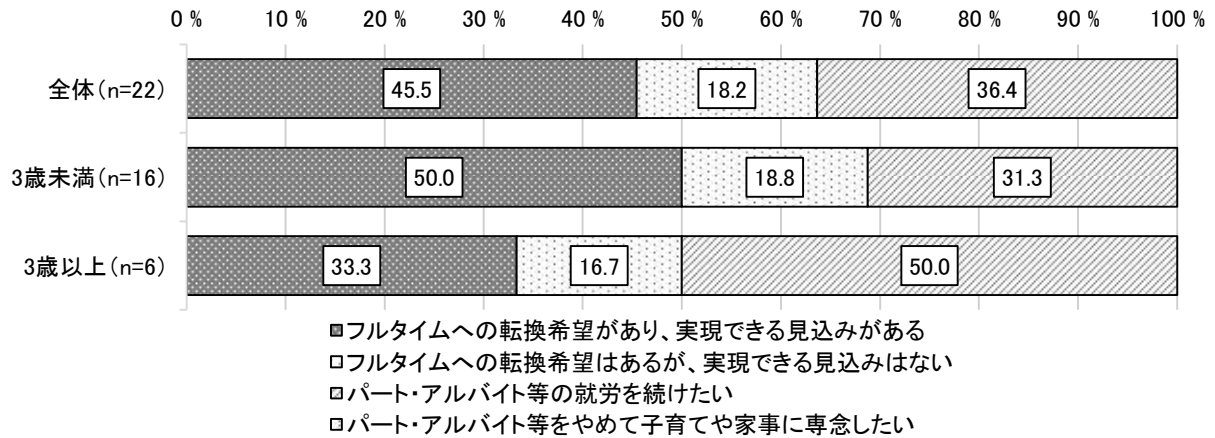


図 26 父親／フルタイムへの転換希望

■前回調査(H30 実施)比較

フルタイムへの転換希望がある者は前回調査よりも2.9ポイント減った分だけ「パート、アルバイト等の就労を続けたい」者が増えた。

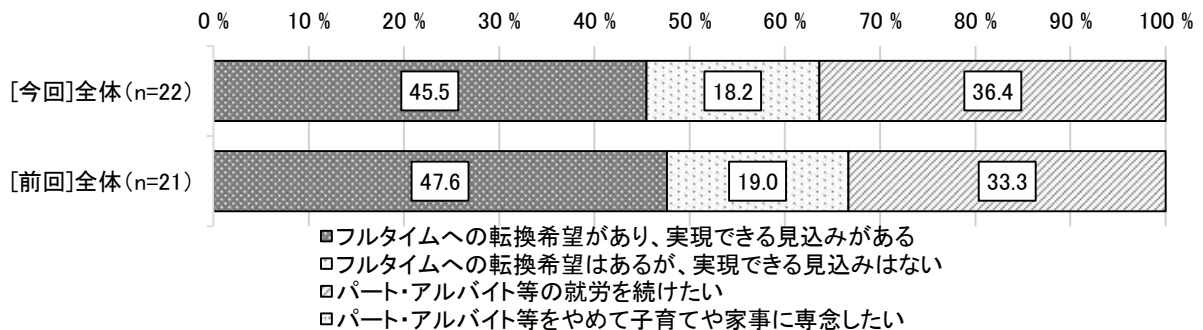


図 27 父親／フルタイムへの転換希望（前回調査との比較）

(4) 就労希望【3歳未満・以上：問11-3】

問11-1で、「5」または「6」（現在就労していない）を選んだ方に伺います。

問11-3 就労したい希望はありますか。それぞれ、あてはまる番号・記号1つに○、□内に数字（1枠に1字）をご記入ください。

①母親／末子が○歳になった頃に就労したい

3歳未満は、「3歳」が最も多く（29.5%）、次いで「4歳」（20.2%）が多かった。

3歳以上は、「7歳」が最も多く（33.1%）、次いで「6歳」（26.5%）が多かった。

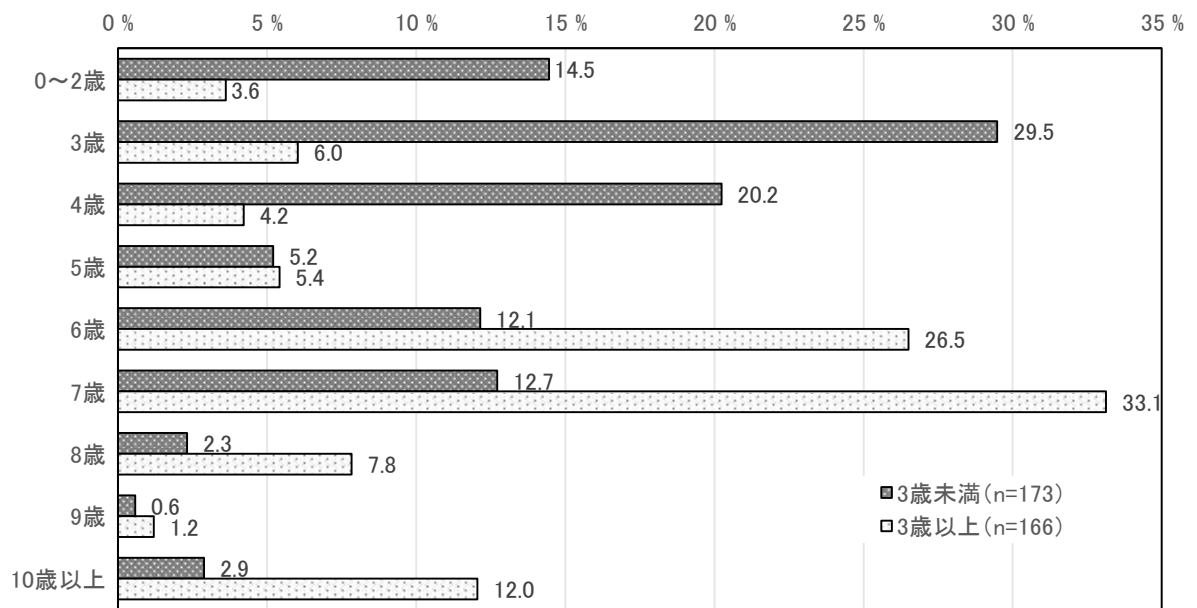


図 28 母親／末子が○歳になった頃に就労したい

■前回調査(H30 実施)比較

2歳以下と6歳以上が前回より増加、3~5歳は前回より減少した。

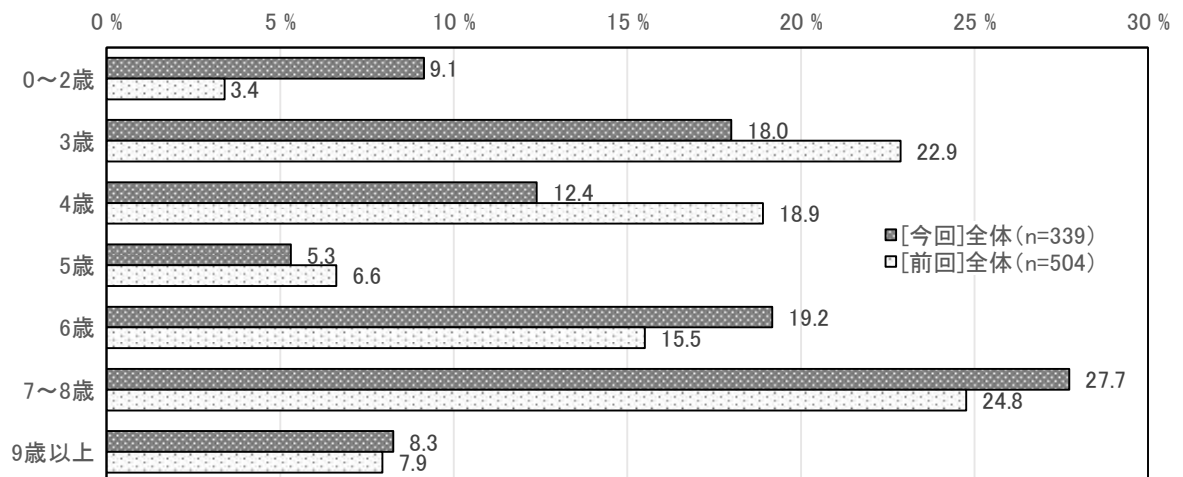


図 29 母親／末子が○歳になった頃に就労したい（前回調査との比較）

②母親／パート・アルバイト等で希望する1週あたりの就労日数

3歳未満・3歳以上ともに「週3日」が最も多く、次いで「週4日」が多かった。

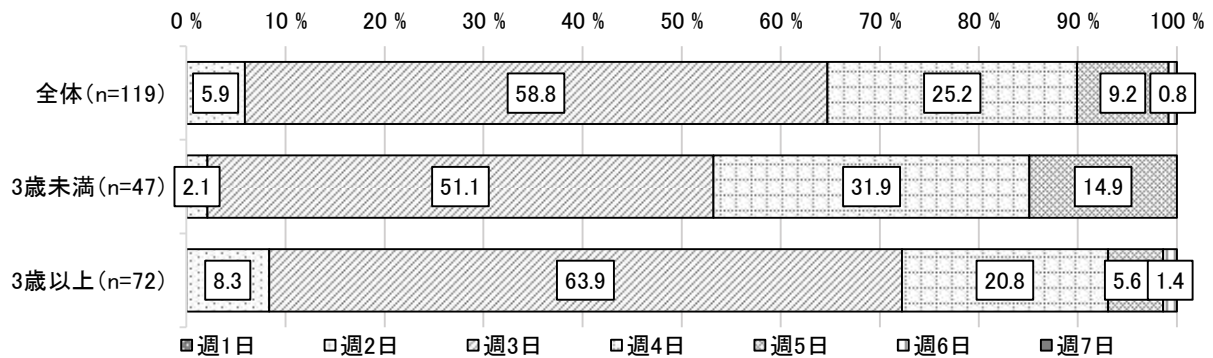


図 30 母親／パート・アルバイト等で希望する1週あたりの就労日数

③母親／パート・アルバイト等で希望する1日あたりの就労時間

3歳未満は、「5時間」が最も多く（44.7%）、次いで「4時間」（21.1%）が多かった。

これに対し3歳以上は、「4時間」が最も多く（40.0%）、次いで「5時間」（30.0%）が多かった。

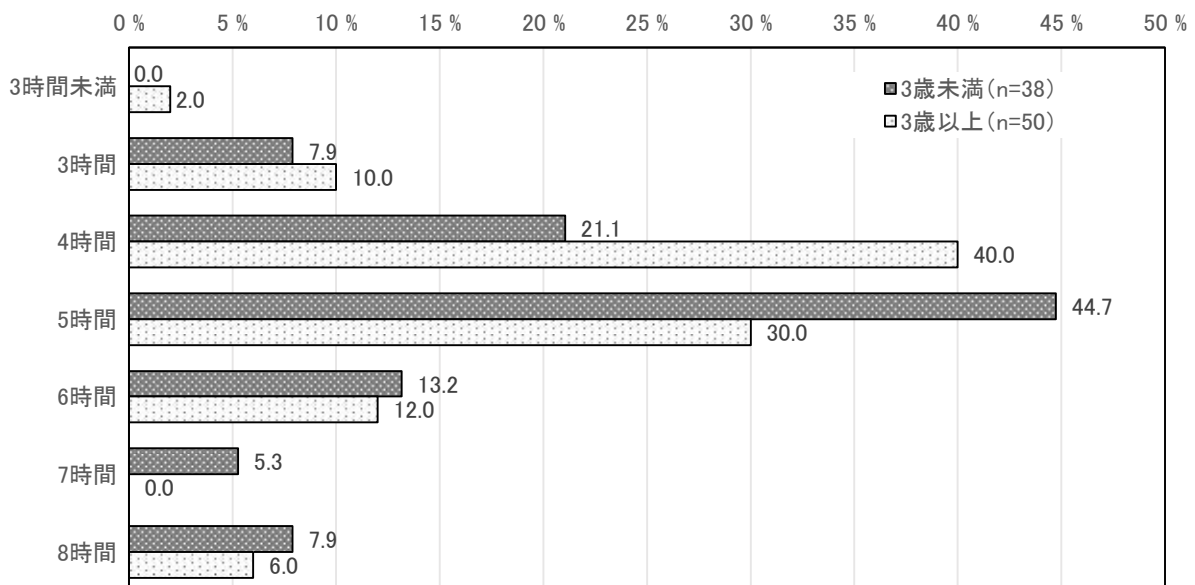


図 31 母親／パート・アルバイト等で希望する1日あたりの就労時間

④父親／末子が〇歳になった頃に就労したい

回答数が少ないため、あくまで参考情報であるが、3歳未満は、「3歳」と「6歳」が最も多かった（50.0%）。3歳以上は、「6歳」が最も多く、次いで「6歳」「10歳以上」が多かった。

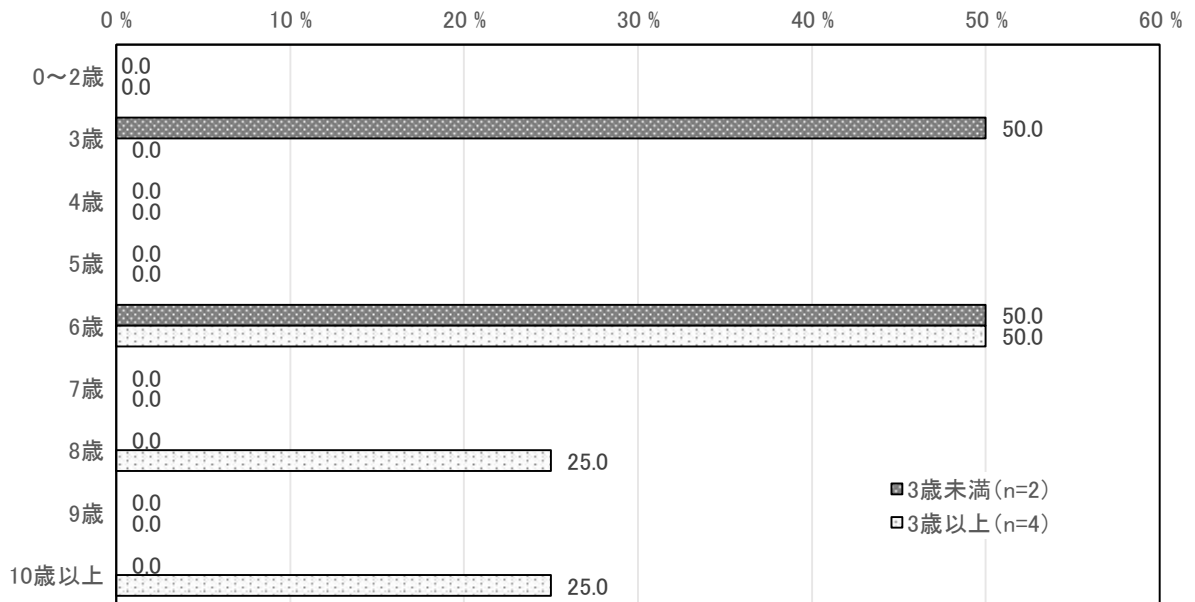


図 32 父親／末子が〇歳になった頃に就労したい

⑤父親／パート・アルバイト等で希望する1週あたりの就労日数

回答数が少ないため、あくまで参考情報であるが、3歳未満は「週3日」のみ、3歳以上は「週4日」のみであった。

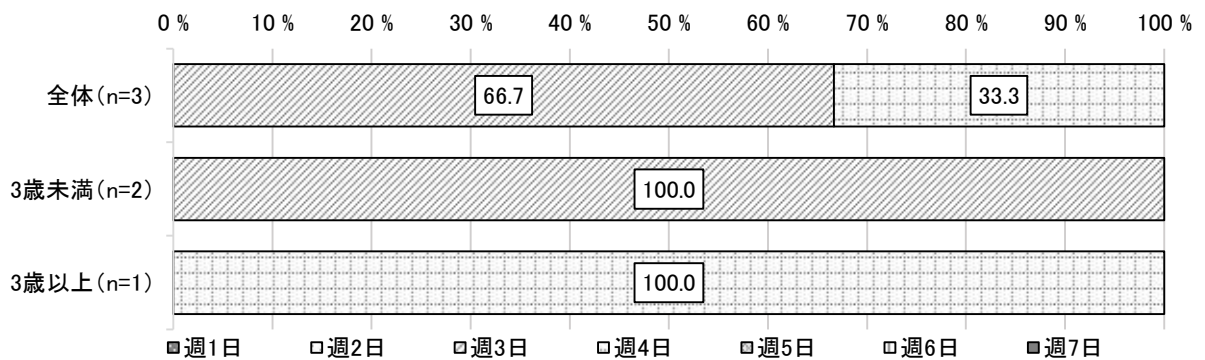


図 33 父親／パート・アルバイト等で希望する1週あたりの就労日数

⑥父親／パート・アルバイト等で希望する1日あたりの就労時間

回答数が少ないため、あくまで参考情報であるが、3歳未満は「5時間」と「8時間」に分かれたのに対し、3歳以上は「6時間」のみであった。

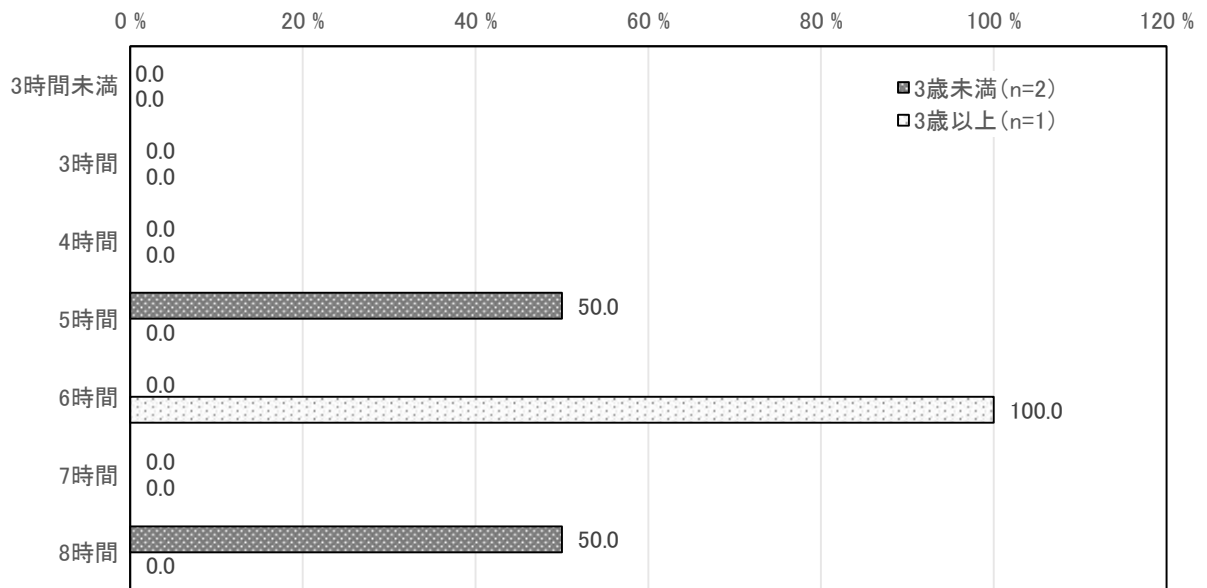


図 34 父親／パート・アルバイト等で希望する1日あたりの就労時間

5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用有無【3歳未満・以上：問12】

問12 現在、あて名のお子様は、平日に教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。利用している場合は、年間を通じて「定期的に」利用している事業と利用日数等を、利用していない場合は、その理由をあわせてお答えください。あてはまる番号1つに○、記号すべてに○、□内に数字（1枠に1字）をご記入ください。

①平日の定期的な教育・保育事業の利用

「利用している」が3歳未満では63.8%、3歳以上では97.8%となった。

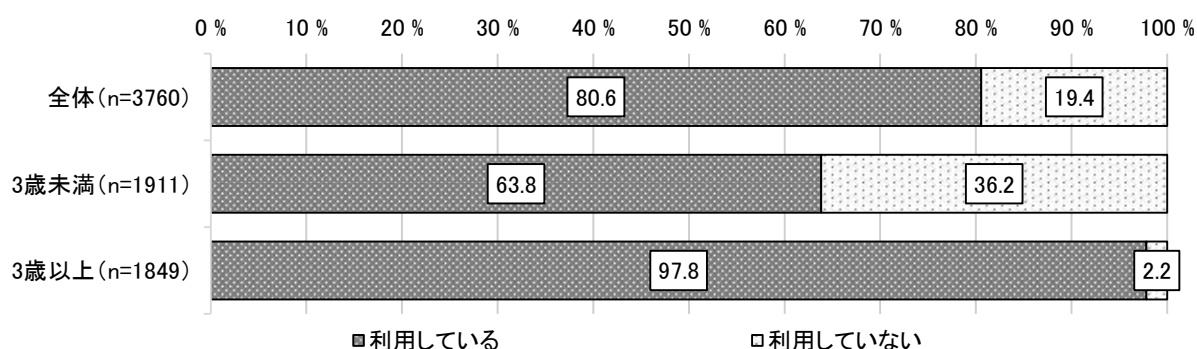


図 35 平日の定期的な教育・保育事業の利用

■前回調査(H30 実施)比較

「利用している」が、前回調査より1.9ポイント増えている。

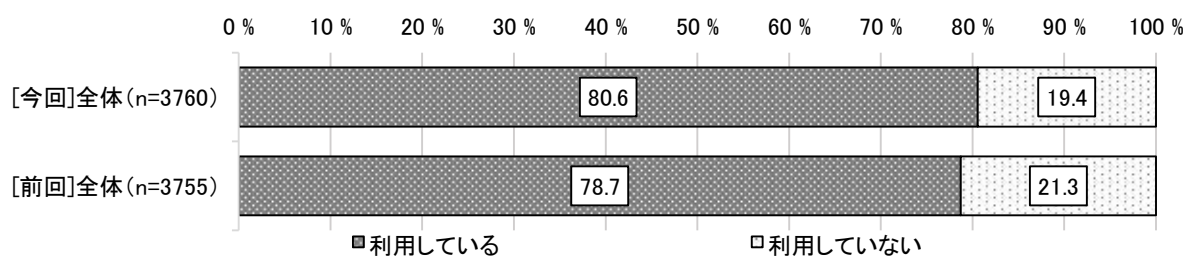


図 36 平日の定期的な教育・保育事業の利用（前回調査との比較）

②利用している教育・保育事業

「認可保育園」が3歳未満で70.1%、3歳以上で56.1%と最も多い。
 3歳未満は、「認証保育所」が12.3%、「その他の認可外の保育施設」が4.9%と続く。
 3歳以上は、「幼稚園」が29.8%、「幼稚園の預かり保育」が9.0%と続く。

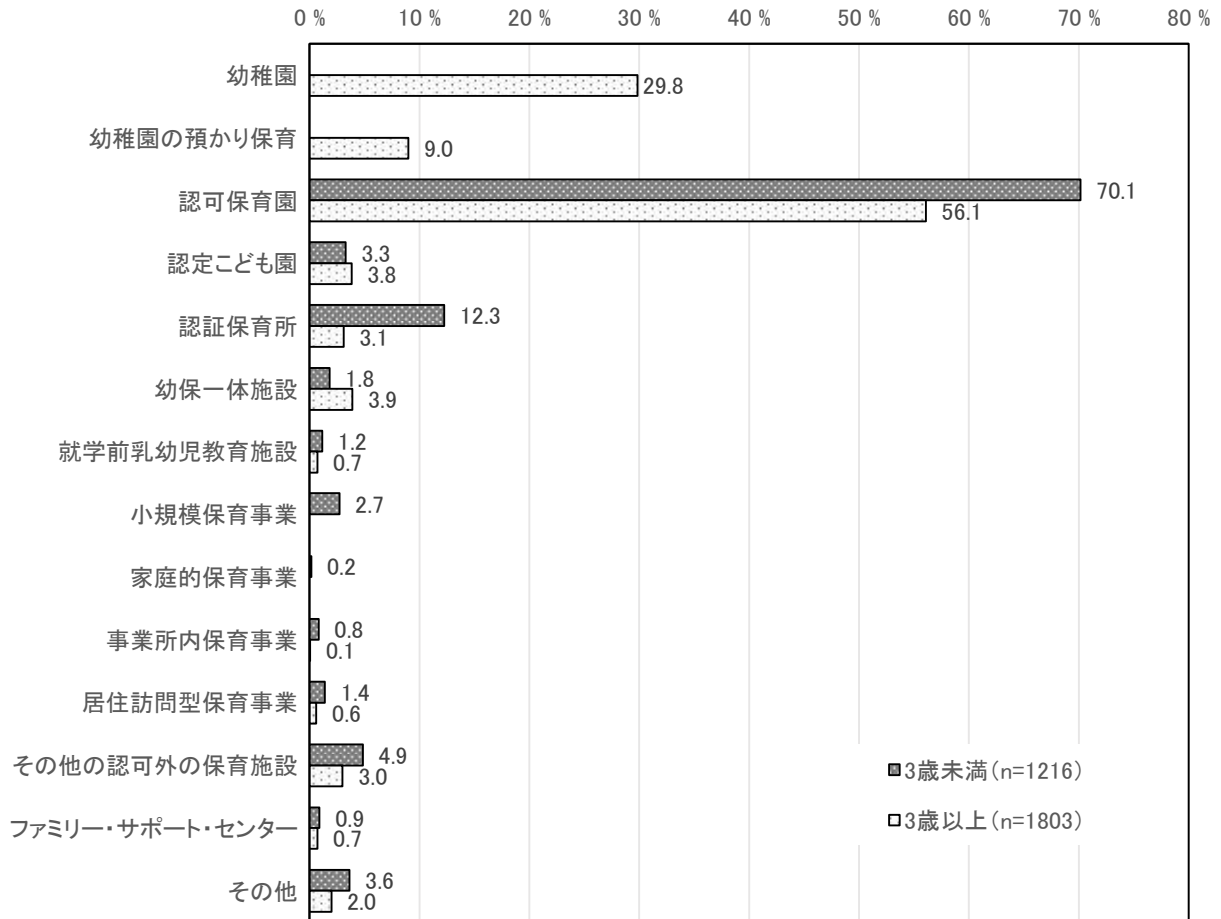


図 37 利用している教育・保育事業

■前回調査(H30 実施)比較

「認可保育園」が前回調査より5.4ポイント増加したのに対し、「幼稚園」が3.6ポイント減少した。

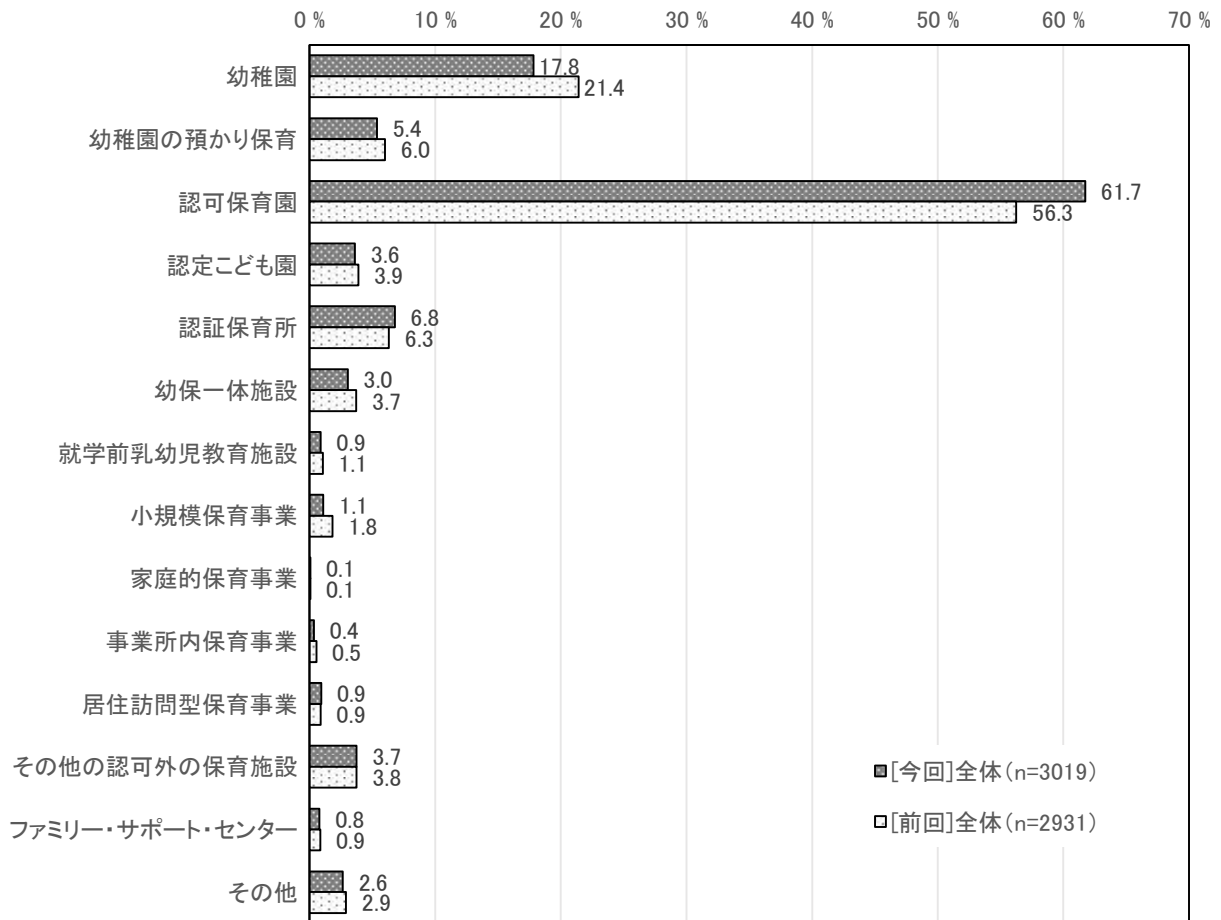


図 38 利用している教育・保育事業（前回調査との比較）

③現在の利用状況／1週あたりの利用日数

3歳未満・3歳以上ともに「週5日」が9割前後で最も多い。

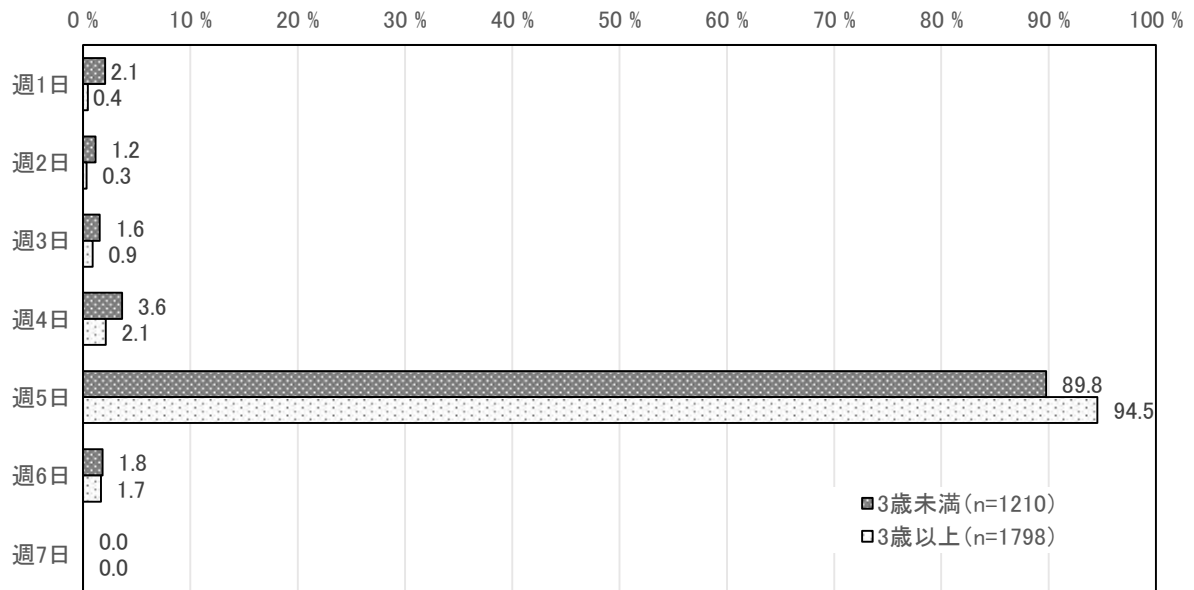


図 39 現在の利用状況／1週あたりの利用日数

④現在の利用状況／1日あたりの利用時間

3歳未満は、「9時間」33.4%、「8時間」25.9%、「10時間」20.3%の順に多い。

3歳以上は、「9時間」24.4%、「10時間」19.7%、「8時間」15.6%の順に多い。

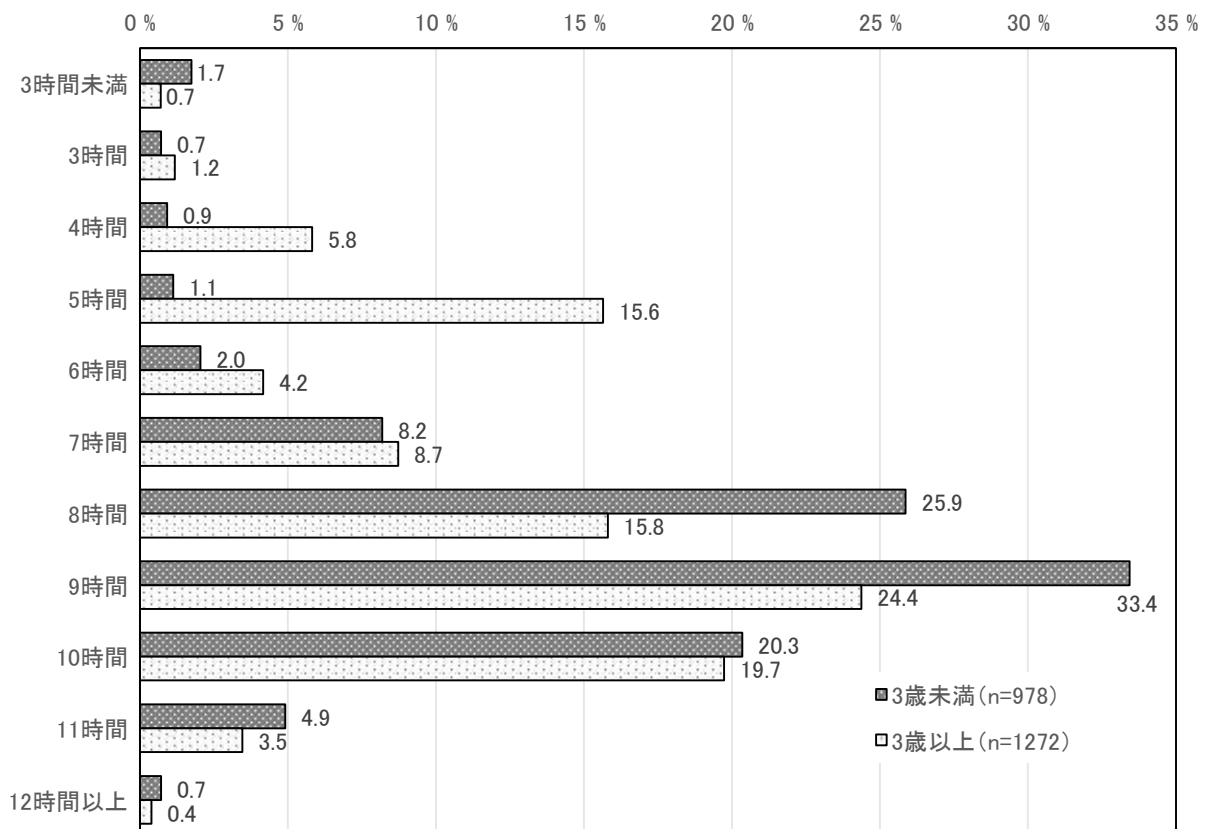


図 40 現在の利用状況／1日あたりの利用時間

⑤現在の利用状況／利用開始時刻

3歳未満は、「8時」が最も多く（52.3%）、次いで「9時」（30.3%）であった。
3歳以上は、「9時」が最も多く（46.1%）、次いで「8時」（41.7%）であった。

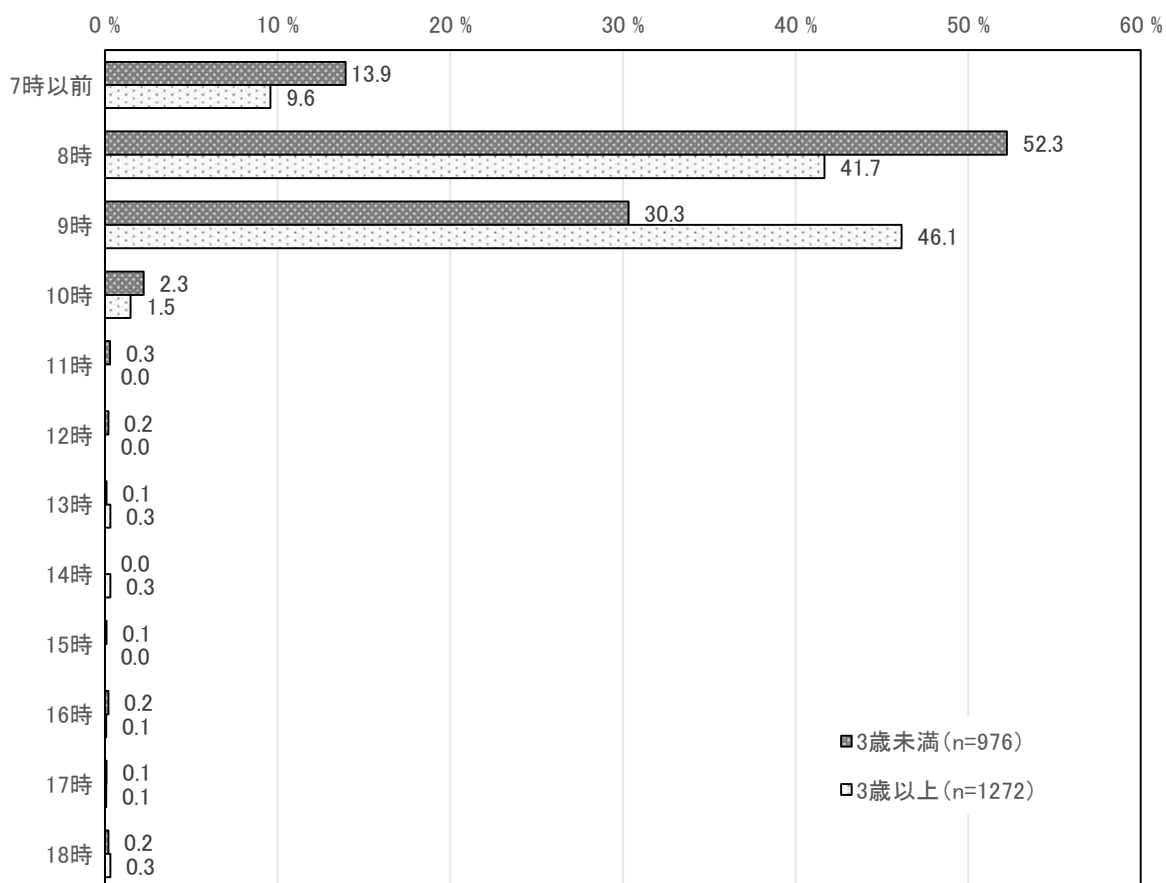


図 41 現在の利用状況／利用開始時刻

⑥現在の利用状況／利用終了時刻

3歳未満・3歳以上ともに「18時」が最も多く、次いで「17時」であった。

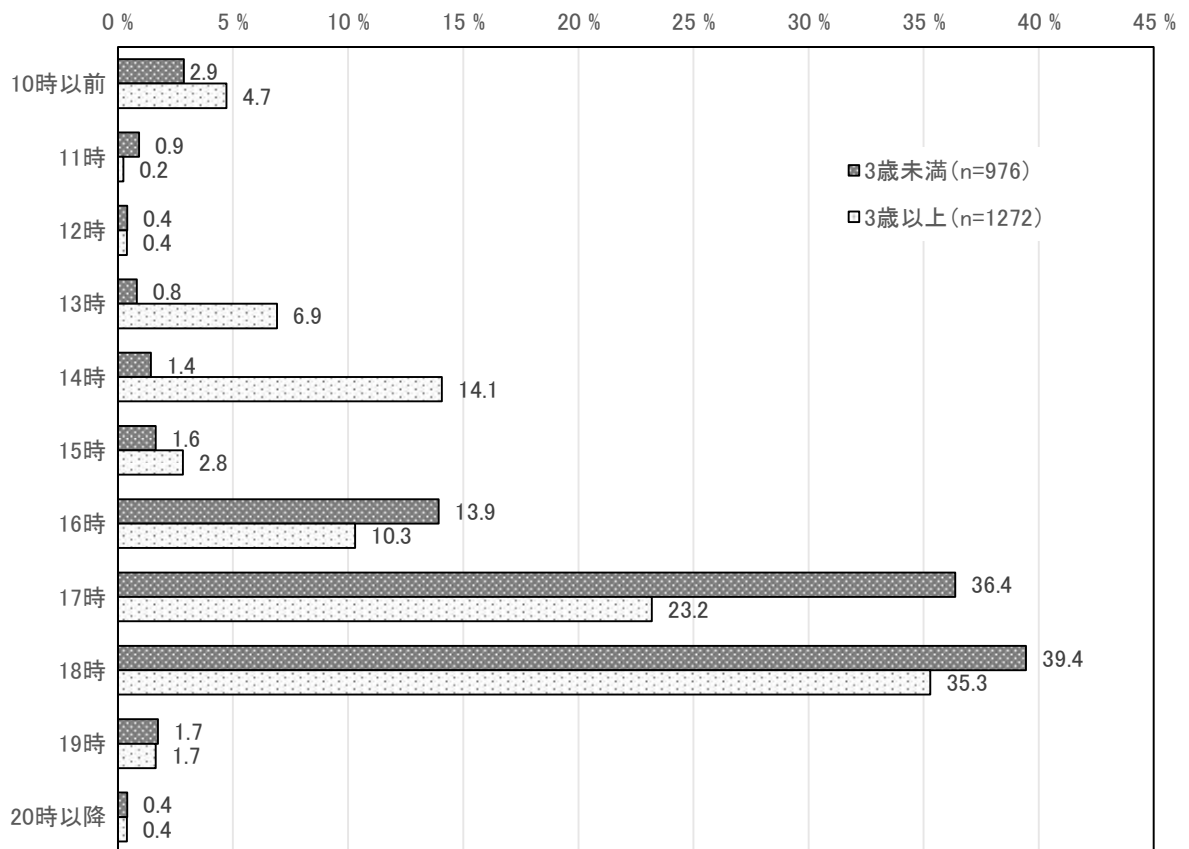


図 42 現在の利用状況／利用終了時刻

⑦今後の利用希望／1週あたりの利用日数

3歳未満・3歳以上ともに「週5日」が9割前後で最も多い。

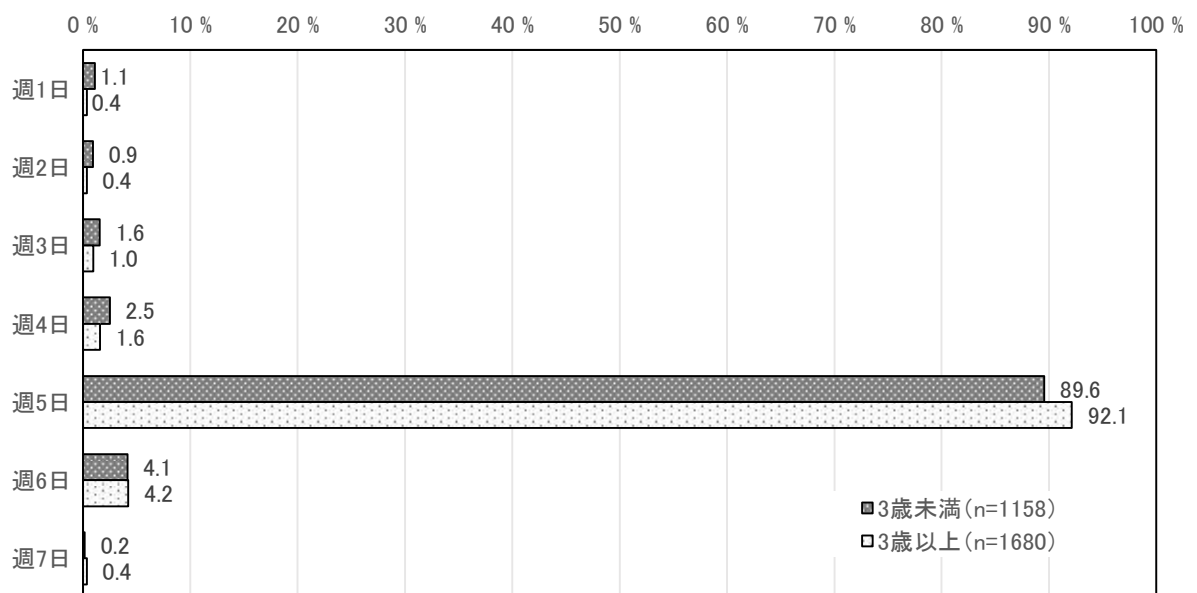


図 43 今後の利用希望／1週あたりの利用日数

⑧今後の利用希望／1日あたりの利用時間

3歳未満は、「9時間」33.8%、「8時間」24.5%、「10時間」23.1%の順に多い。
 3歳以上は、「9時間」24.1%、「10時間」20.9%、「8時間」18.8%の順に多い。

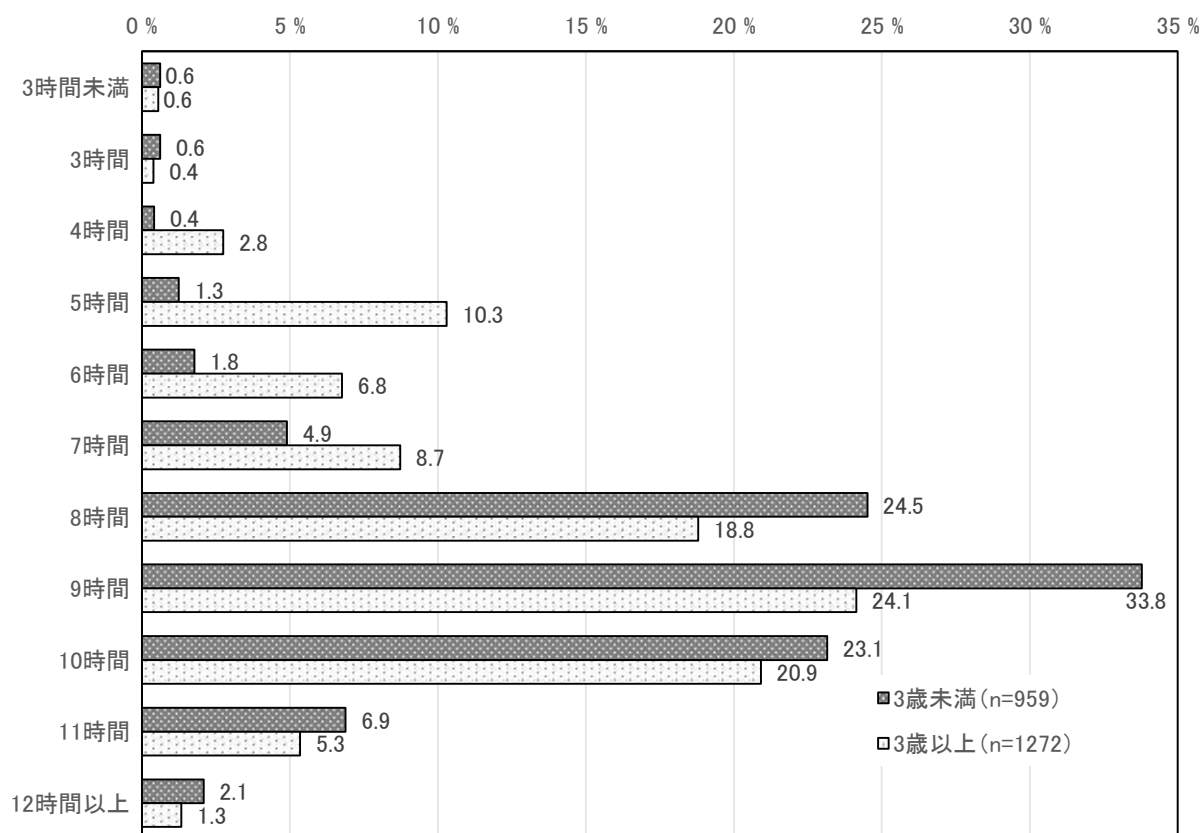


図 44 今後の利用希望／1日あたりの利用時間

⑨今後の利用希望／利用開始時刻

3歳未満・3歳以上ともに、「8時」が最も多く、次いで「9時」であった。

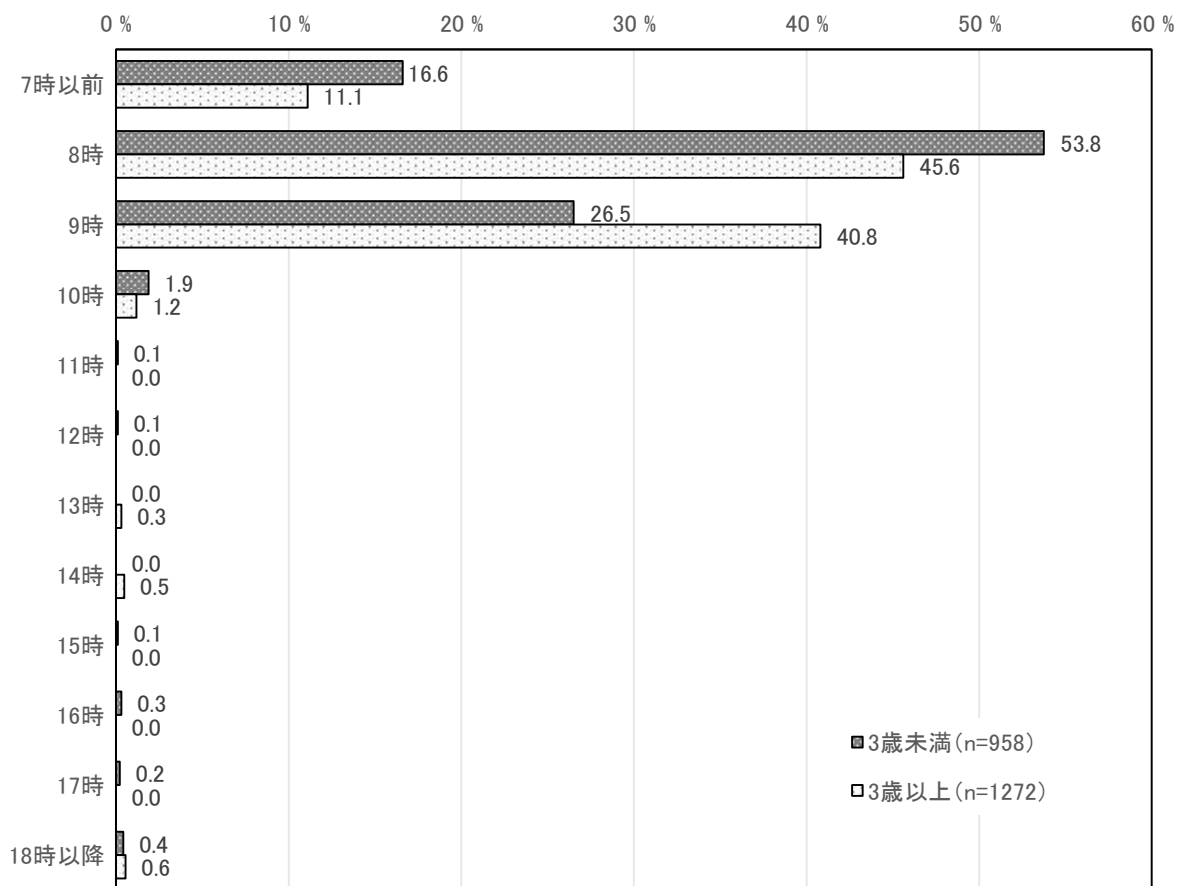


図 45 今後の利用希望／利用開始時刻

⑩今後の利用希望／利用終了時刻

3歳未満・3歳以上ともに「18時」が最も多く、次いで「17時」であった。

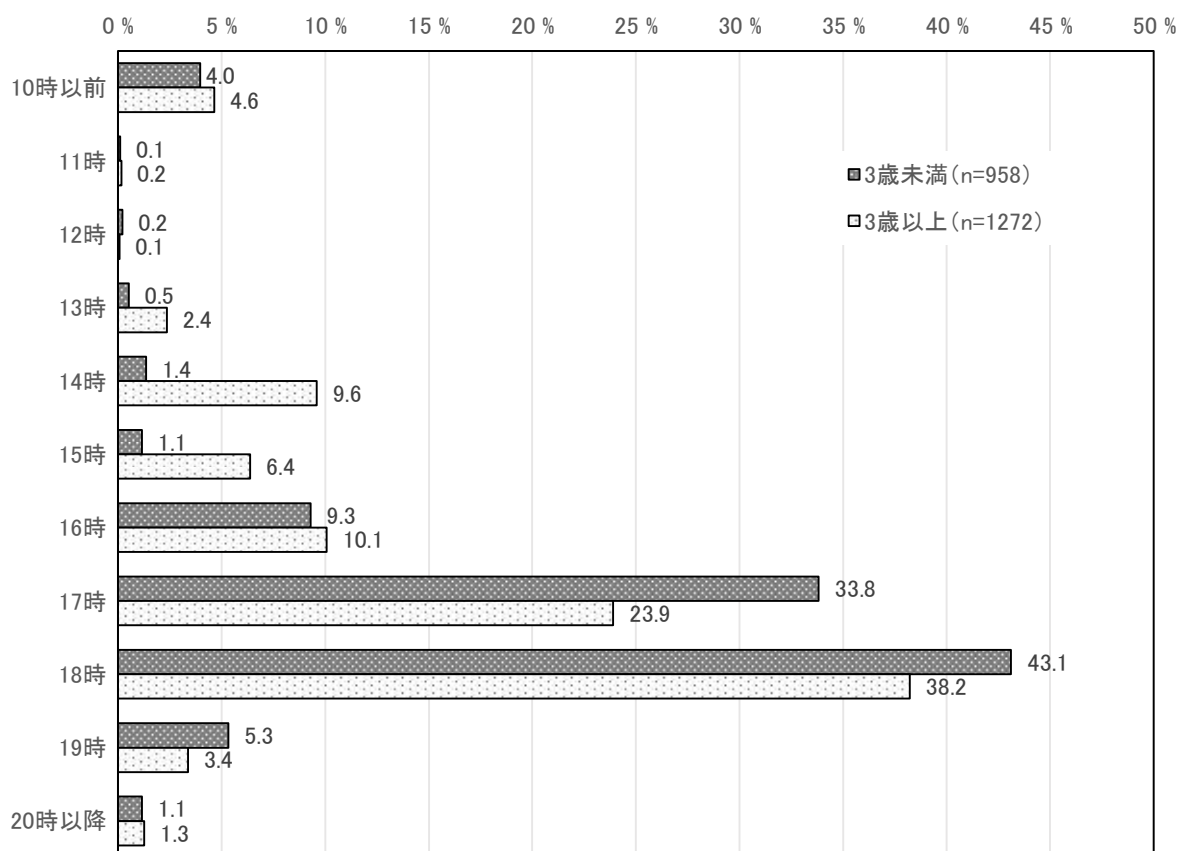


図 46 今後の利用希望／利用終了時刻

⑩利用している理由

3歳未満・3歳以上ともに「子育てをしている方が現在就労しているため」が最も多く（3歳未満90.0%・3歳以上73.8%）、「子どもの教育や発達のため」が次に多い。

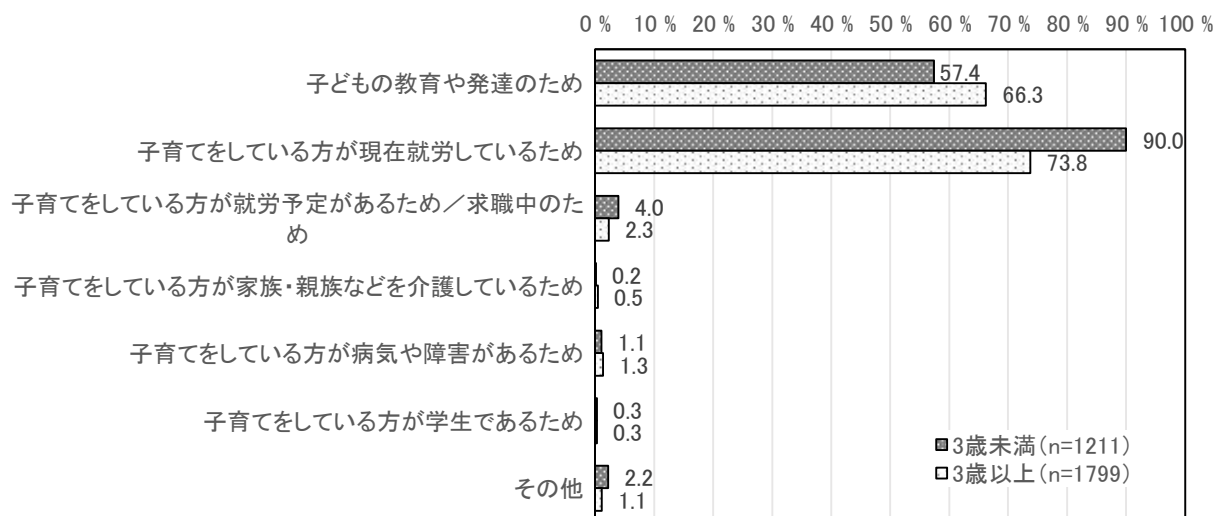


図 47 利用している理由

■前回調査(H30 実施)比較

「子育てをしている方が現在就労しているため」が前回調査よりも4.4ポイント、「子どもの教育や発達のため」が7.2ポイント増えている。

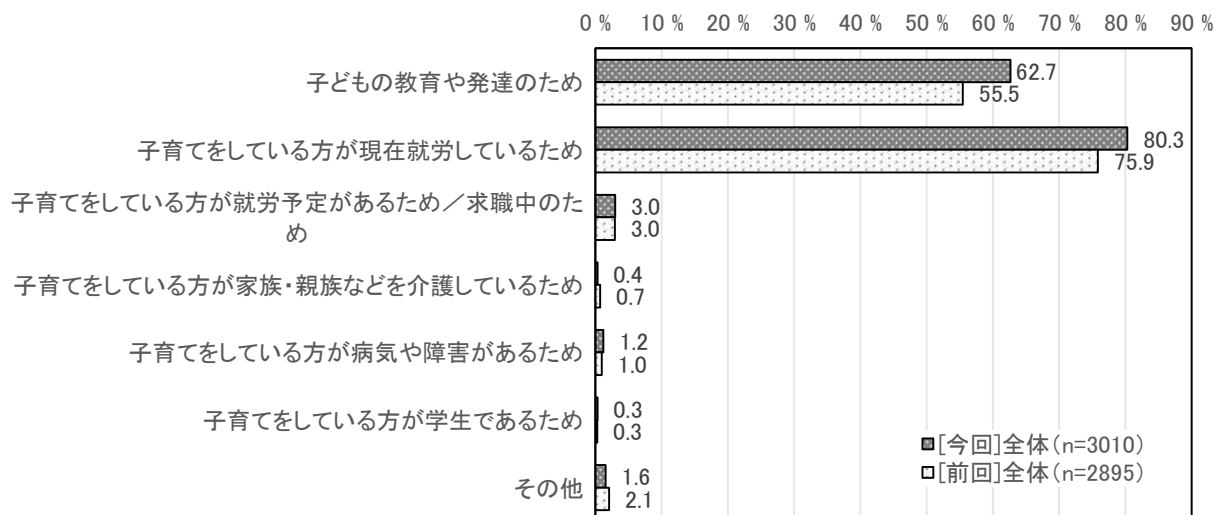


図 48 利用している理由（前回調査との比較）

⑪利用していない理由

3歳未満では「利用する必要がないため（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していない）」と「子どもがまだ小さいため」が2大理由として拮抗している。

3歳以上では、半数以上が「利用する必要がないため（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していない）」であった。

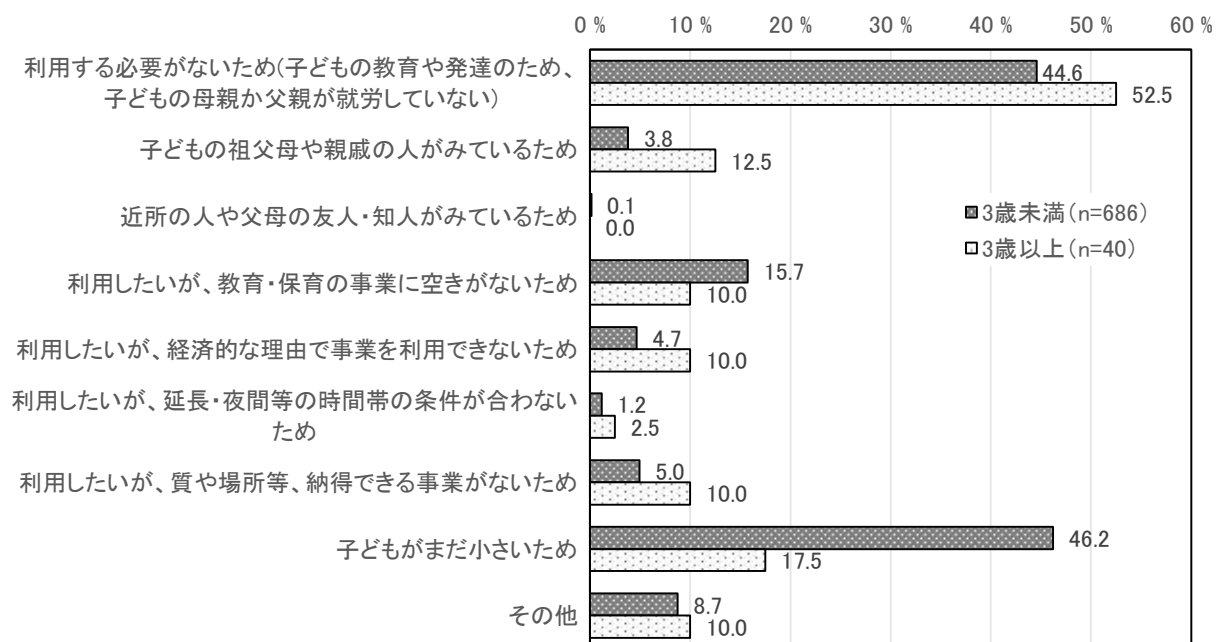


図 49 利用していない理由

■前回調査(H30 実施)比較

「子どもがまだ小さいため」が、前回調査の約2倍に急増した。

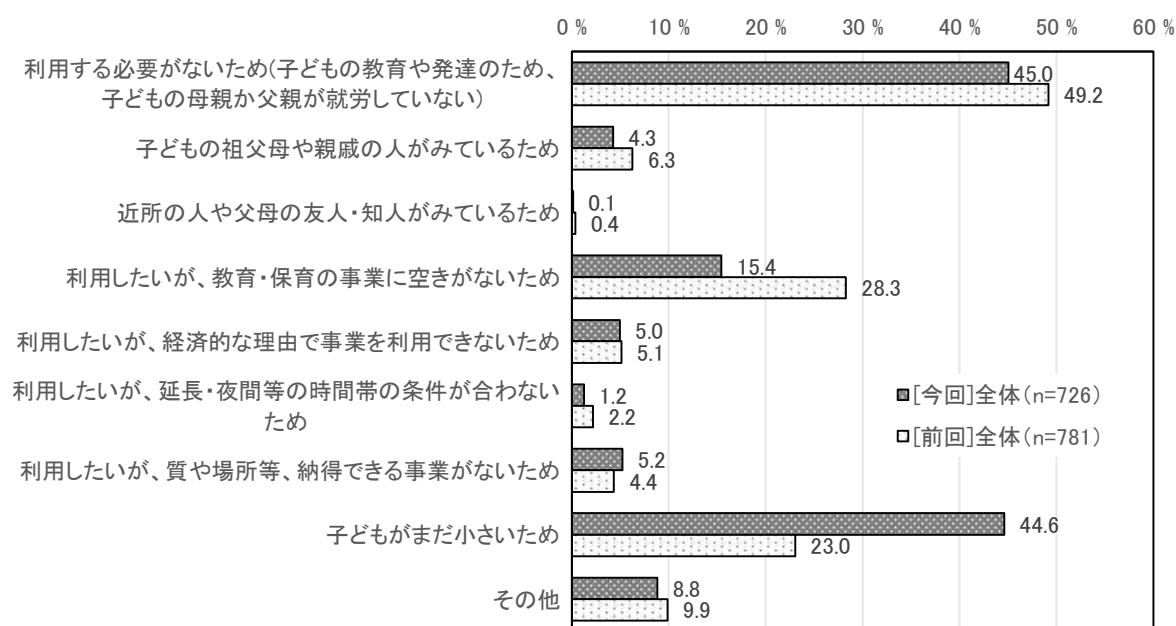


図 50 利用していない理由（前回調査との比較）

(2) 平日に、定期的にご利用したい教育・保育事業【3歳未満・以上：問13】

問13 現在利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子様の平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと思う事業をお答えください。あてはまる記号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。

「認可保育園」が3歳未満で71.3%、3歳以上で54.3%と最も多い。次いで「幼稚園」が3歳未満・3歳以上ともに約4割、「幼稚園の預かり保育」が3歳未満・3歳以上ともに約3割となっている。

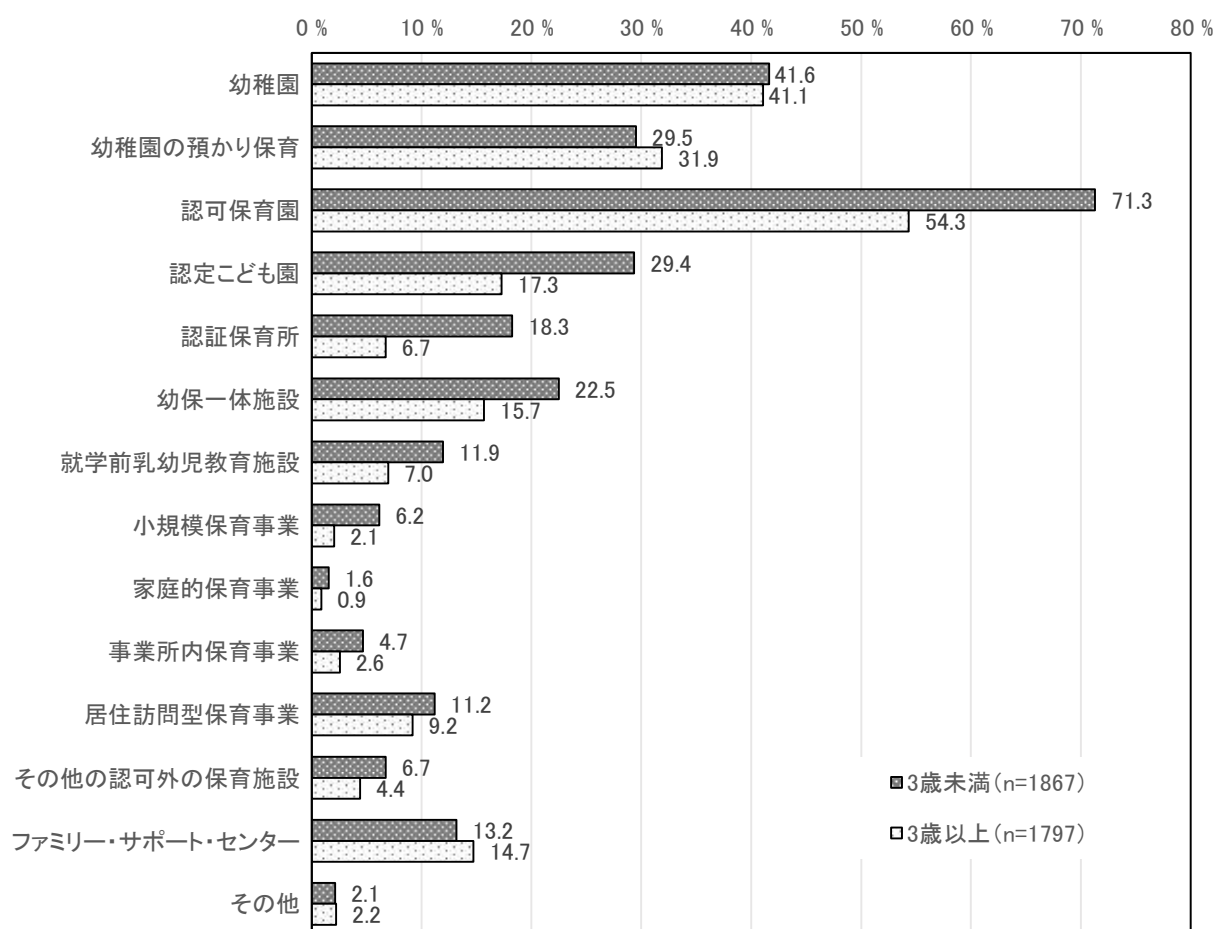


図 51 平日に定期的にご利用したい教育・保育事業

■前回調査(H30 実施)比較

前回調査より「認可保育園」は微増（2.2ポイント）したが、他は「幼稚園」や「幼稚園の預かり保育」を筆頭にほとんどの事業で減少した。

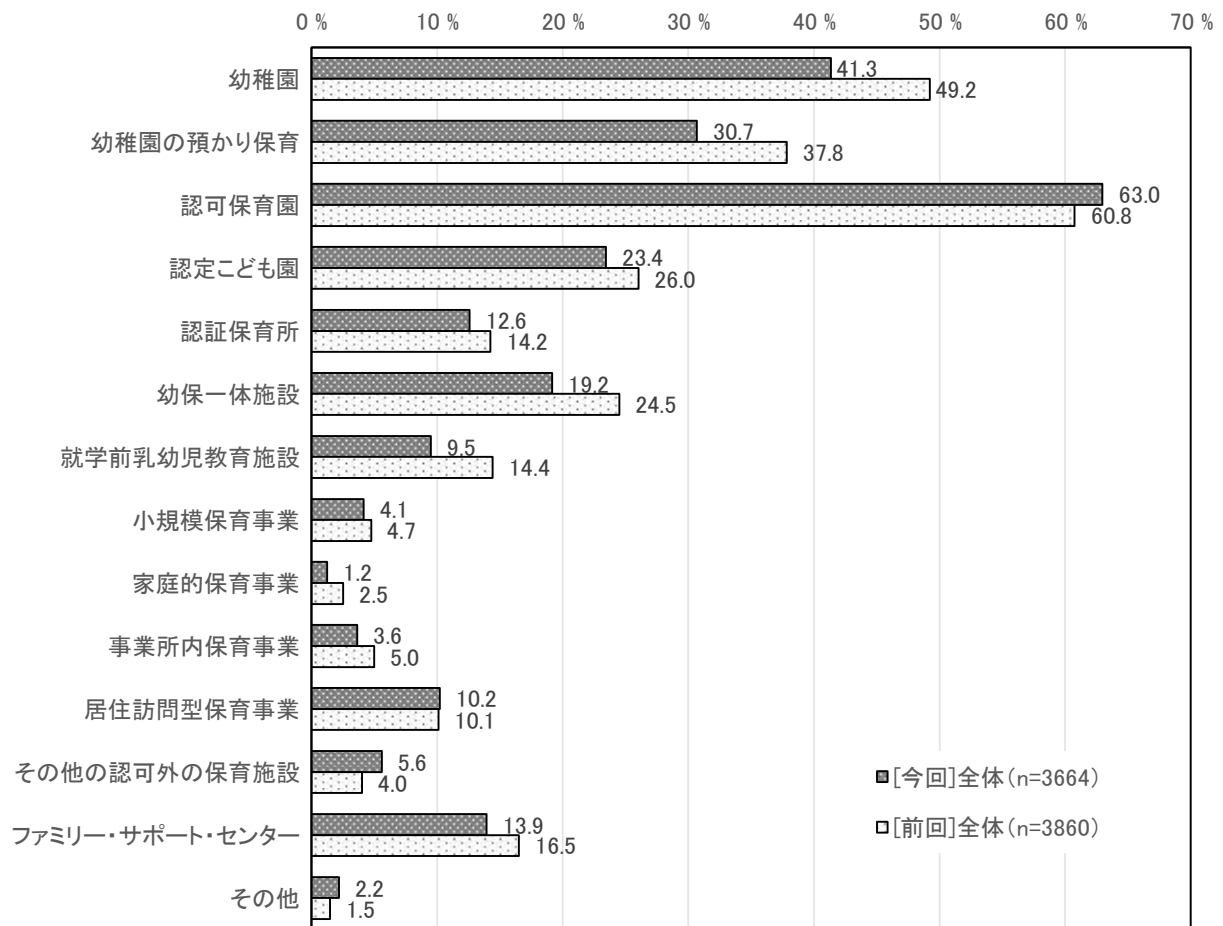


図 52 平日に定期的に利用したい教育・保育事業（前回調査との比較）

(3) 保育施設検討時の立地に関する考え方【3歳未満・以上：問14】

定期的に教育・保育事業を利用している方（問12で1を選択）または希望する方（問13で何かを選択）に伺います。

問14 保育の施設を検討する際の、立地に関する考え方をお答えください。最もあてはまる番号1つに○をつけてください。

3歳未満・3歳以上ともに「自宅からの距離・利便性」が8割弱を占め、次いで「施設的环境（園庭の有無、周辺環境など）」が約1割強であった。

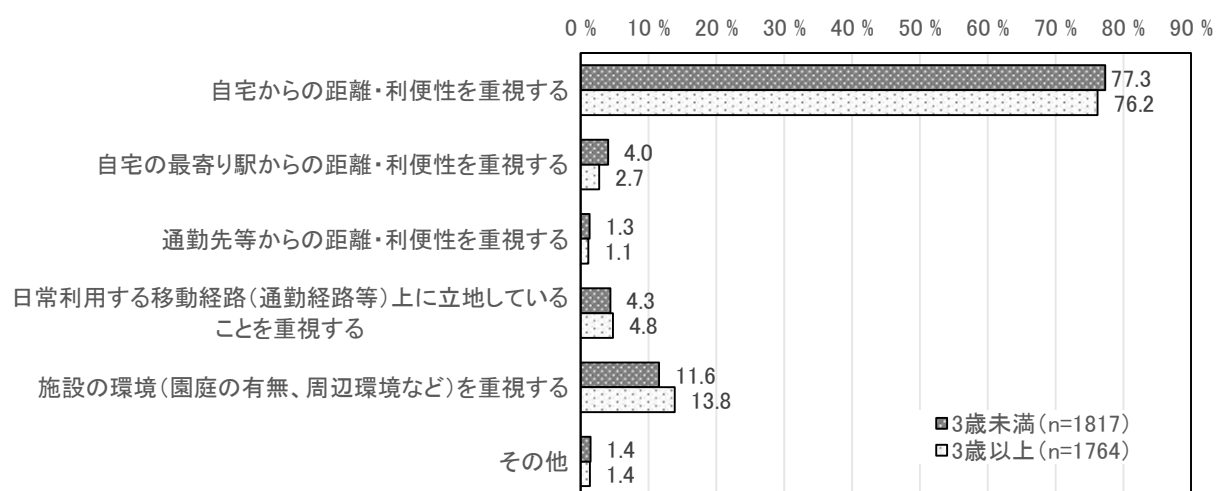


図 53 保育施設検討時の立地に関する考え方

6. 新型コロナウイルス感染症による影響

(1) 保護者の働き方の変化【3歳未満・以上：問15】

問15 令和2年（2020年）以降の新型コロナウイルス感染症の流行により、あて名のお子様の保護者は、働き方が変わりましたか。それぞれ、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親／保護者の働き方の変化

3歳未満・3歳以上ともに「勤務先への出勤が減り、在宅勤務等働く場所が柔軟になった」と「コロナ流行前と働き方に変わりはない」がいずれも3割台後半で拮抗した。

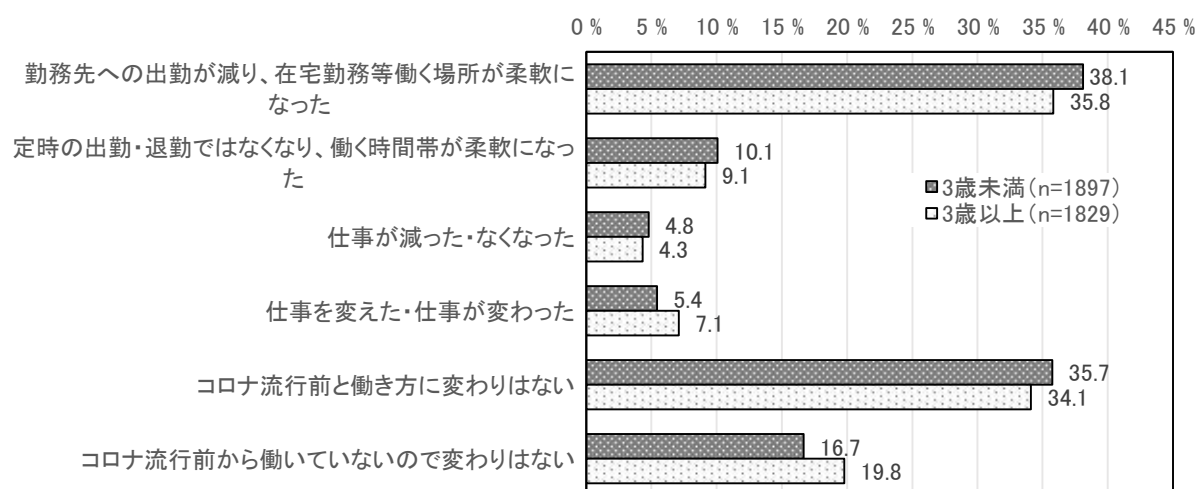


図 54 母親／保護者の働き方の変化

②父親／保護者の働き方の変化

3歳未満・3歳以上ともに「勤務先への出勤が減り、在宅勤務等働く場所が柔軟になった」と「コロナ流行前と働き方に変わりはない」がいずれも約45%で拮抗した。

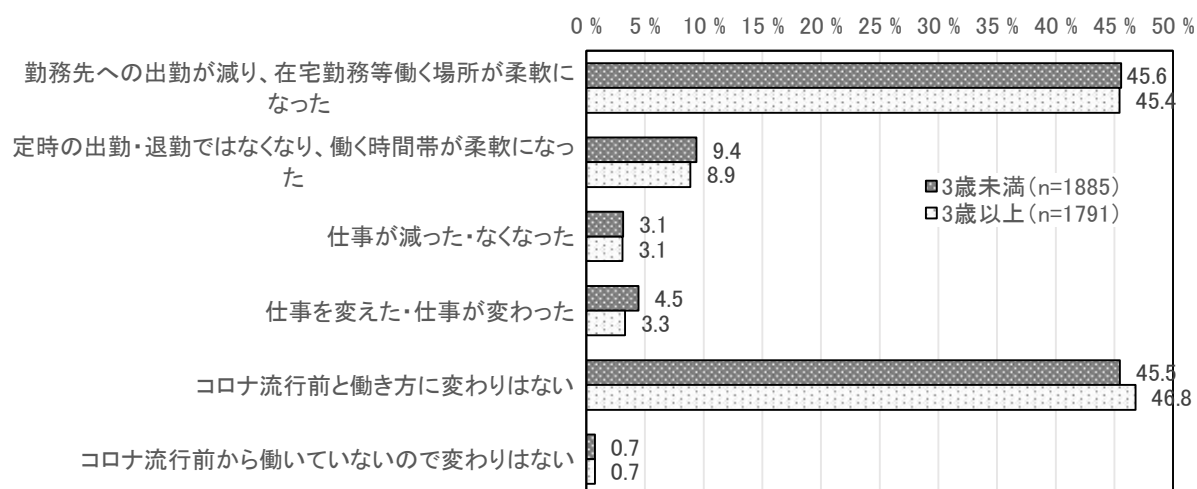


図 55 父親／保護者の働き方の変化

(2) 保護者の働き方の変化【3歳未満・以上：問16】

問16 新型コロナウイルス感染症の流行により、あて名のお子様の利用する（もしくは利用しようとする）平日の定期的な教育・保育事業に変化はありましたか。変化があった場合は、その理由をお答えください。それぞれ、あてはまる番号1つに○、記号すべてに○をつけてください。

①平日の定期的な教育・保育事業の利用の変化

3歳未満・3歳以上ともに「利用する/しようとする事業に変わりはない」が最も多かった。「利用する事業を変えた」等の何らかの変化があったのは5%台であった。

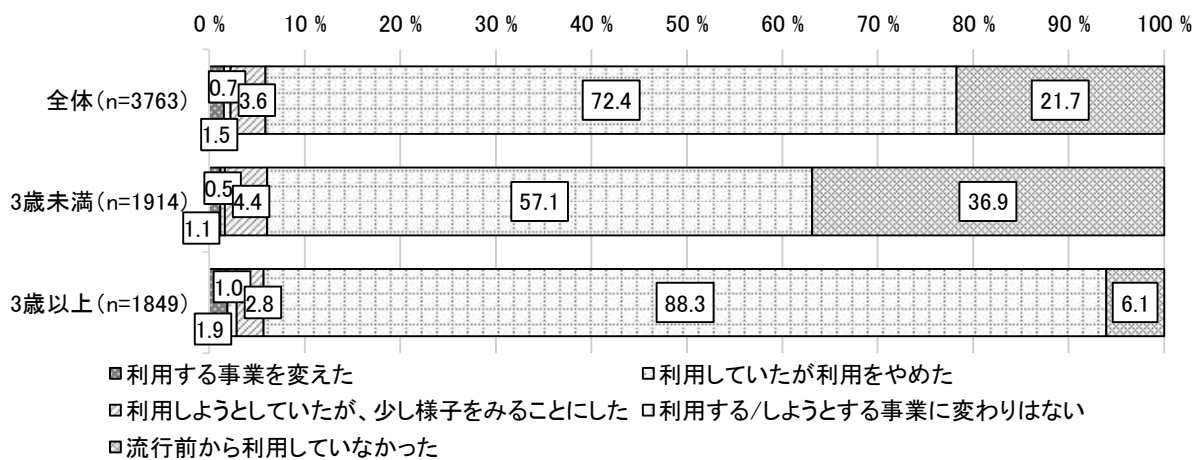


図 56 平日の定期的な教育・保育事業の利用の変化

②変化の理由

3歳未満・3歳以上ともに「お子様がコロナに感染するのが心配だったため」が最も多く、次いで「在宅勤務等、働き方が柔軟になったため」であった。

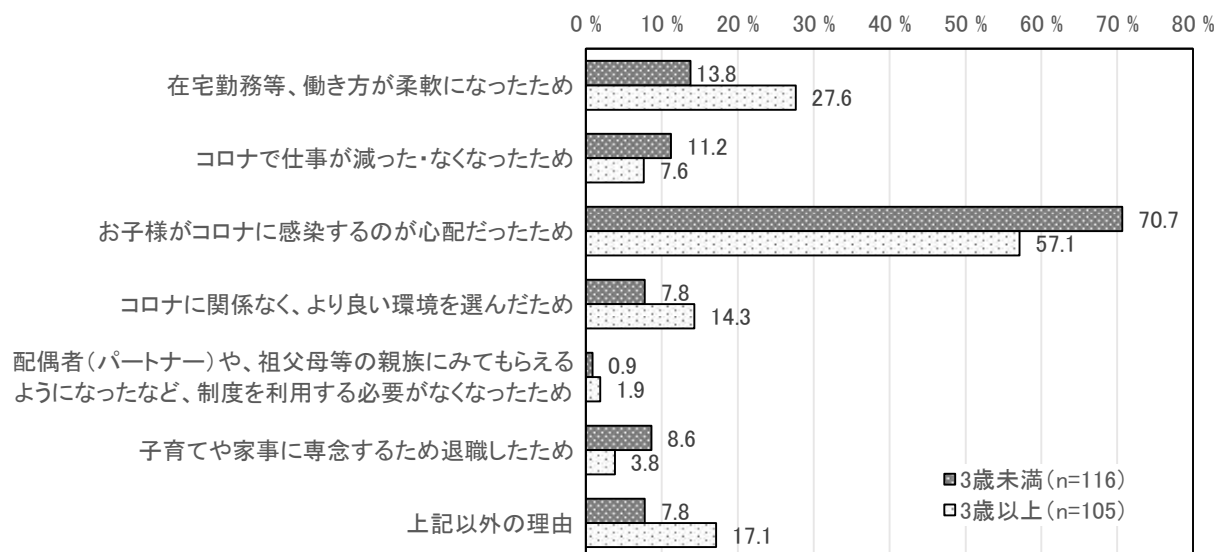


図 57 変化の理由

7. 地域の子育て支援事業の利用状況

(1) 地域子育て支援事業の現在の利用状況・今後の利用希望【3歳未満・以上：問17】

問17 あて名のお子様は、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場「児童センター」・「子育て支援センター」等）を利用していますか。また、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。次の中から、あてはまる番号に○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字（1枠に1字）をご記入ください。

①現在の利用状況

「利用していない」が3歳未満で64.6%、3歳以上で78.7%と最も多い。

「地域子育て支援拠点事業」は3歳未満で34.4%、3歳以上で20.5%となっている。

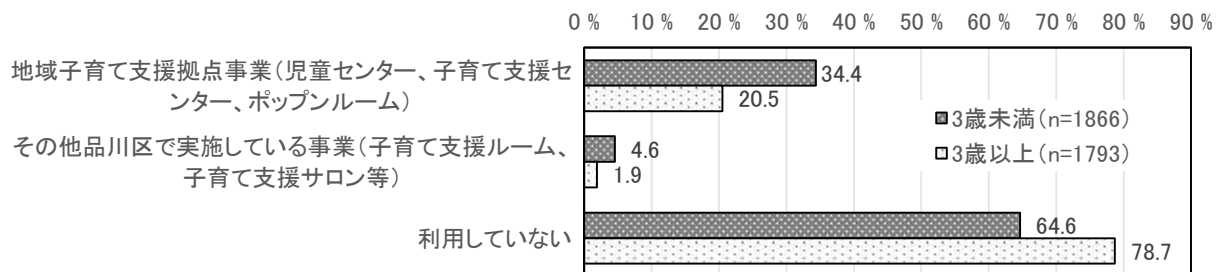


図 58 現在の利用状況

■前回調査(H30 実施)比較

「利用していない」が前回調査よりも12ポイント増加し、「地域子育て支援拠点事業」が12.1ポイント減少した。

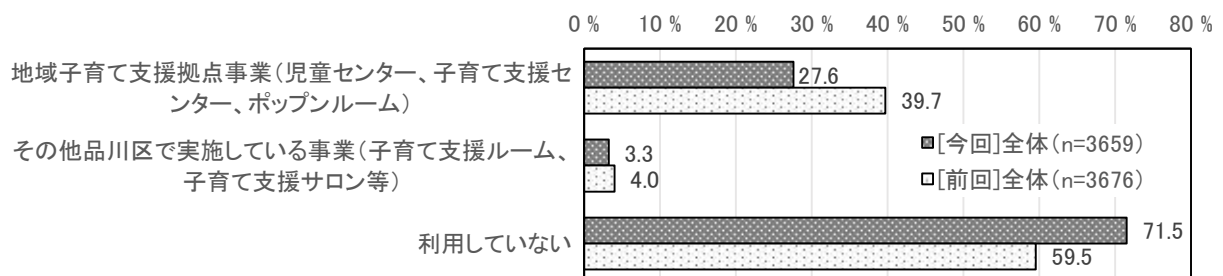


図 59 現在の利用状況（前回調査との比較）

②地域子育て支援拠点事業／1週あたりの利用回数

3歳未満・3歳以上ともに「週1回」が6～7割を占めた。

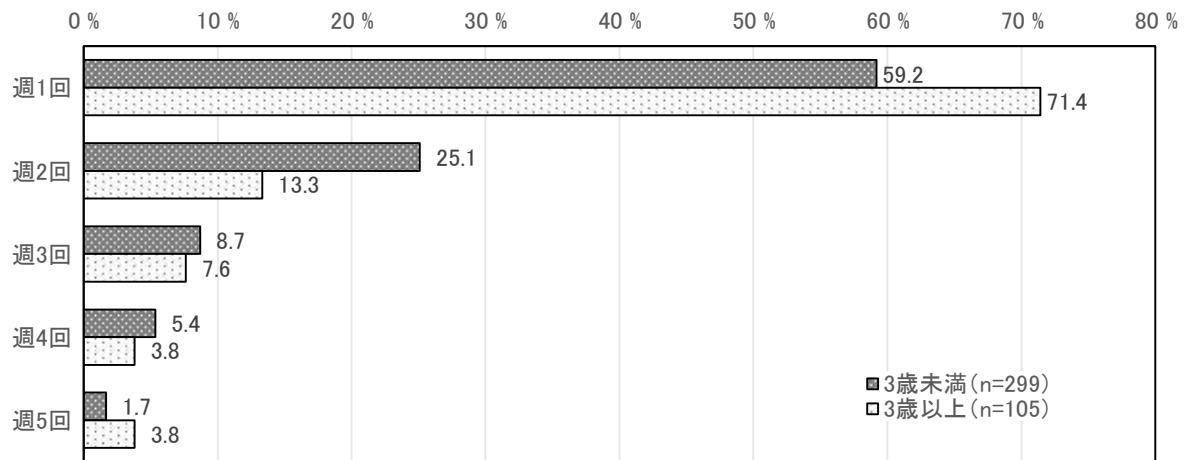


図 60 地域子育て支援拠点事業／1週あたりの利用回数

③地域子育て支援拠点事業／1か月あたりの利用回数

3歳未満・3歳以上ともに「月1回」が6割を占め、次に「月2回」が3割弱であった。

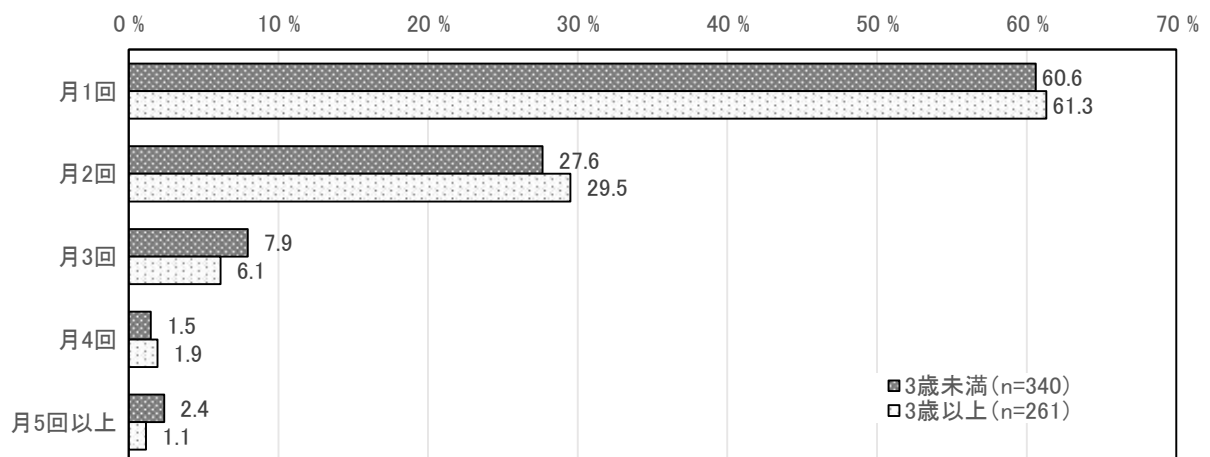


図 61 地域子育て支援拠点事業／1か月あたりの利用回数

④その他品川区で実施している事業／1週あたりの利用回数

「週1回」が最も多く、3歳未満で7割、3歳以上では9割弱を占めた。

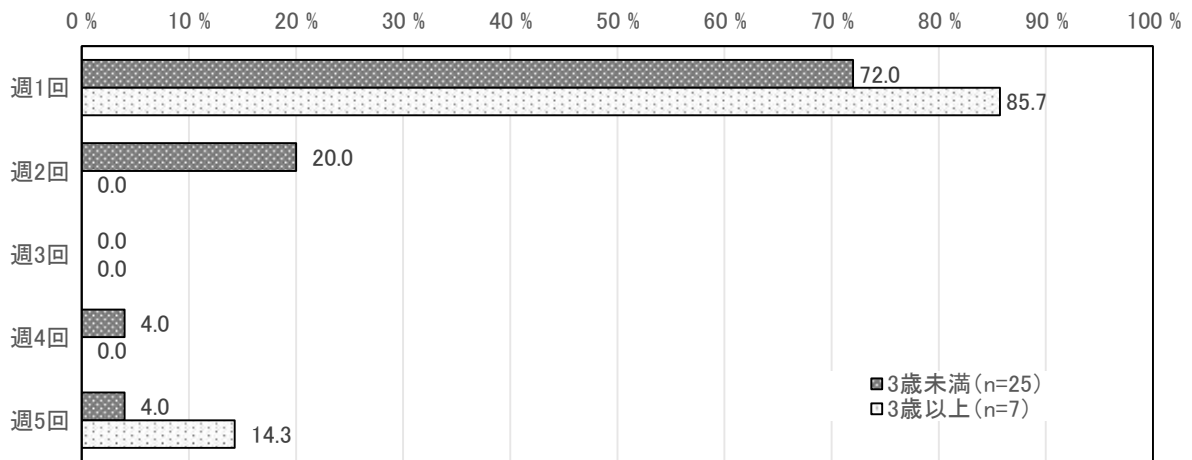


図 62 その他品川区で実施している事業／1週あたりの利用回数

⑤その他品川区で実施している事業／1か月あたりの利用回数

「月1回」が最も多く、3歳未満で7割、3歳以上で8割を占めた。

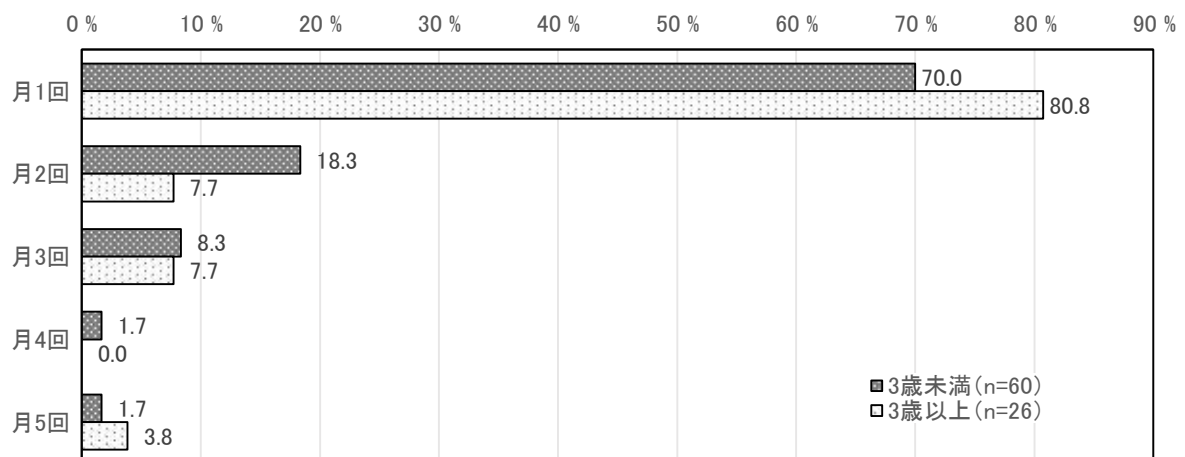


図 63 その他品川区で実施している事業／1か月あたりの利用回数

⑥今後の利用希望

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が3歳未満で51.5%、3歳以上で64.0%と最も多い。

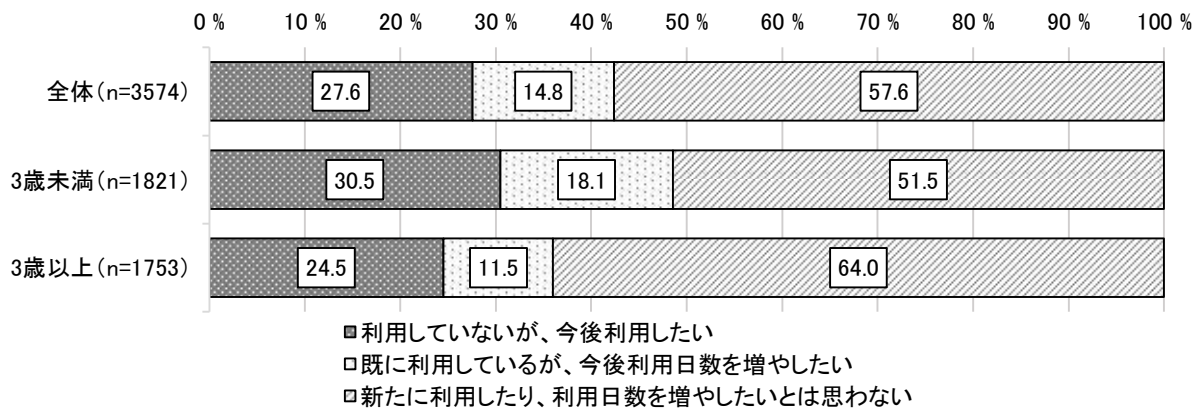


図 64 今後の利用希望

■前回調査(H30 実施)比較

依然として「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が最も多いものの、前回調査よりは0.9ポイント減少した。

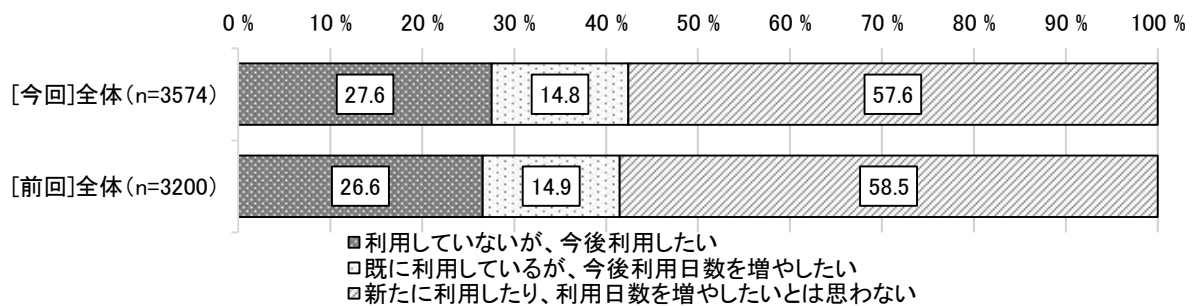


図 65 今後の利用希望 (前回調査との比較)

⑦利用していないが今後利用したい／1週あたりの希望利用回数

3歳未満・3歳以上ともに「週1回」が7割と最も多く、次いで「週2回」が2割弱となった。

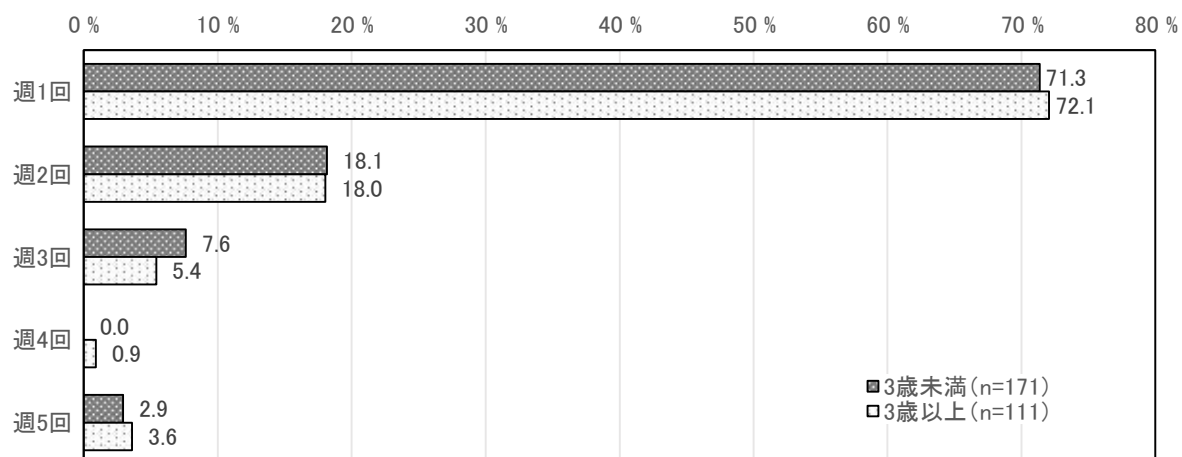


図 66 利用していないが今後利用したい／1週あたりの希望利用回数

⑧利用していないが今後利用したい／1か月あたりの希望利用回数

3歳未満・3歳以上ともに「月1回」が5割前後と最も多く、次いで「月2回」が3割台半ばとなった。

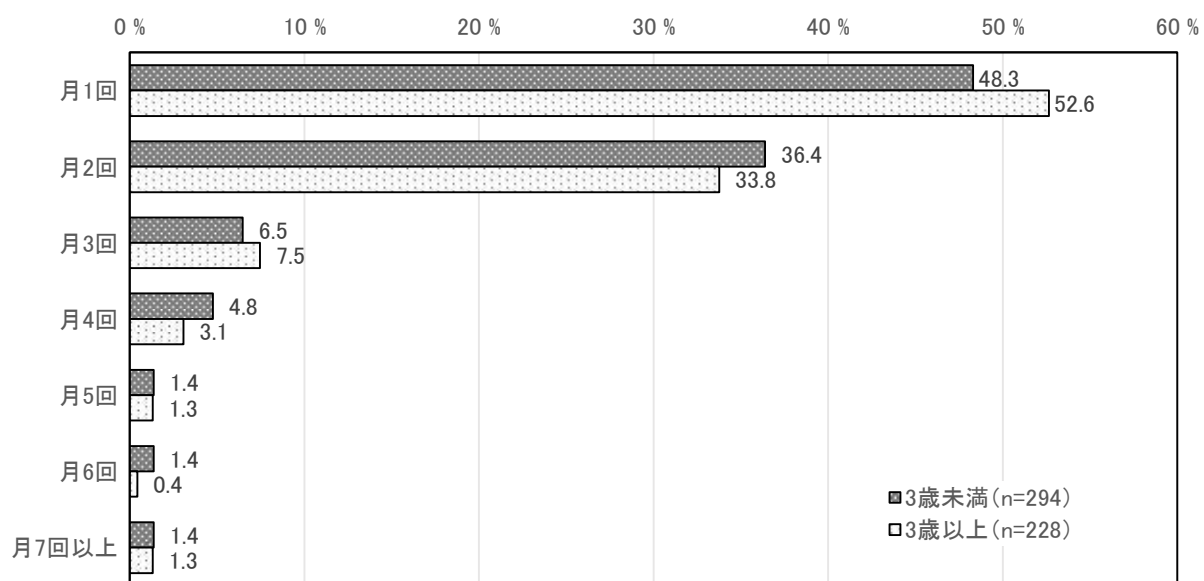


図 67 利用していないが今後利用したい／1か月あたりの希望利用回数

⑨既に利用しているが今後利用日数を増やしたい／1週あたりの希望利用回数

3歳未満・3歳以上ともに「週1回」が最も多く、次いで「週2回」が多かった。3歳以上は週1回が約2/3と圧倒的に多いが、3歳未満では週1回と2回の差は3歳以上に比べると小さい。

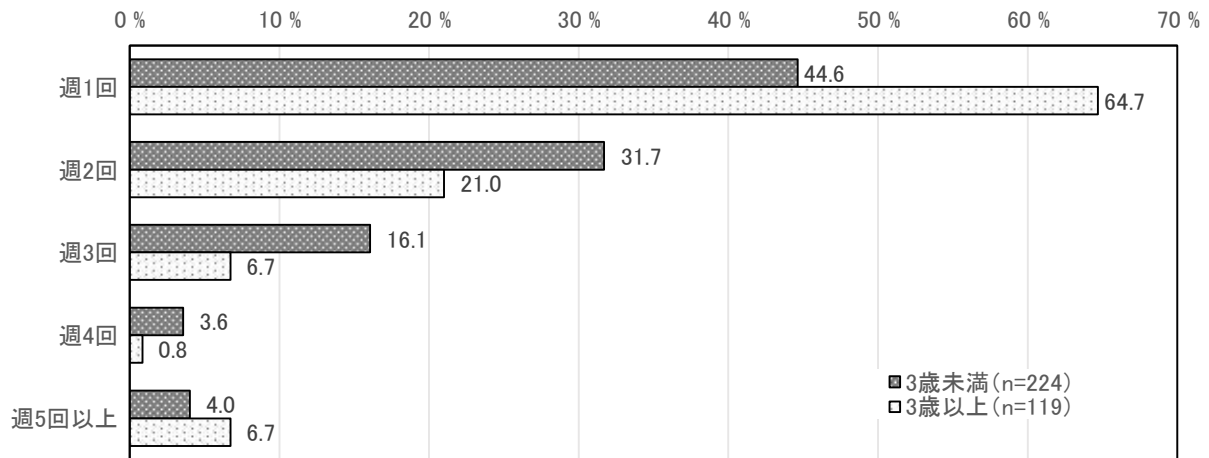


図 68 既に利用しているが今後利用日数を増やしたい／1週あたりの希望利用回数

⑩既に利用しているが今後利用日数を増やしたい／1か月あたりの希望利用回数

3歳未満・3歳以上ともに「月2回」が最も多く、次いで「月1回」が多かった。3歳以上は月2回と1回の差はあまりなく拮抗している。

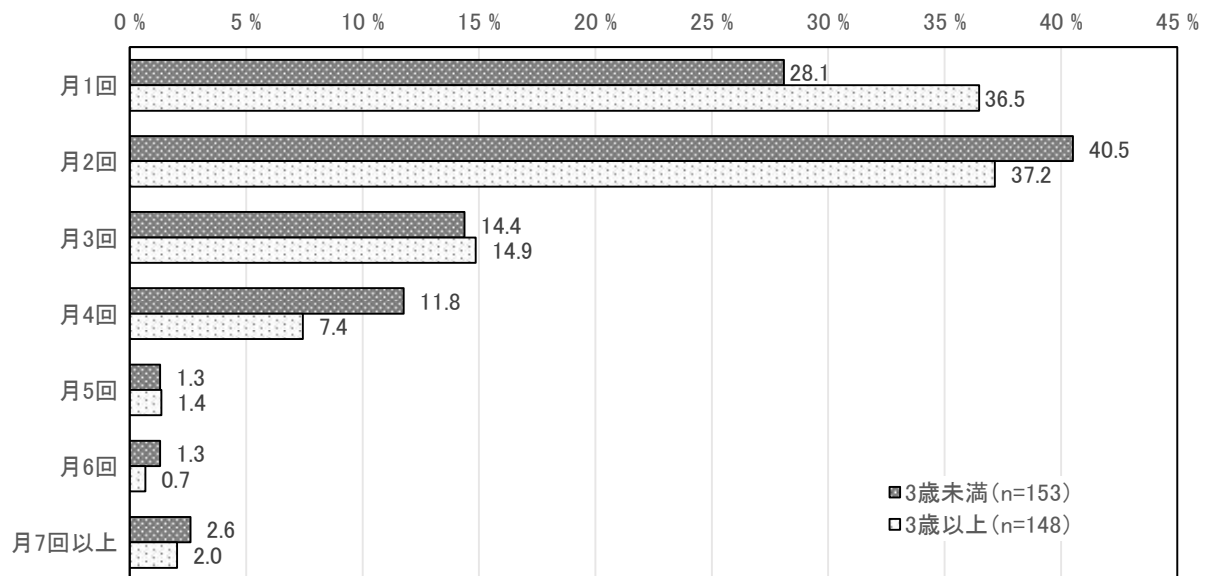


図 69 既に利用しているが今後利用日数を増やしたい／1か月あたりの希望利用回数

(2) 事業の認知度、利用意向【3歳未満・以上：問18】

問18 下記の事業で知っているものや、今後、利用したいと思うものをお答えください。
 ①から⑪の事業ごとに、A・Bのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

①事業の認知度

「①母親学級、両親学級、乳児期前期育児学級」が81.8%で最も多く、「②保健センターの情報・相談事業」(72.9%)、「⑧児童センターの子育て相談(ネウボラ相談)」(65.8%)、「⑪区の子育て関連担当窓口」(59.5%)と続いている。

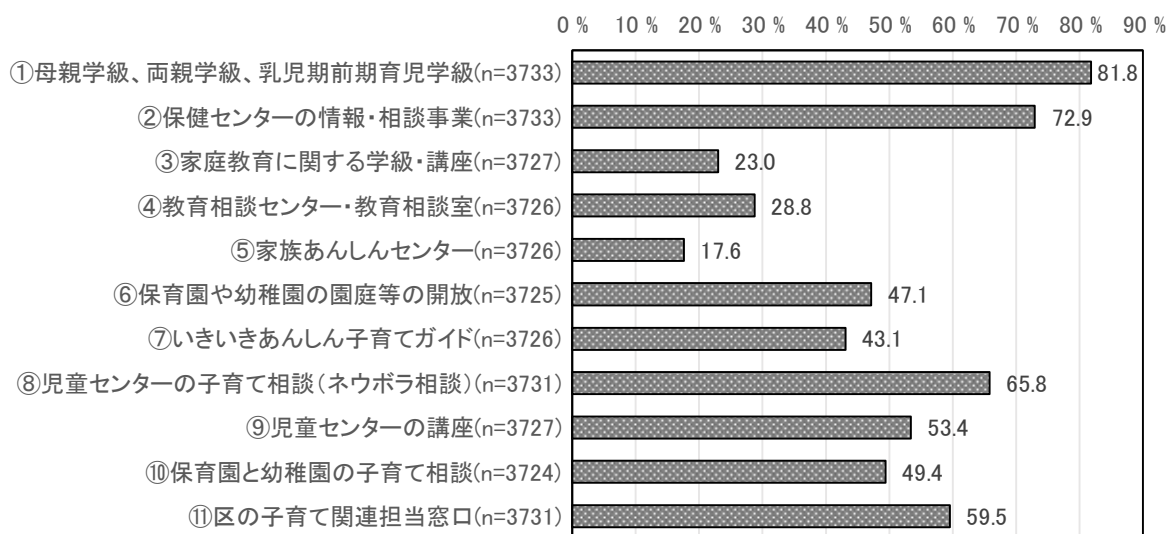


図 70 事業の認知度（「はい」を選択した者の割合）

■前回調査(H30 実施)比較

11項目中5項目で前回よりも増加した。増加した5項目の多くは元々認知度が比較的高い事業だが5.2～12ポイント増加した。

減少した6項目の多くは数ポイント程度の僅かな減少であったが、「⑤家族あんしんセンター（前回調査では「子育て支援センター）」は45.2ポイントの大幅減、「⑥保育園や幼稚園の園庭等の開放」は11.5ポイントの減少となった。前者については名称変更の影響が大きいものと推測される。

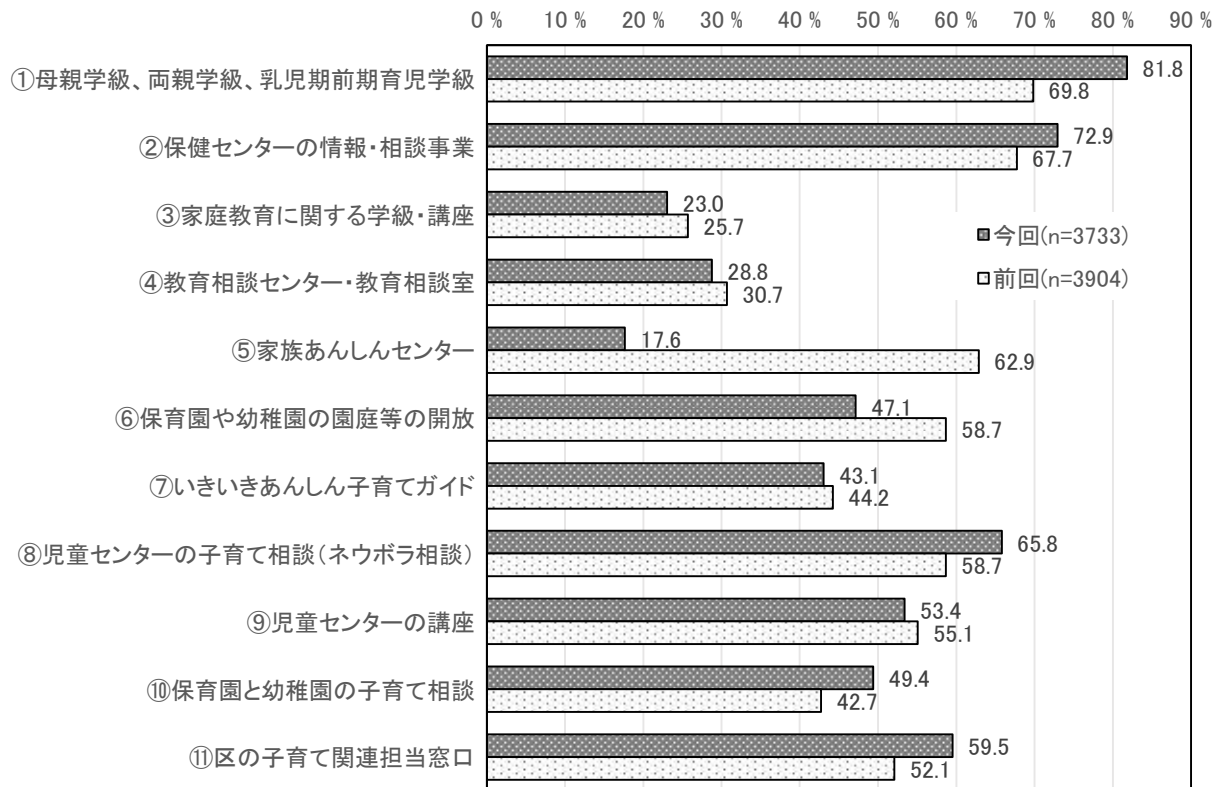


図 71 事業の認知度（「はい」を選択した者の割合：前回調査との比較）

②事業の利用意向

11項目中4項目で半数以上が利用意向を示した。「⑥保育園や幼稚園の園庭等の開放」が64.2%で最も多く、「⑩保育園と幼稚園の子育て相談」(59.0%)、「⑪区の子育て関連担当窓口」(52.6%)、「⑨児童センターの講座」(50.7%)、と続いている。

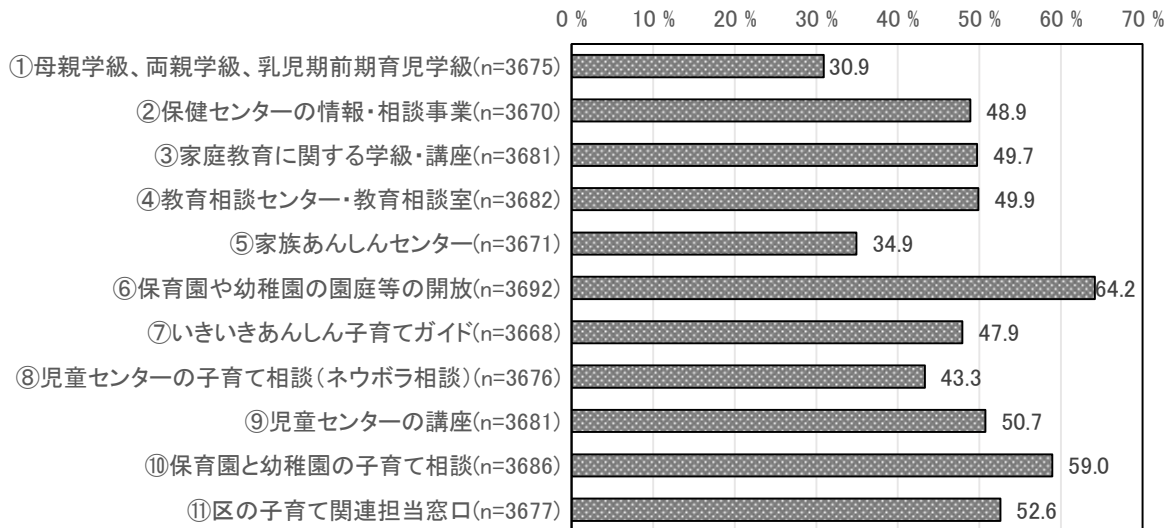


図 72 事業の利用意向（「はい」を選択した者の割合）

■前回調査(H30 実施)比較

11項目中1項目を除き前回よりも増加した。7～46.8ポイントと増加幅は様々だが、40ポイント以上の急増が4事業あった。

唯一減少したのは「①母親学級、両親学級、乳児期前期育児学級」で25.9ポイントの大幅減となった。

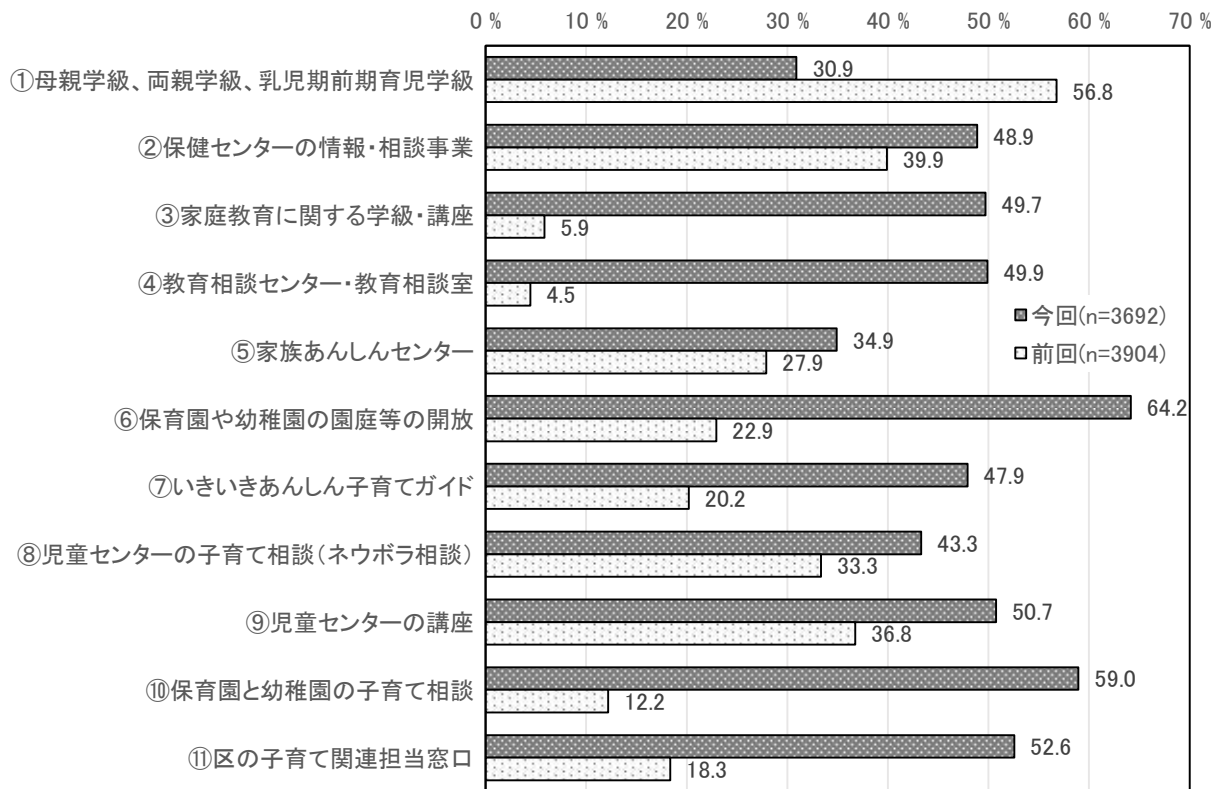


図 73 事業の利用意向（「はい」を選択した者の割合：前回調査との比較）

8. 土曜・日曜・休日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

(1) 土曜・日曜・休日の定期的な教育・保育事業の利用希望【3歳未満・以上：問19】

問19 あて名のお子様について、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業のことをいい、親族・知人による預かりは含みません。

①土曜・日曜・祝日の利用希望

土曜日の利用希望は、3歳未満・3歳以上ともに「利用する必要はない」が6割前後と最も多く、次いで「月に1、2回利用したい」が3割強であった。

日曜日・祝日の利用希望は、3歳未満・3歳以上ともに「利用する必要はない」が約7割と最も多く、次いで「月に1、2回利用したい」が約2割であった。

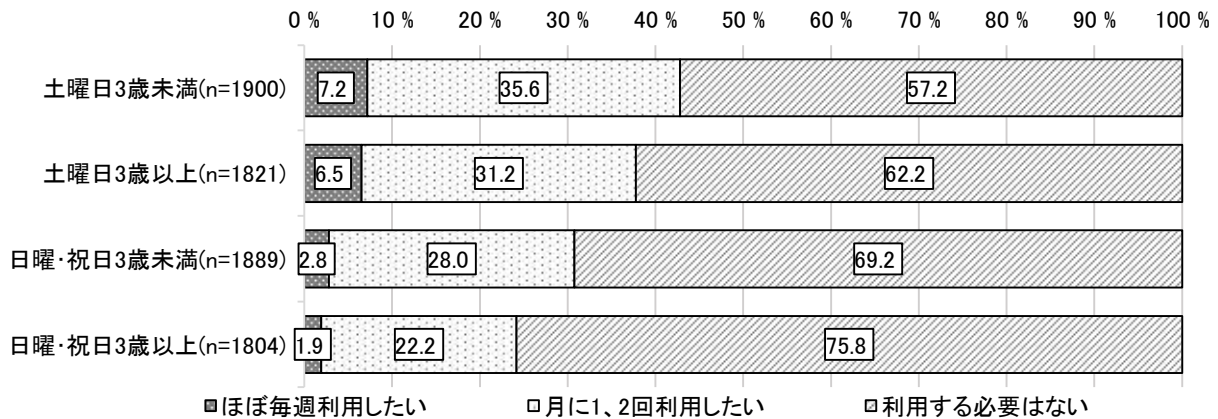


図 74 土曜・日曜・祝日の利用希望

■前回調査(H30 実施)比較

いずれも「利用する必要はない」が最も多い傾向に変わりはないが、土曜は前回調査より0.6ポイントの微増に対し、日曜・祝日は5.4ポイントの減少となった。

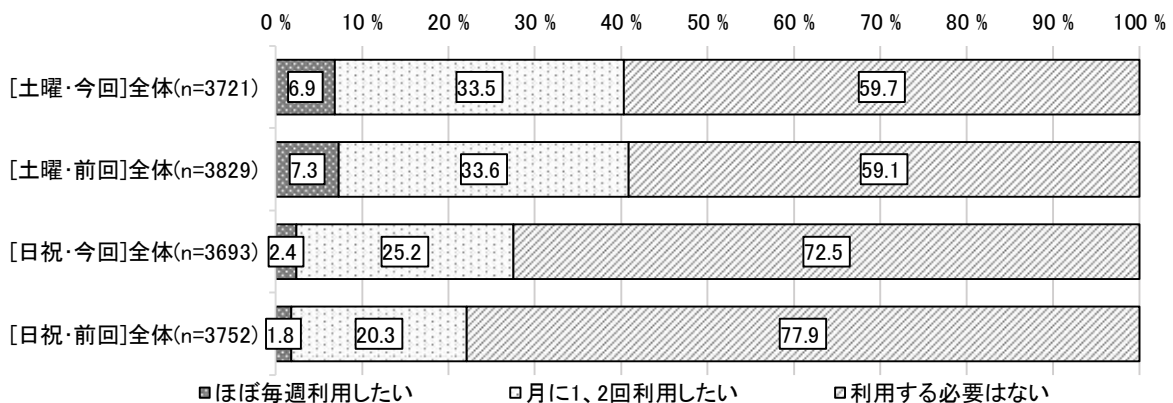


図 75 土曜・日曜・祝日の利用希望（前回調査との比較）

②長期休業中の利用希望（幼稚園利用者のみ）

「週に数日利用したい」が半数以上を占め、次いで「利用する必要はない」が約1/4であった。

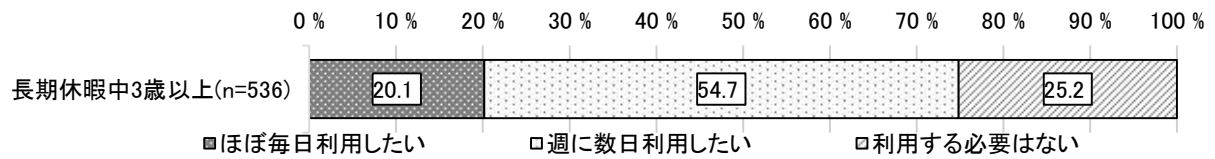


図 76 長期休業中の利用希望

■前回調査(H30 実施)比較

「週に数日利用したい」が前回調査より4.6ポイントの増加したのに対し、「利用する必要はない」は8.5ポイントの減少となった。

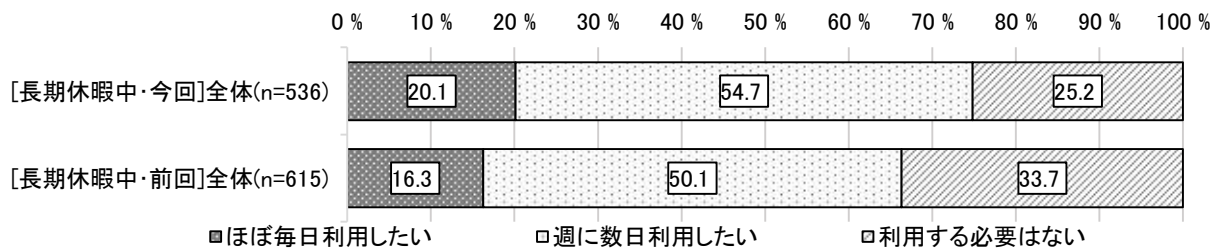


図 77 長期休業中の利用希望（前回調査との比較）

③土曜日／希望利用開始時刻

3歳未満・3歳以上ともに「9時」が最も多い。次いで3歳未満では「10時」、3歳以上では「8時」が多かった。

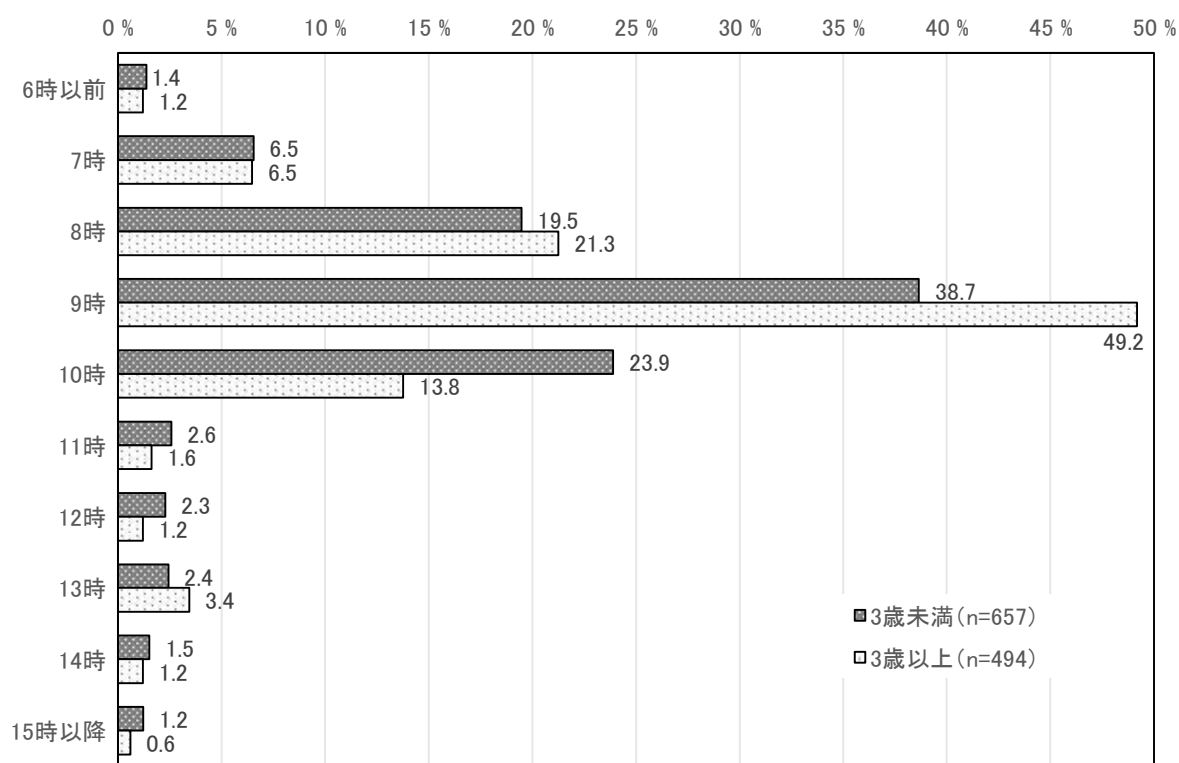


図 78 土曜日／希望利用開始時刻

④土曜日／希望利用終了時刻

3歳未満・3歳以上ともに「17時」が2割台と最も多く、次いで「18時」が2割弱であった。

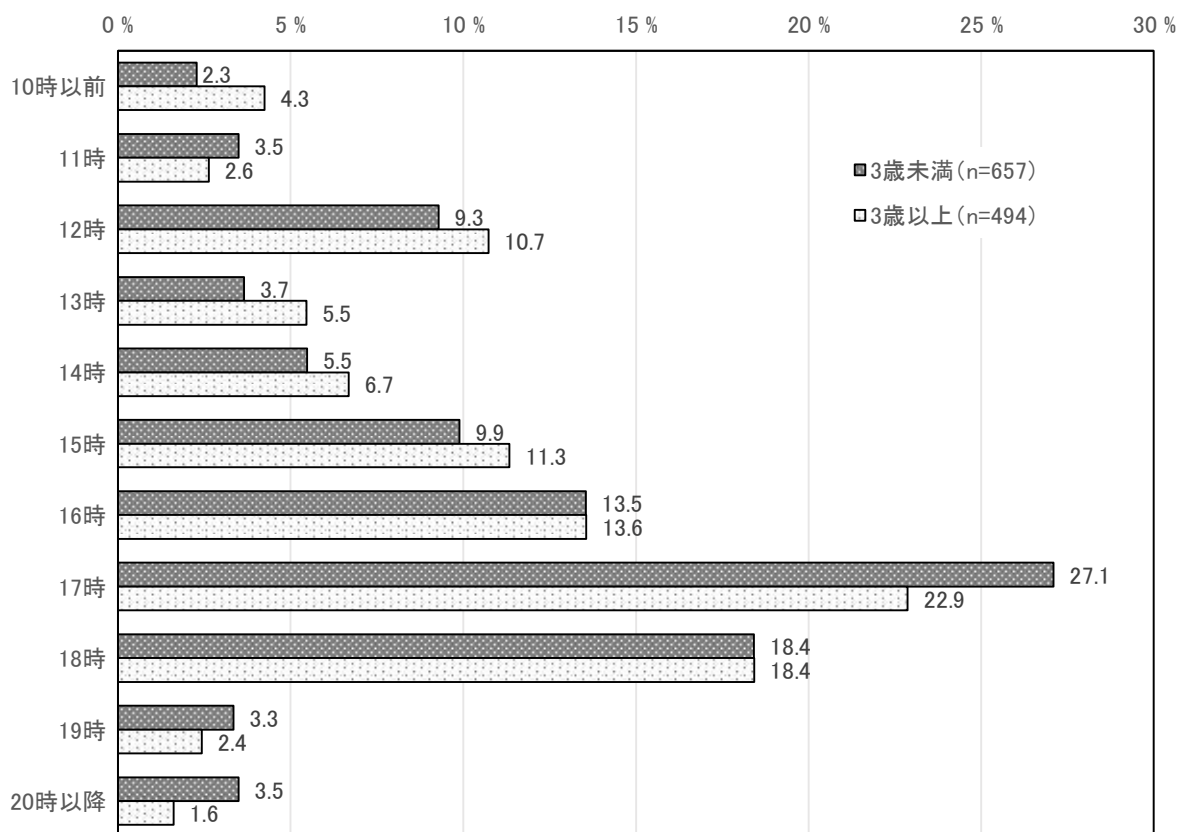


図 79 土曜日／希望利用終了時刻

⑤日曜日・祝日／希望利用開始時刻

3歳未満・3歳以上ともに「9時」が4割前後で最も多く、「10時」が次に多かった。

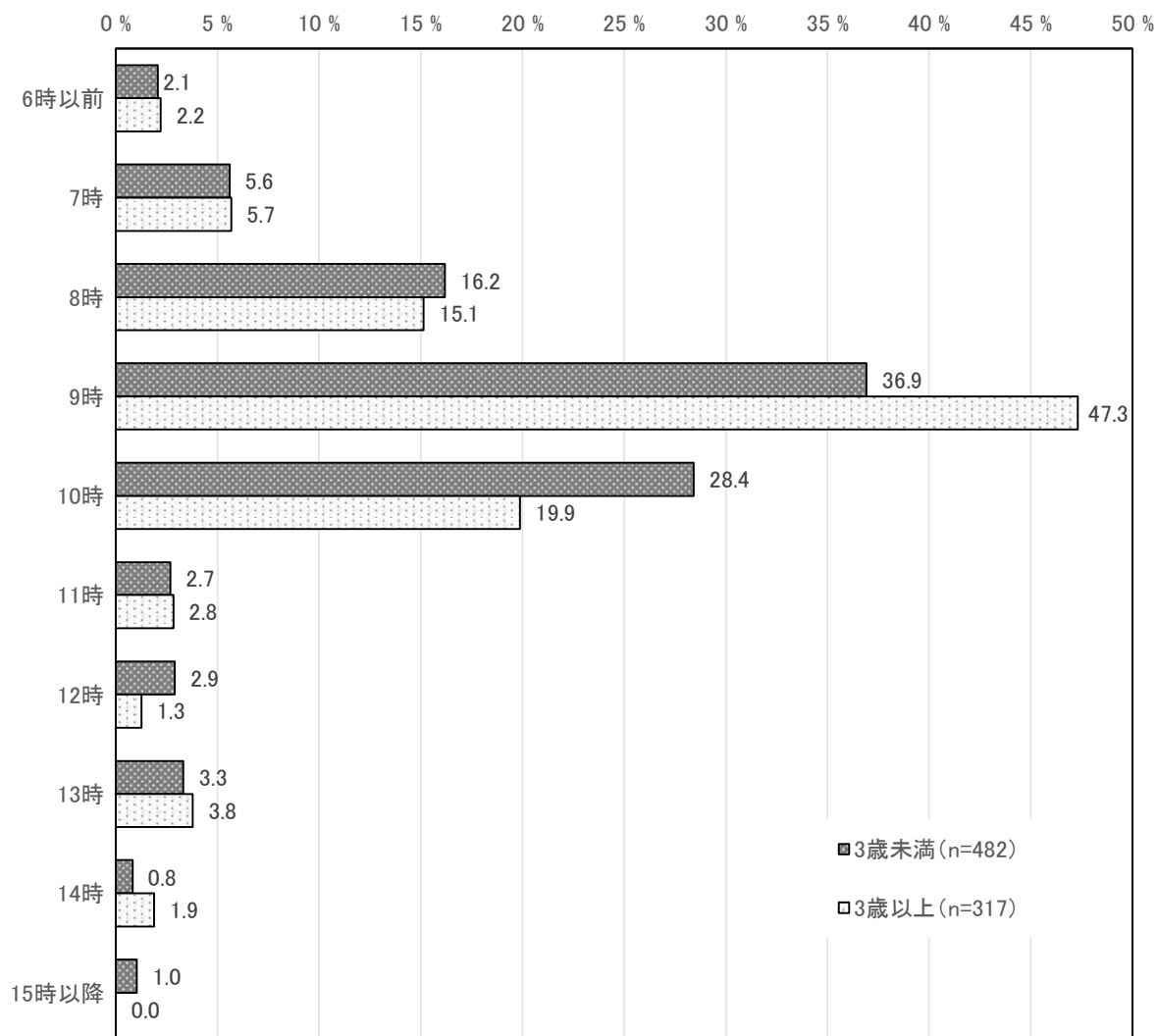


図 80 日曜日・祝日／希望利用開始時刻

⑥日曜日・祝日／希望利用終了時刻

3歳未満・3歳以上ともに「17時」が約1/4を占め、「18時」が次に多かった。

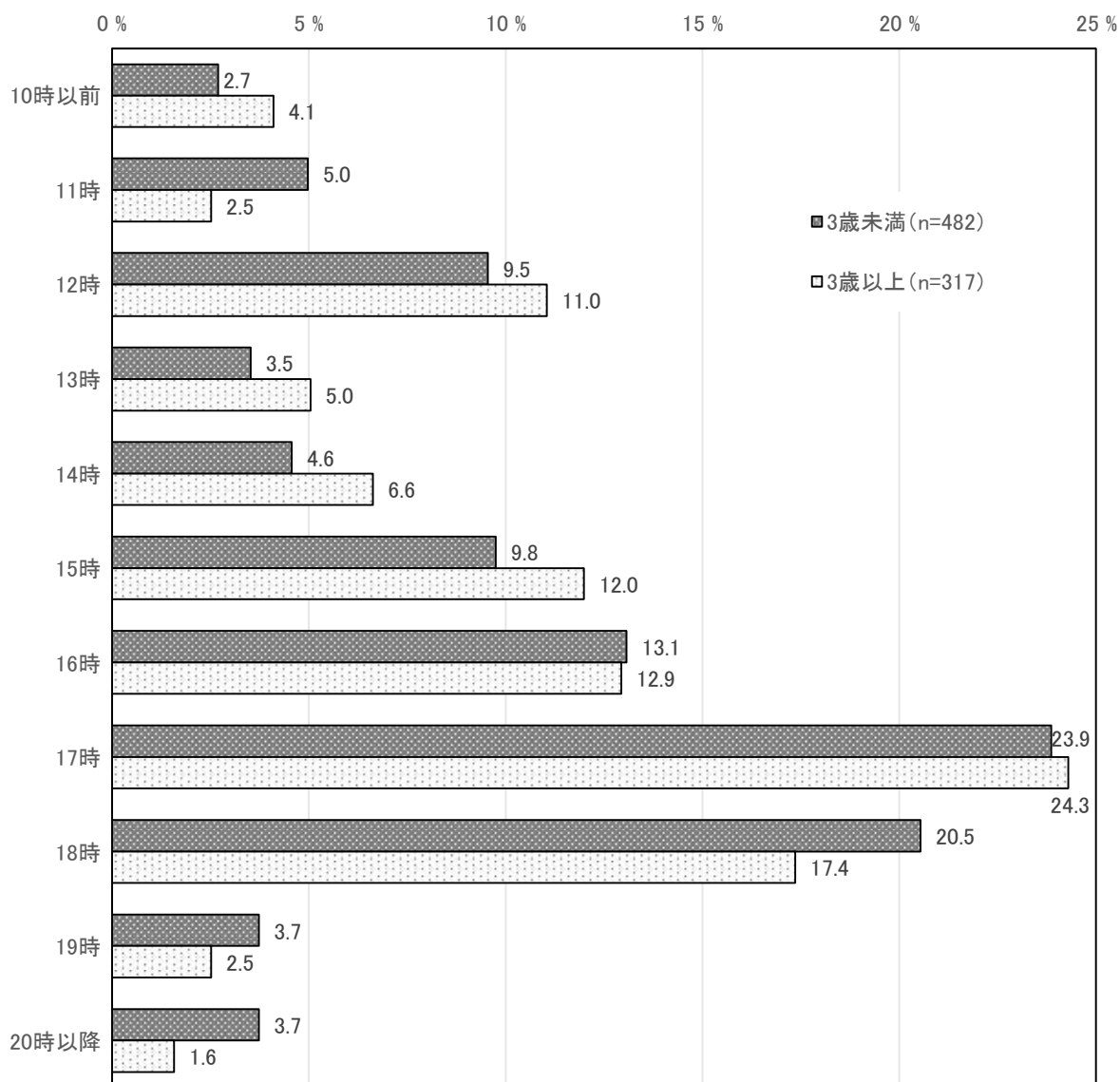


図 81 日曜日・祝日／希望利用終了時刻

⑦長期休暇中（3歳以上・幼稚園利用者）／希望利用時刻

開始時刻は「9時」が7割を占め、「8時」が次に多かった。

終了時刻は開始時刻と異なり特定の時間帯に集中せず、「14時」から「17時」までの時間帯に約2割ずつ散らばった。

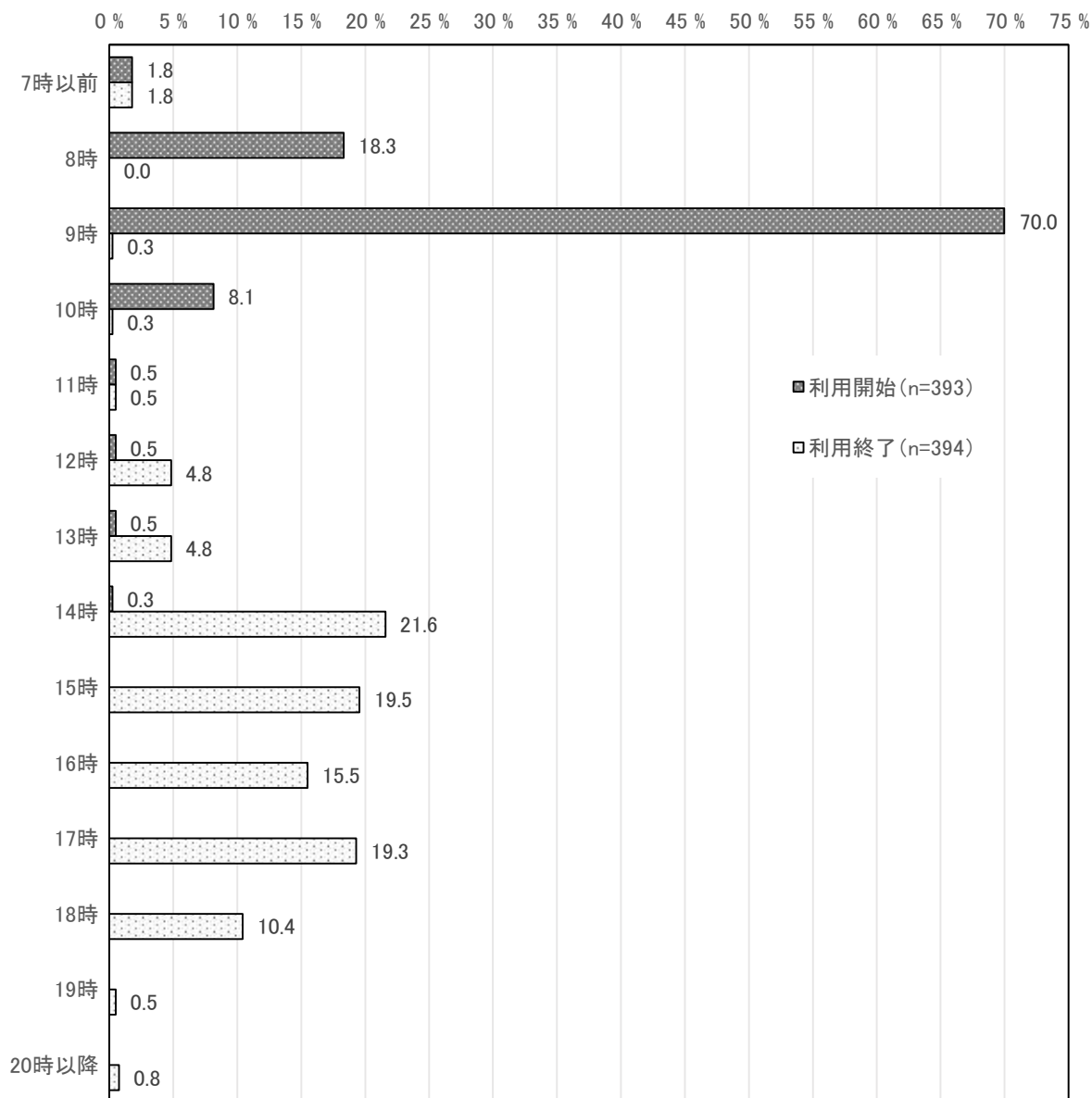


図 82 長期休暇中（3歳以上・幼稚園利用者）／希望利用時刻

(2) 毎週ではなく、たまに利用したい理由【3歳未満・以上：問19-1】

問19の土曜日または日曜日・祝日で、「2. 月に1、2回利用したい」を選んだ方に伺います。

問19-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

3歳未満では「リフレッシュのため」が65.2%と最も多く、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が60.4%で続いた。

3歳以上では「買い物等の用事をまとめて済ませるため」と「リフレッシュのため」が58.0%で最も多かった。

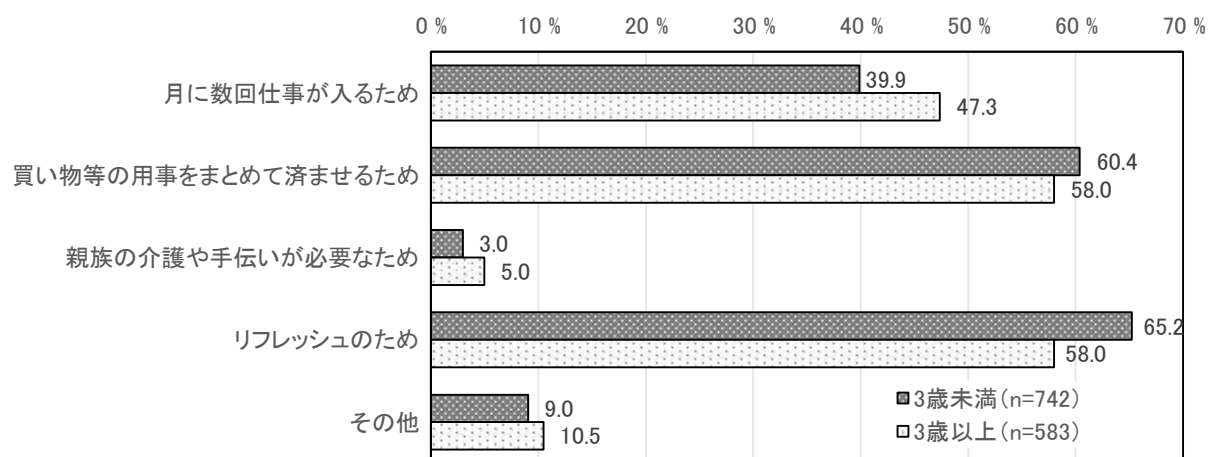


図 83 たまに利用したい理由

9. 子どもが病気の際の対応（平日の教育・保育の利用者のみ）

（1）病気やケガで通常の事業を利用できなかった経験【3歳未満・以上：問20】

問12で、平日の定期的な教育・保育事業を「1. 利用している」を選んだ方に伺います。

問20 この1年間に、あて名のお子様が病気やけがで、通常の事業が利用できなかったことがありますか。あった場合は、行った対処方法と対処にかかった日数をあわせてお答えください。あてはまる番号1つに○、記号すべてに○、□内に数字（1枠に1字）をご記入ください。※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。

①病気やケガで利用できなかった経験

「あった」が3歳未満では83.5%、3歳以上では75.4%であった。

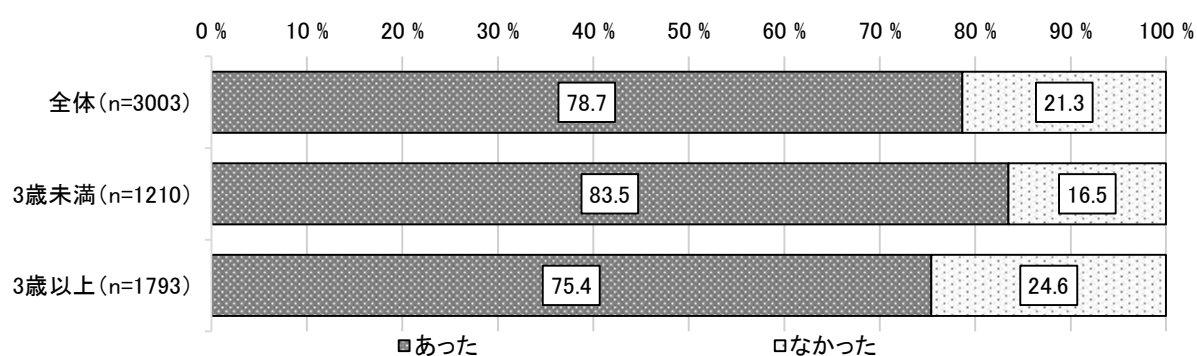


図 84 病気やケガで利用できなかった経験

■前回調査(H30 実施)比較

「あった」が前回調査から8.8ポイントの減少となった。

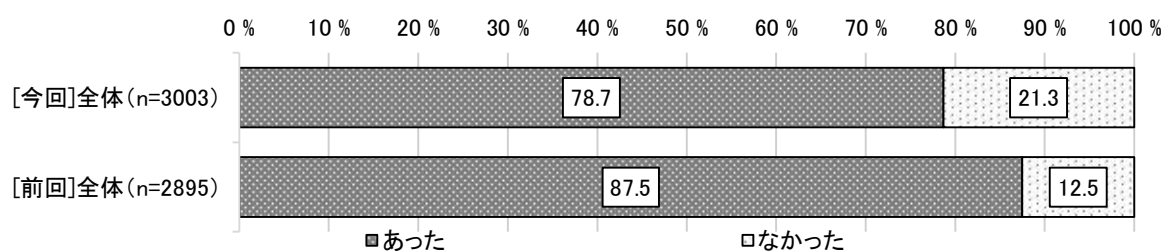


図 85 病気やケガで利用できなかった経験（前回調査との比較）

②対処方法

「母親が仕事を休んだ」が3歳未満で88.1%、3歳以上で76.0%と最も多い。次いで「父親が仕事を休んだ」が3歳未満で54.5%、3歳以上で45.7%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が3歳未満で25.1%、3歳以上で18.5%となった。

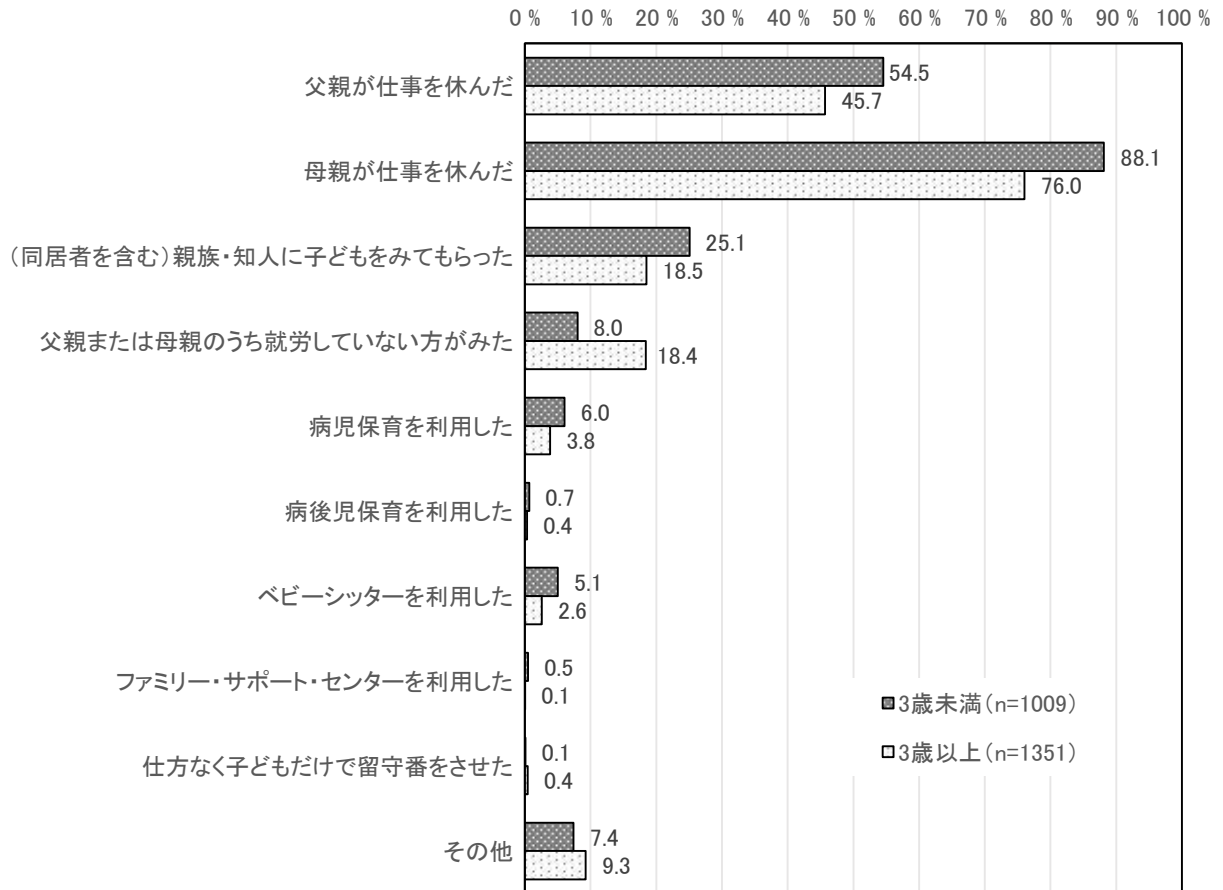


図 86 対処方法

■前回調査(H30 実施)比較

「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が前回調査から14.3ポイントの大幅減、「父親または母親のうち就労していない方がみた」の微減に対し、「父親が仕事を休んだ」と「母親が仕事を休んだ」は約4~5ポイント増加した。

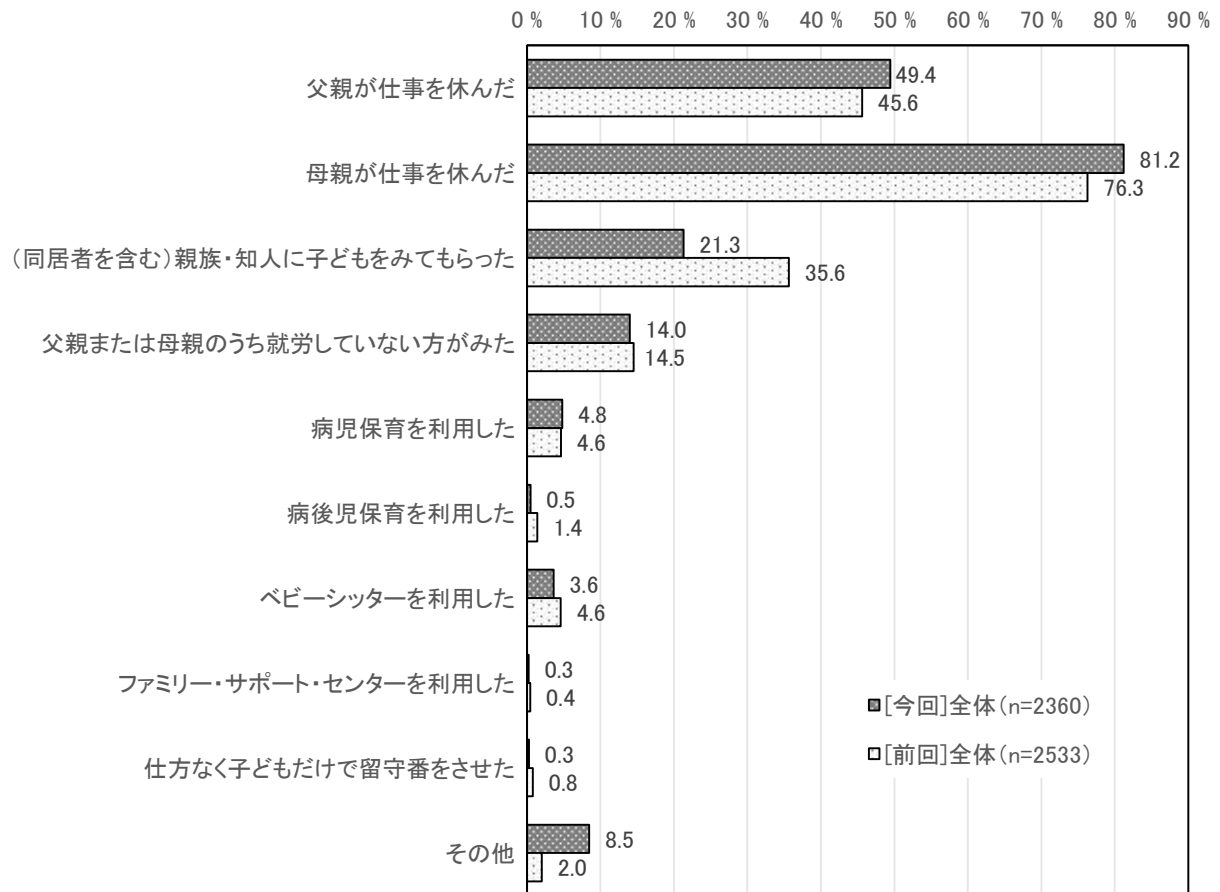


図 87 対処方法 (前回調査との比較)

③父親が仕事を休んだ／年間延べ日数

3歳未満・3歳以上ともに「年1~5日」が7割を超え最も多かった。

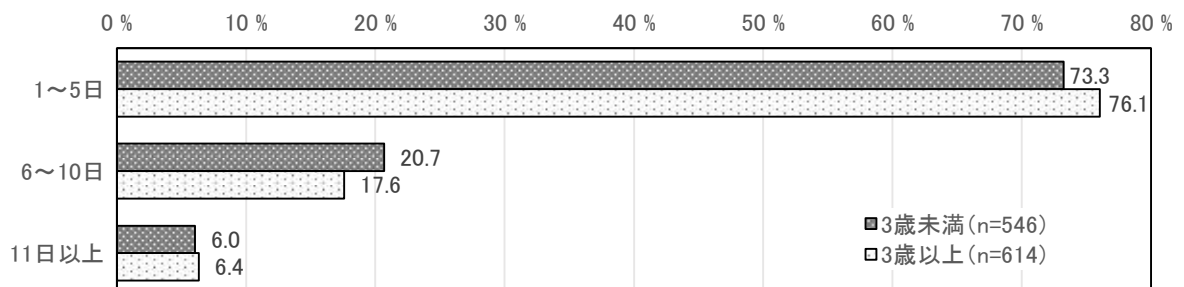


図 88 父親が仕事を休んだ／年間延べ日数

④母親が仕事を休んだ／年間延べ日数

3歳未満・3歳以上ともに「年1～5日」が5割前後と最も多く、次いで「年6～10日」が3割前後であった。

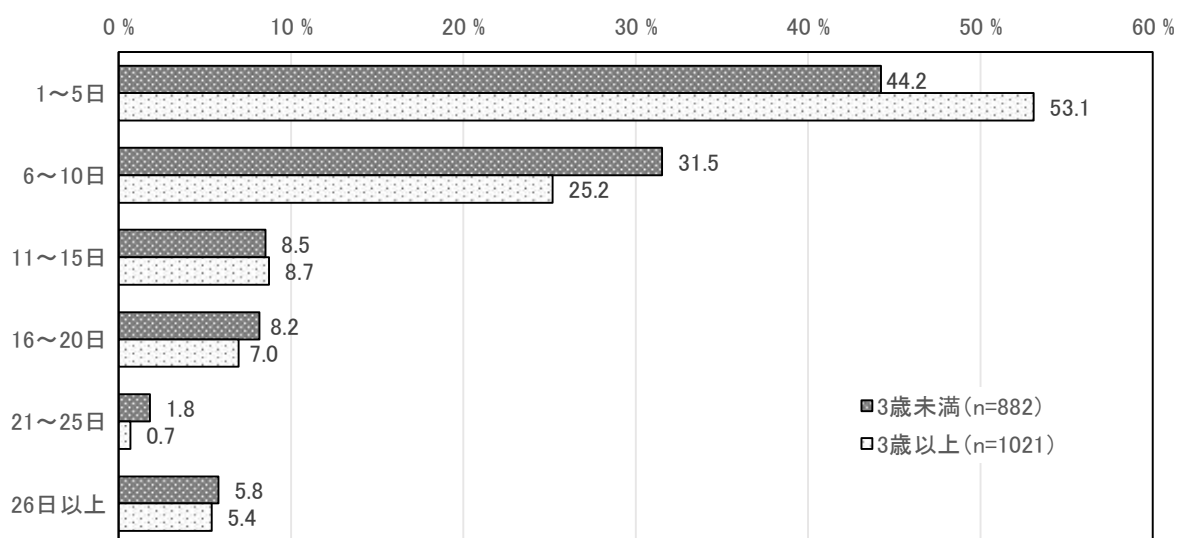


図 89 母親が仕事を休んだ／年間延べ日数

⑤親族・知人にみてもらった／年間延べ日数

3歳未満・3歳以上ともに「年1～5日」が7割前後で最も多く、次いで「年6～10日」が2割強であった。

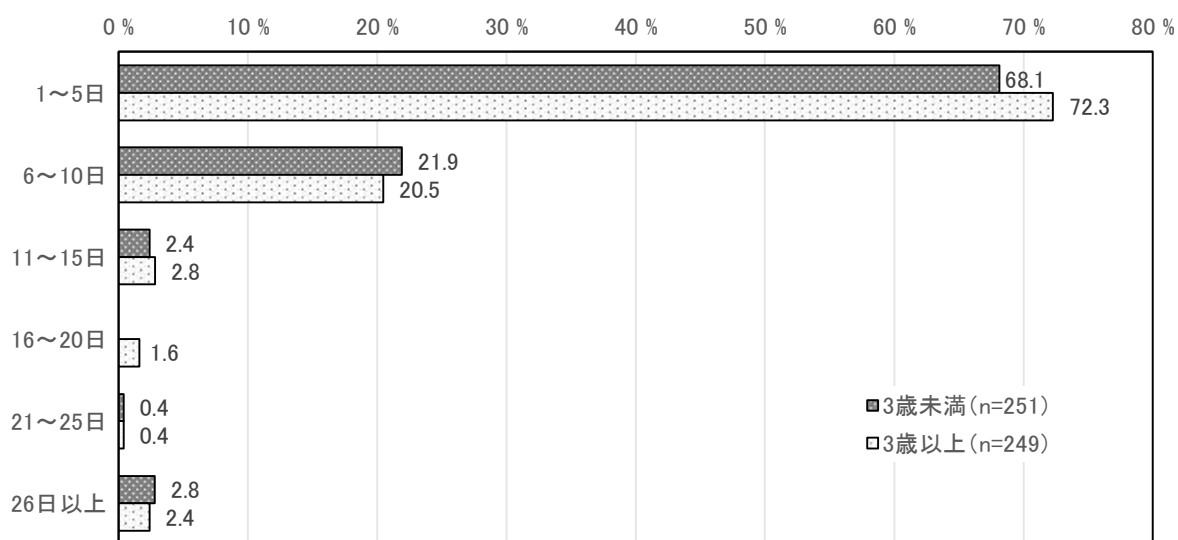


図 90 親族・知人にみてもらった／年間延べ日数

⑥父親、母親で就労していない方がみた／年間延べ日数

3歳未満では、「年1～5日」が43.0%で最も多く、「年6～10日」が25.3%で次に多かった。
 3歳以上は、3歳未満と異なり、「年1～5日」と「年6～10日」がそれぞれ1/3程度ずつで拮抗した。

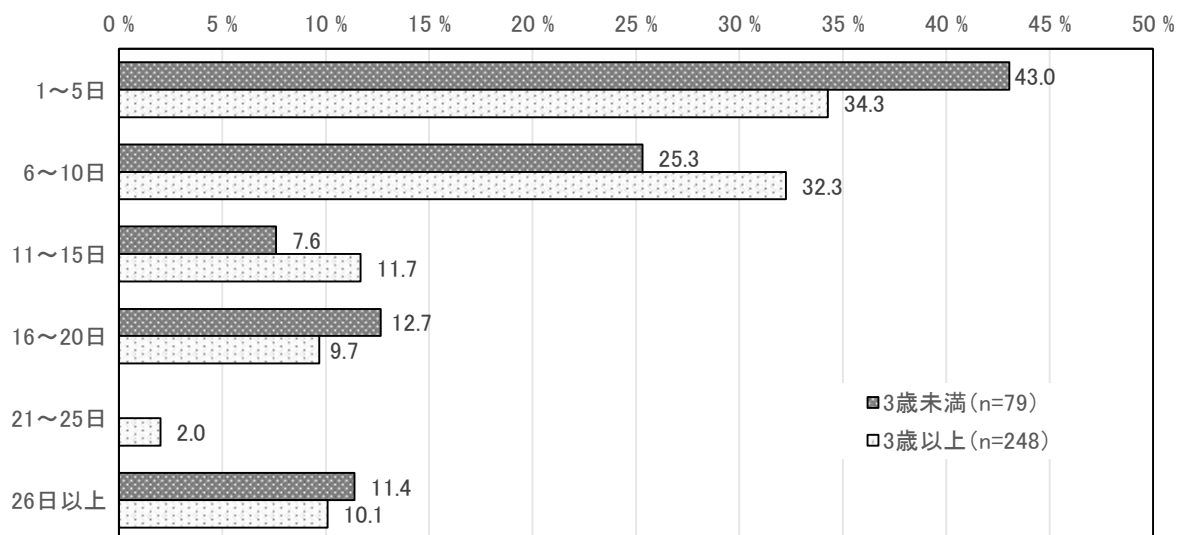


図 91 父親、母親で就労していない方がみた／年間延べ日数

⑦病児保育／年間延べ日数

3歳未満・3歳以上ともに「年1～5日」が8割前後で最も多かった。

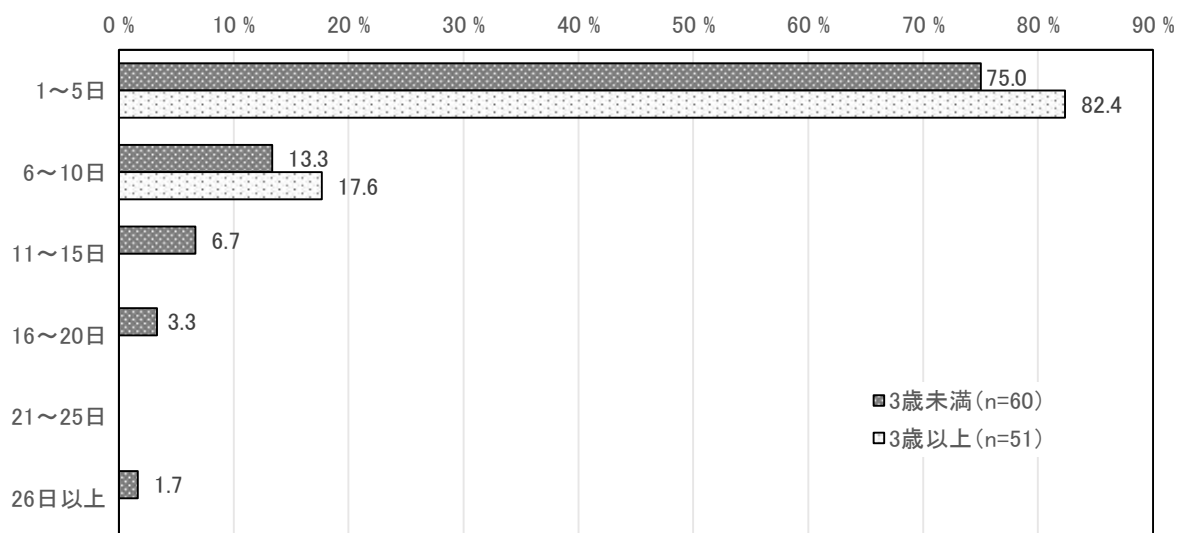


図 92 病児保育／年間延べ日数

⑧病後児保育／年間延べ日数

母数が少ないため参考値となるが、3歳未満は「年1日」「年2日」「年5日」、3歳以上は「年2日」が最も多かった。

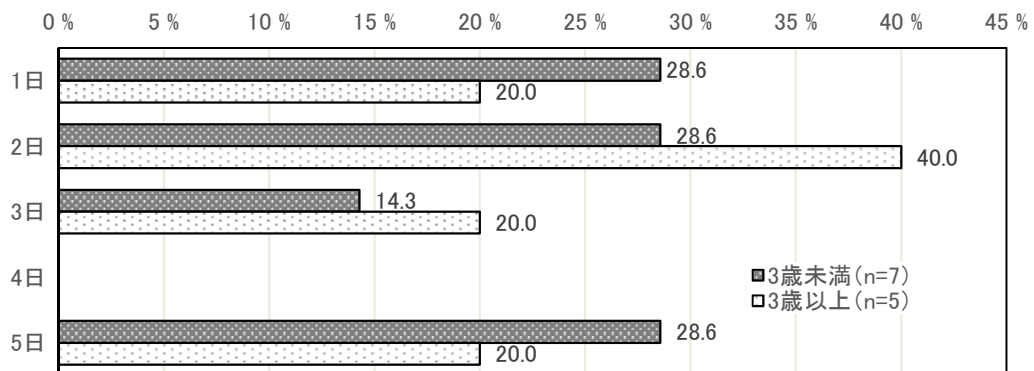


図 93 病後児保育／年間延べ日数

⑨ベビーシッター／年間延べ日数

3歳未満・3歳以上ともに「年1～5日」が8割前後で最も多かった。

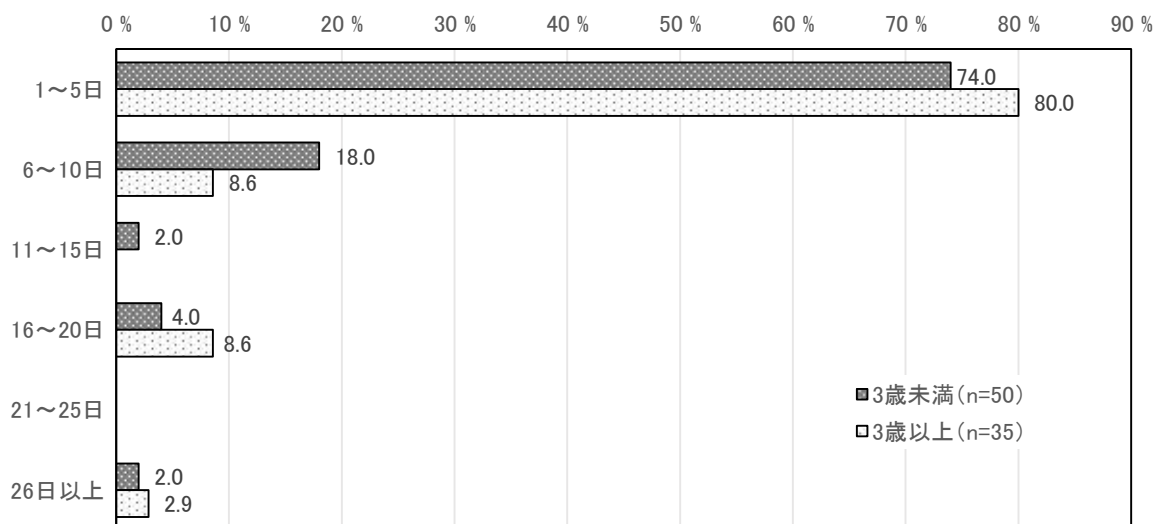


図 94 ベビーシッター／年間延べ日数

⑩ファミリー・サポート・センター／年間延べ日数

母数が少ないため参考値となるが、3歳未満は「年1～5日」が最も多く、3歳以上は「年1～5日」のみであった。

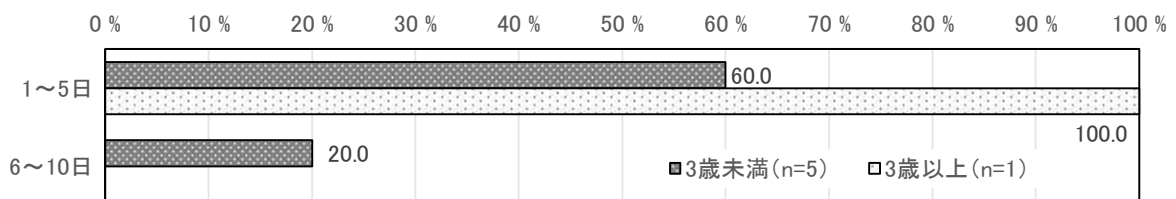


図 95 ファミリー・サポート・センター／年間延べ日数

⑪仕方なく子どもだけで留守番をさせた／年間延べ日数

母数が少ないため参考値となるが、3歳未満は「年1～5日」のみ、3歳未満は「年1～5日」が最も多かった。

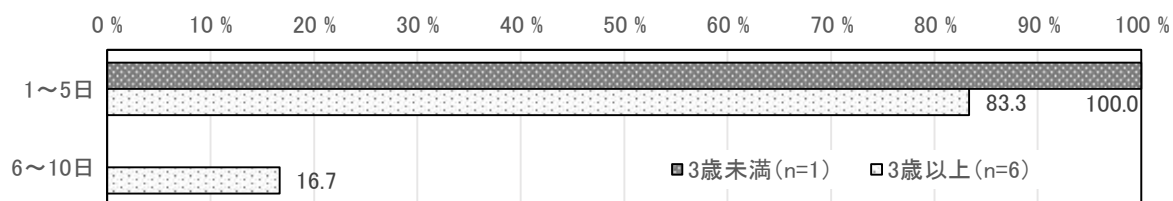


図 96 仕方なく子どもだけで留守番をさせた／年間延べ日数

⑫その他／年間延べ日数

3歳未満・3歳以上ともに「年1～5日」が4割前後で最も多く、次いで「年6～10日」が3割弱であった。

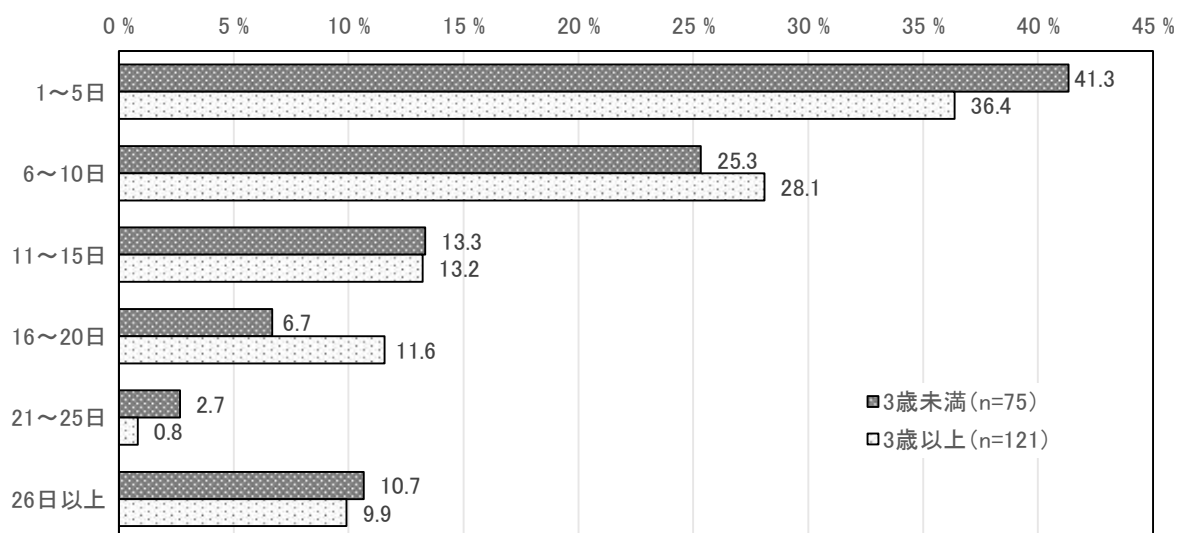


図 97 その他／年間延べ日数

(2) 病児保育施設等の利用希望【3歳未満・以上：問20-1】

問20で、「ア」または「イ」（母親、父親が仕事を休んだ）を選んだ方に伺います。

問20-1 その際、あて名のお子様が発熱や風邪などの病気であった場合、「できれば病児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、病児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

3歳未満では「できれば病児保育施設等を利用したい」が53.6%で最も多かった。
3歳以上では「利用しない」が51.5%で最も多く、「できれば病児保育施設等を利用したい」は43.0%であった。

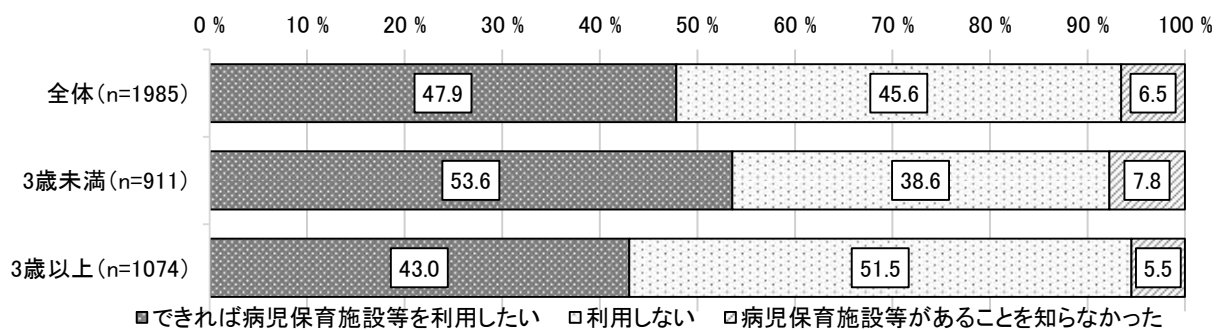


図 98 病気時の保育施設等の利用希望

■前回調査(H30 実施)比較

「できれば病児保育施設等を利用したい」と「利用しない」が、前回調査よりもそれぞれ約2ポイント減少したのに対し、「病児保育施設等があることを知らなかった」が2.8ポイント増加した。

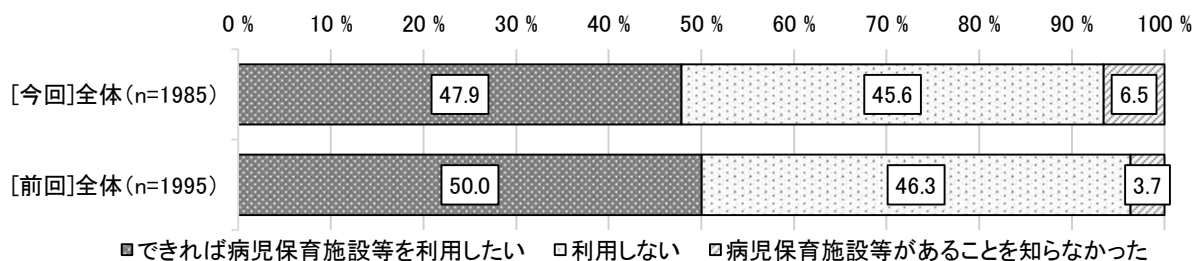


図 99 病気時の保育施設等の利用希望 (前回調査との比較)

(3) 病後児保育施設等の利用希望【3歳未満・以上：問20-2】

問20で、「ア」または「イ」（母親、父親が仕事を休んだ）を選んだ方に伺います。

問20-2 その際、あて名のお子様が発熱や風邪などの病気が回復し登園可能であるが、集団での保育や園での戸外活動に不安があると感じた場合、「できれば病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかる場合があります、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

3歳未満では「できれば病後児保育施設等を利用したい」が48.6%で最も多かった。
3歳以上では「利用しない」が48.5%で最も多く、「できれば病後児保育施設等を利用したい」も42.7%であった。

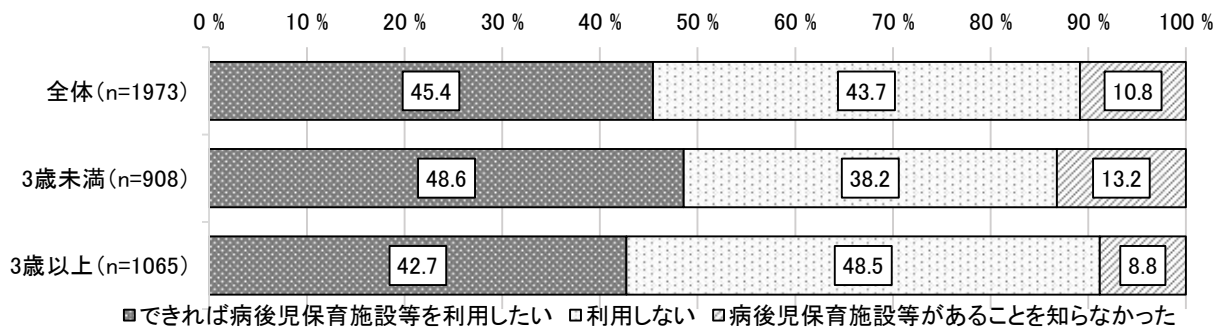


図 100 不安時の保育施設等の利用希望

■前回調査(H30 実施)比較

「できれば病後児保育施設等を利用したい」が前回調査より6ポイント減少したのに対し「病後児保育施設等があることを知らなかった」が4.8ポイント増加した。

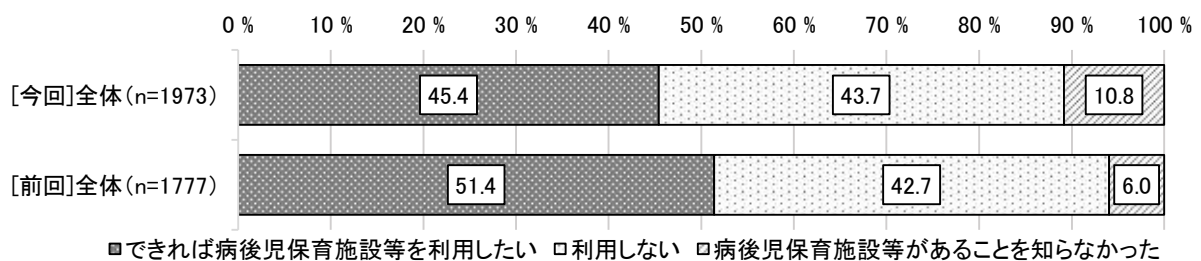


図 101 不安時の保育施設等の利用希望（前回調査との比較）

10. 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

(1) 不特定の教育・保育事業の利用状況【3歳未満・以上：問21】

問21 あて名のお子様について、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。利用している場合は、利用している事業と1年間のおおよその利用日数を、利用していない場合は、その理由をあわせてお答えください。あてはまる番号1つに○、記号すべてに○、□内に数字（1枠に1字）をご記入ください。

①不特定の教育・保育事業の利用状況

3歳未満・3歳以上ともに「利用していない」が9割弱を占めた。

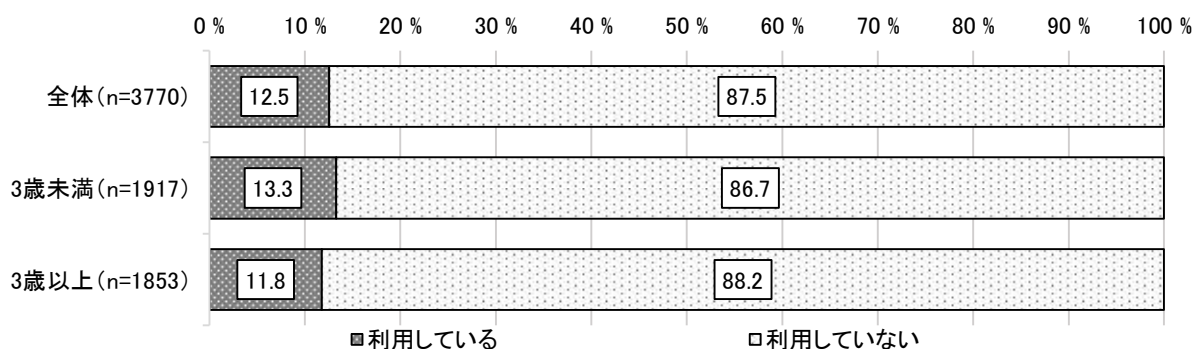


図 102 不特定の教育・保育事業の利用状況

■前回調査(H30 実施)比較

「利用していない」は前回調査から10.3ポイントの増加となった。

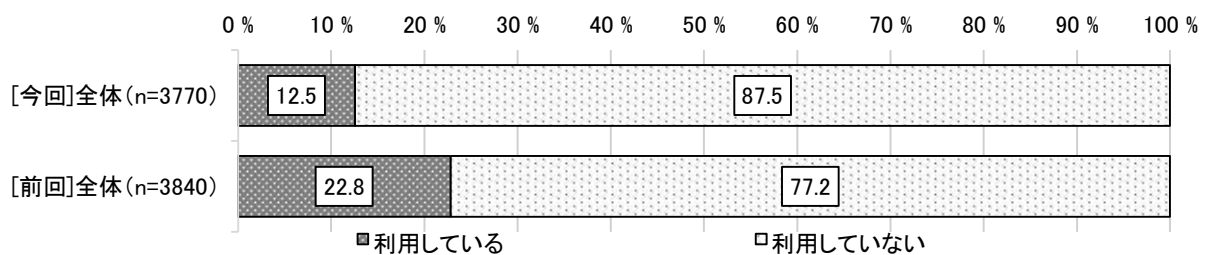


図 103 不特定の教育・保育事業の利用状況（前回調査との比較）

②利用している事業

3歳未満では「生活支援型一時保育：オアシスルーム」が67.2%で最も多く、3歳以上では「幼稚園の預かり保育」が41.5%で最も多かった。

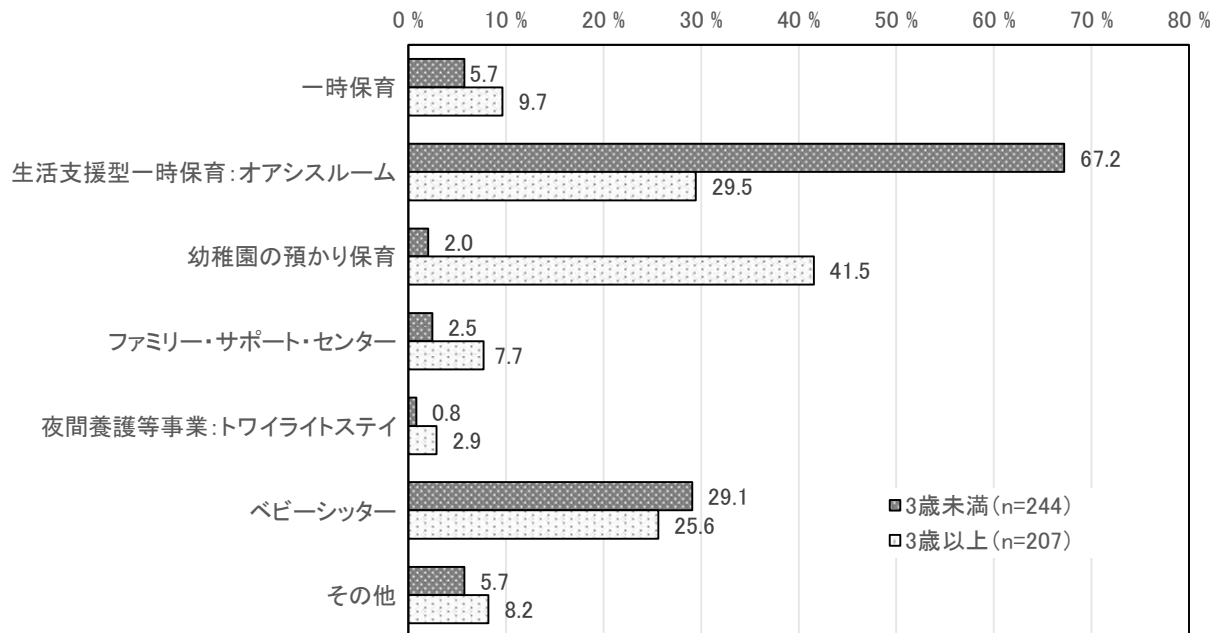


図 104 利用している事業

■前回調査(H30 実施)比較

前回調査より「ベビーシッター」は8.3ポイント、「生活支援型一時保育：オアシスルーム」は3.8ポイント増加したのに対し、「幼稚園の預かり保育」は11.6ポイント減少した。

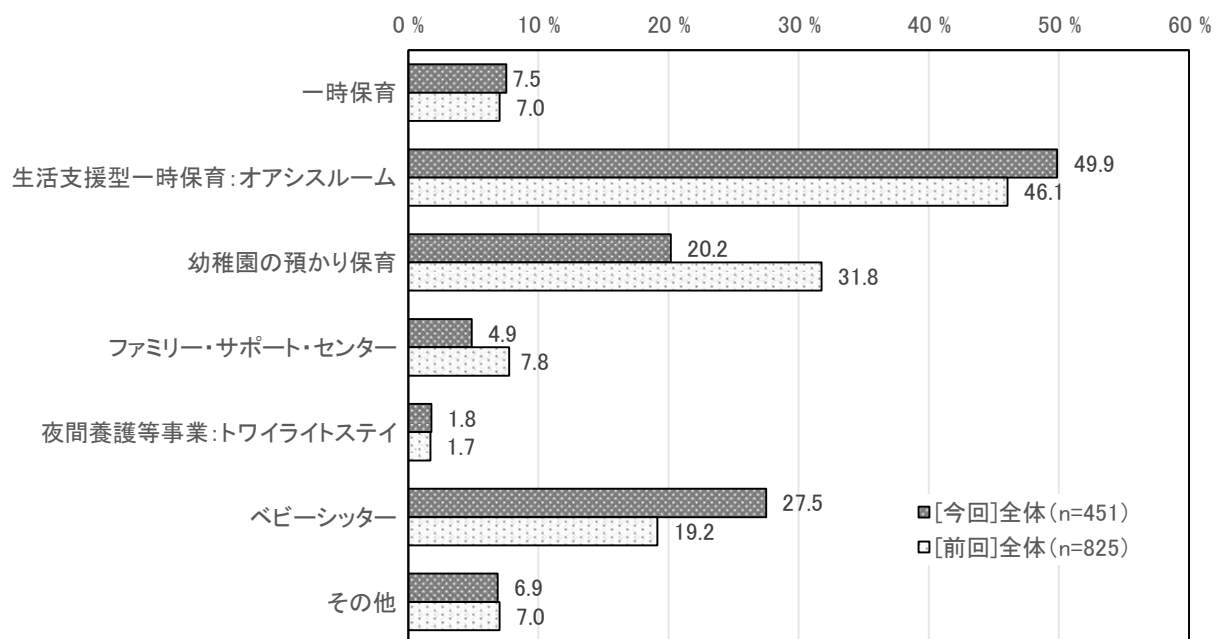


図 105 利用している事業 (前回調査との比較)

③一時保育／年間延べ日数

母数が少ないため参考値となるが、3歳未満・3歳以上ともに「年1～5日」が最も多かった。

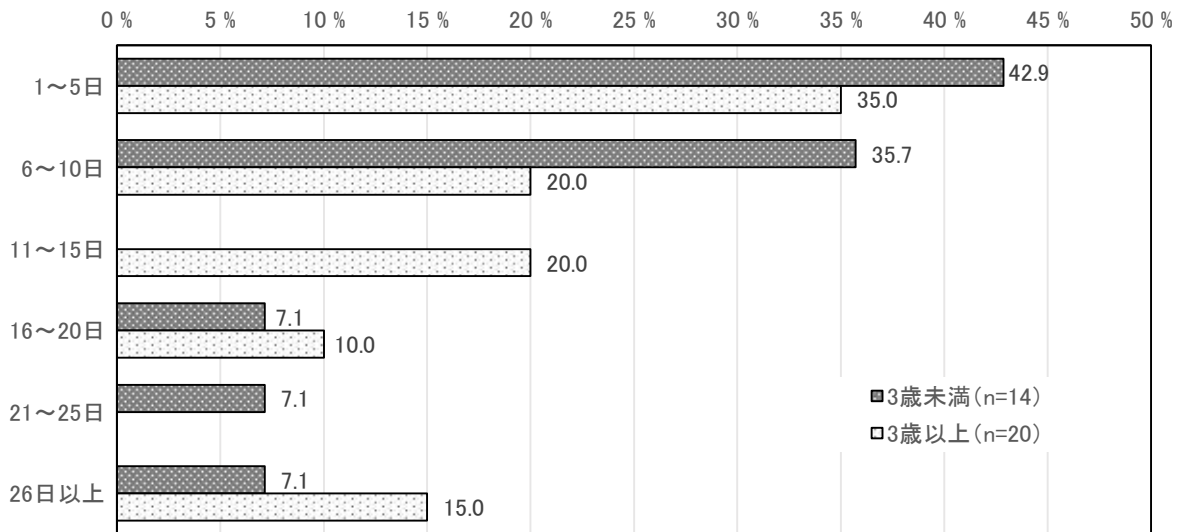


図 106 一時保育／年間延べ日数

④生活支援型一時保育：オアシスルーム／年間延べ日数

3歳未満・3歳以上ともに「年1～5日」が最も多かった。3歳未満では「年26日以上」が27.4%で次に多かった。

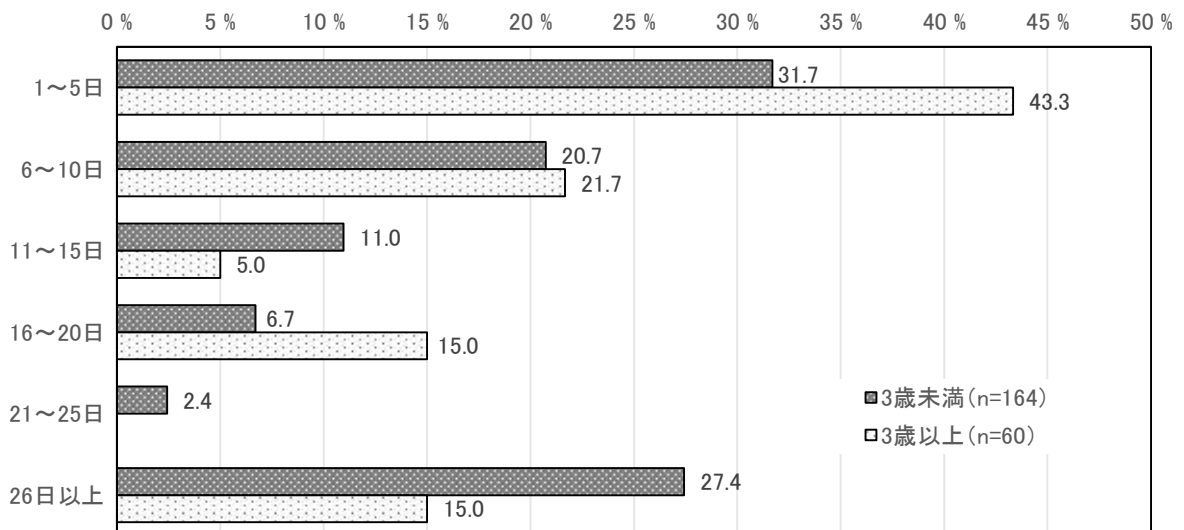


図 107 生活支援型一時保育：オアシスルーム／年間延べ日数

⑤ 幼稚園の預かり保育／年間延べ日数

3歳未満は母数が少ないため参考値となるが、3歳未満・3歳以上ともに「年26日以上」が最も多かった。

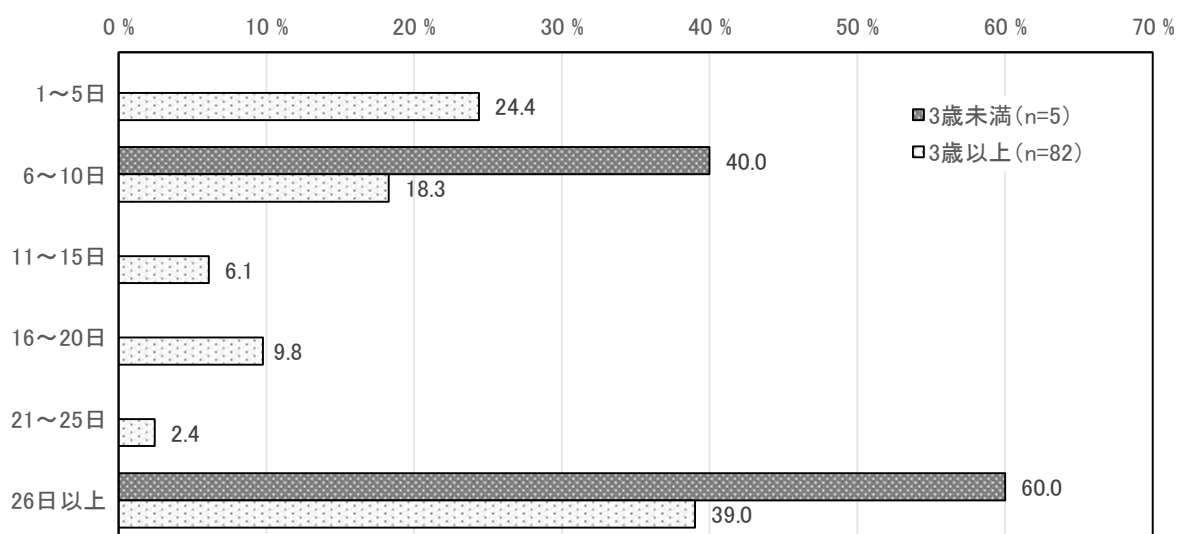


図 108 幼稚園の預かり保育／年間延べ日数

⑥ ファミリー・サポート・センター／年間延べ日数

母数が少ないため参考値となるが、3歳未満では「年1～5日」が5割と最も多く、次いで「年6～10日」が1/3を占めた。3歳以上では「年6～10日」が最も多く、「年1～5日」と「年26日以上」が次に多かった。

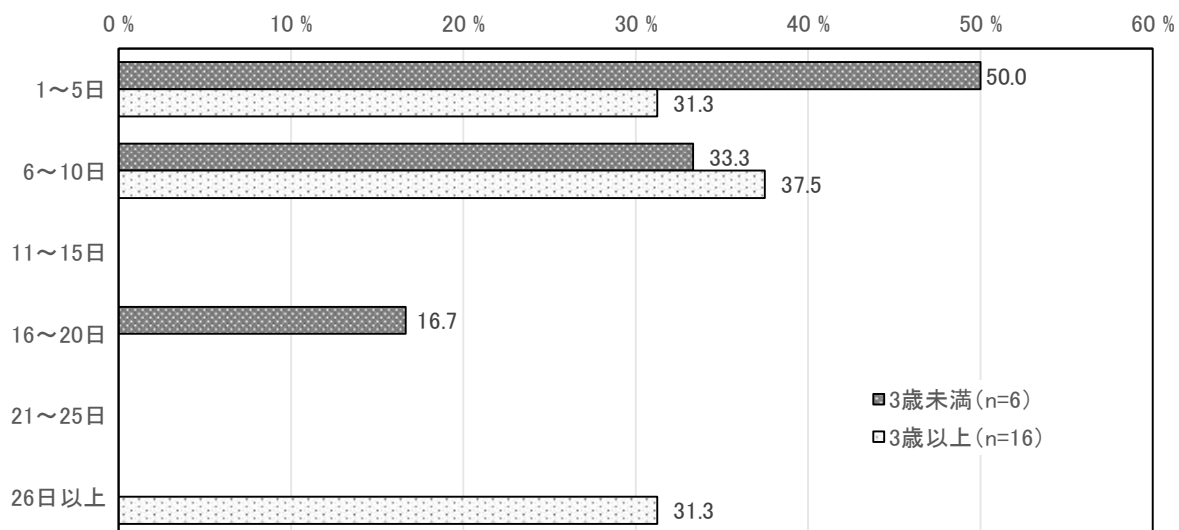


図 109 ファミリー・サポート・センター／年間延べ日数

⑦夜間養護等事業：トワイライトステイ／年間延べ日数

母数が少ないため参考値となるが、3歳未満では「年6～10日」と「年26日以上」とに分かれた。3歳以上では「年1～5日」が最も多かった。

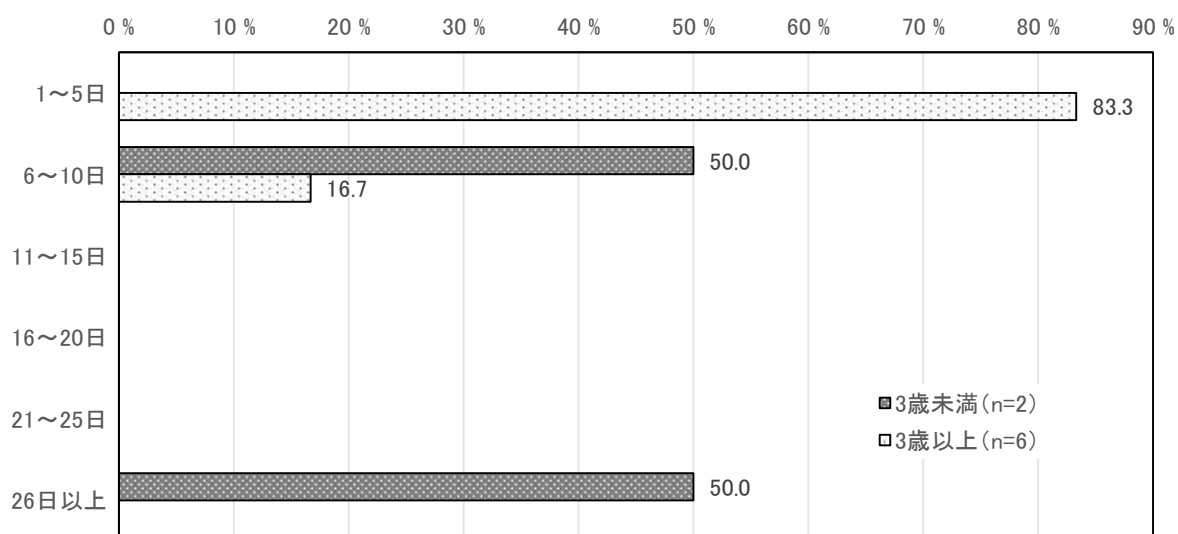


図 110 夜間養護等事業：トワイライトステイ／年間延べ日数

⑧ベビーシッター／年間延べ日数

3歳未満・3歳以上ともに「年1～5日」が最も多く、「年26日以上」が次に多かった。3歳未満では「年1～5日」と「年26日以上」が拮抗していた。

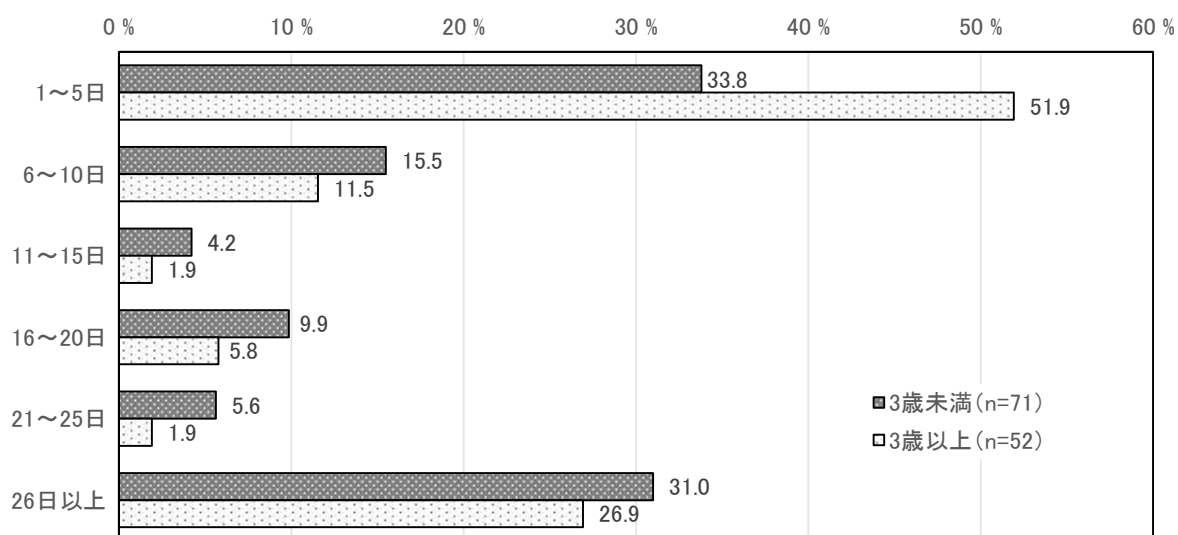


図 111 ベビーシッター／年間延べ日数

⑨その他／年間延べ日数

母数が少ないため参考値となるが、3歳未満では「年6～10日」と「年26日以上」が最も多く、3歳以上では「年1～5日」と「年26日以上」が最も多かった。

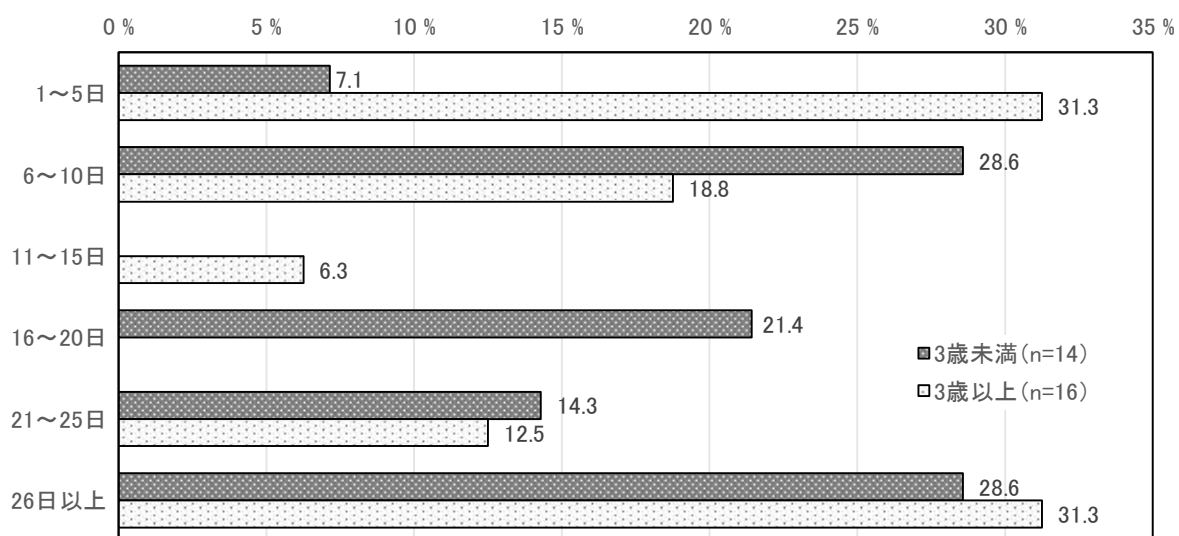


図 112 その他／年間延べ日数

⑩利用していない理由

「特に利用する必要がない」が3歳未満で51.7%、3歳以上で56.2%と最も多く、「事業の利用方法がわからない」が3割弱で次に多かった。

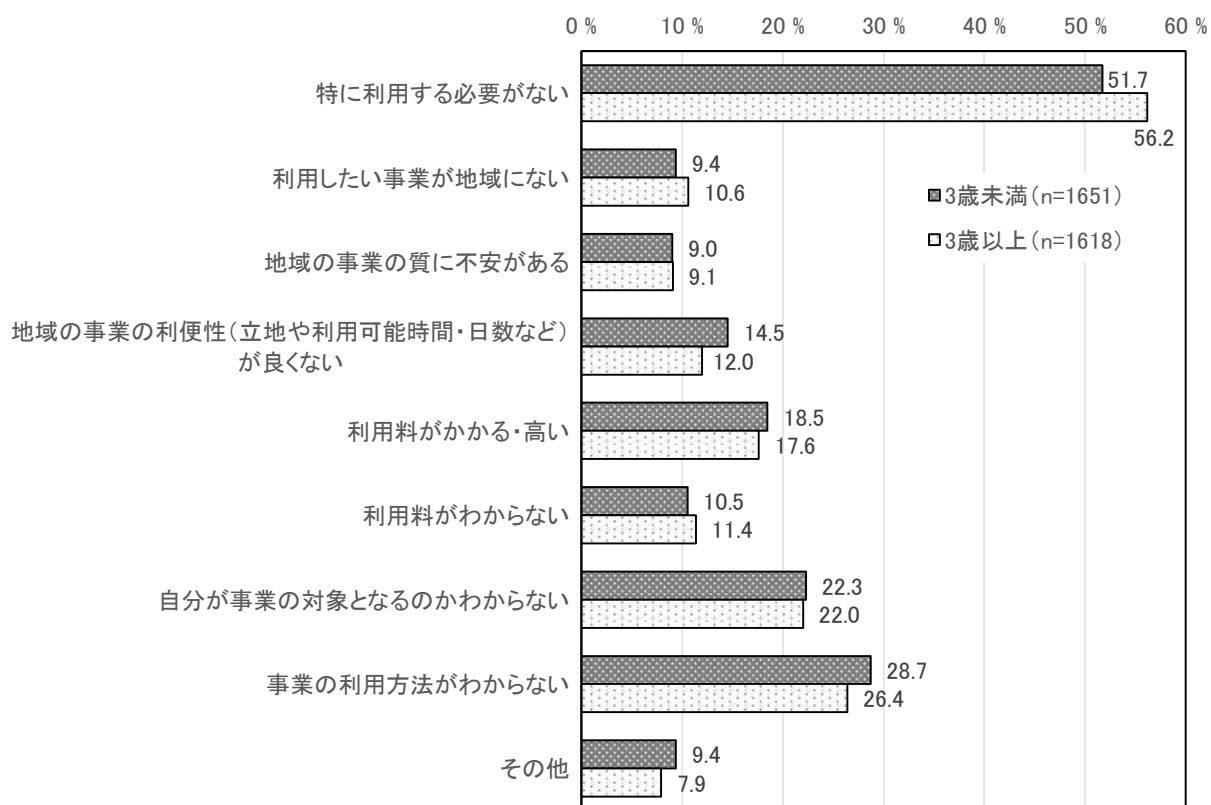


図 113 利用していない理由

■前回調査(H30 実施)比較

前回調査より「特に利用する必要がない」は5.8ポイント減少した一方、残る8項目のうち6項目で増加した。特に「自分が事業の対象となるのかわからない」は10.1ポイント、「事業の利用方法がわからない」は10ポイントの増加となった。

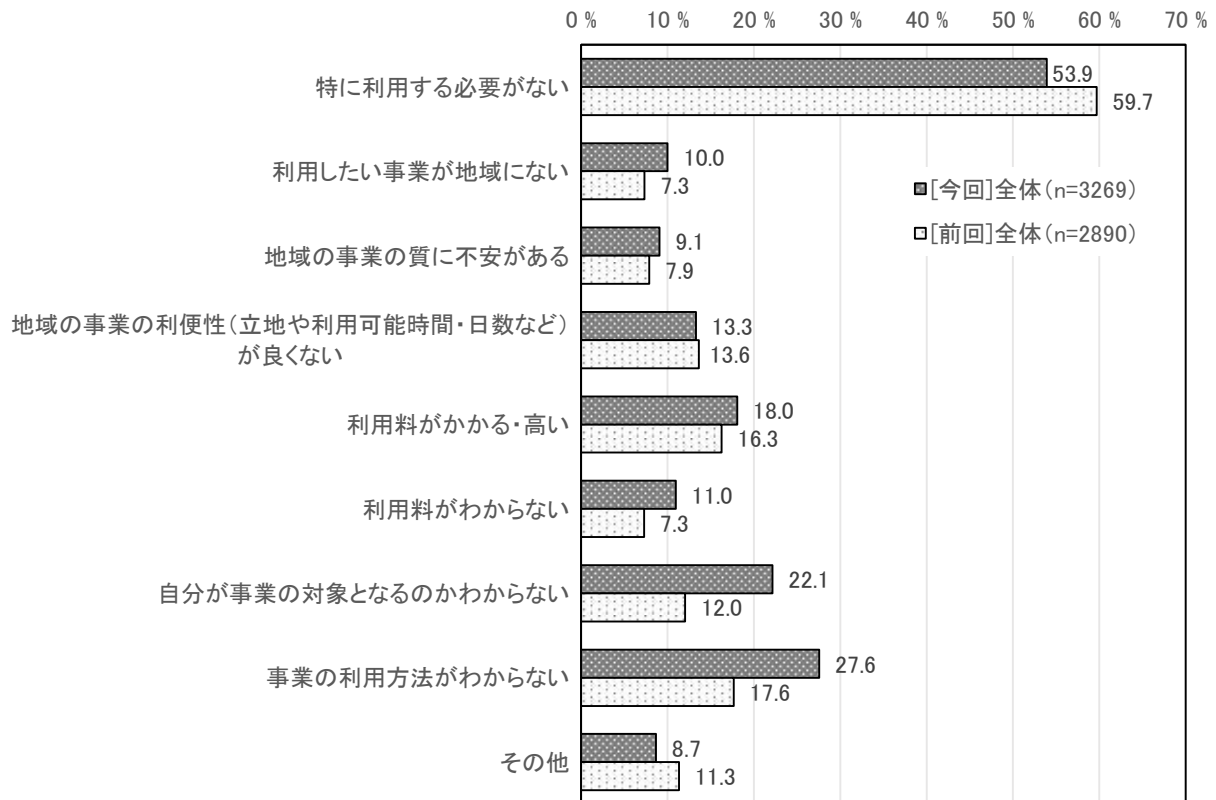


図 114 利用していない理由 (前回調査との比較)

(2) 不定期な教育・保育事業の利用希望【3歳未満・以上：問22】

問22 あて名のお子様について、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字(1枠に1字)をご記入ください)なお事業の利用には、一定の利用料がかかります。

①不定期な教育・保育事業の利用希望

3歳未満・3歳以上ともに「利用したい」が6割台であった。

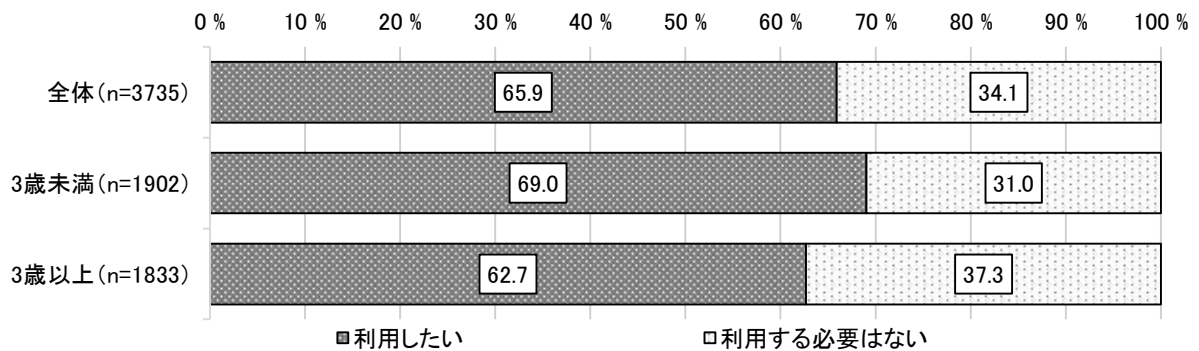


図 115 不定期な教育・保育事業の利用希望

■前回調査(H30 実施)比較

「利用したい」は前回調査から2.6ポイントの微減となった。

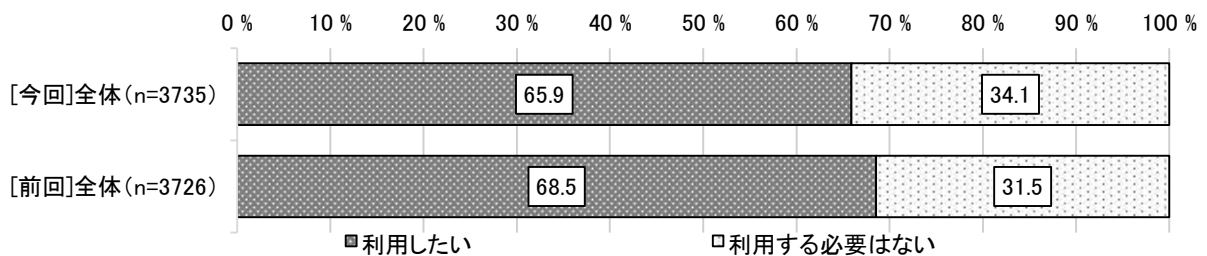


図 116 不定期な教育・保育事業の利用希望 (前回調査との比較)

②目的

3歳未満・3歳以上ともに「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が8割台と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が6割台であった。

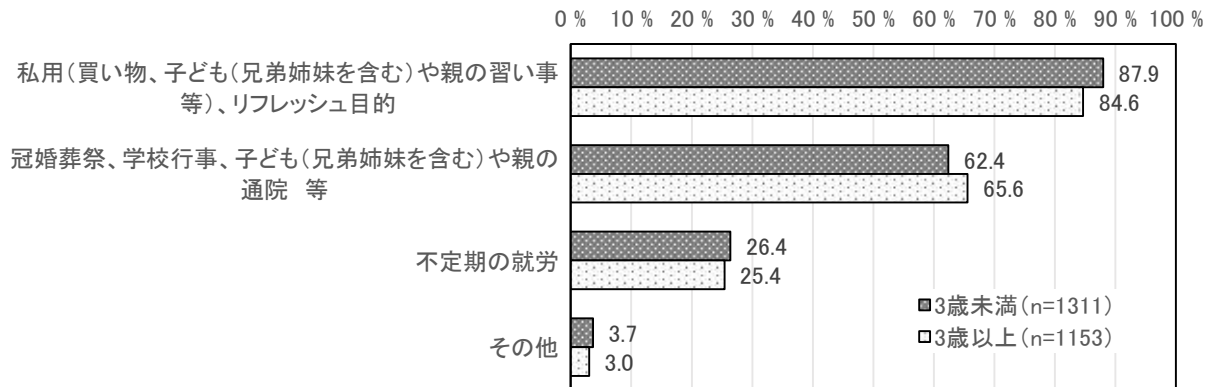


図 117 目的

■前回調査(H30 実施)比較

前回調査より「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が4.2ポイント増加し、残る3項目のうち2項目は減少した。

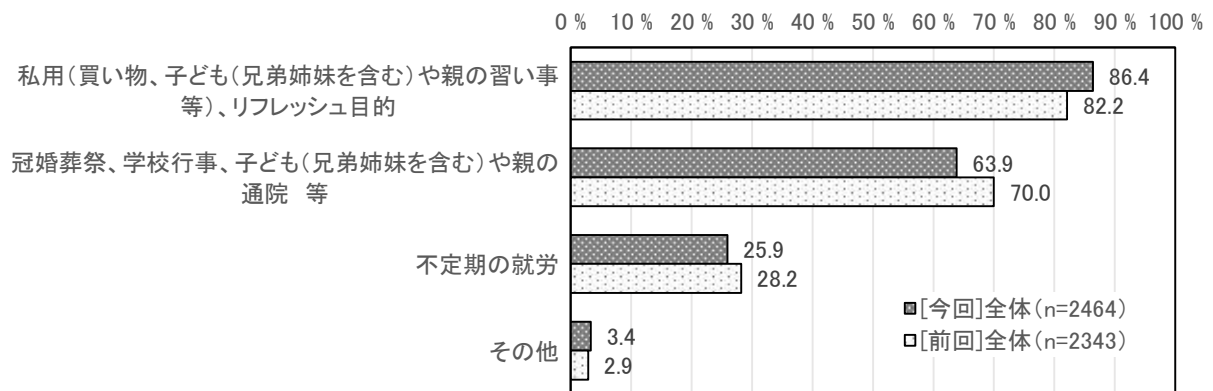


図 118 目的 (前回調査との比較)

③必要合計日数

3歳未満・3歳以上ともに「年26日以上」が最も多く、3歳未満では「年11～15日」が、3歳以上では「年6～10日」が次に多かった。

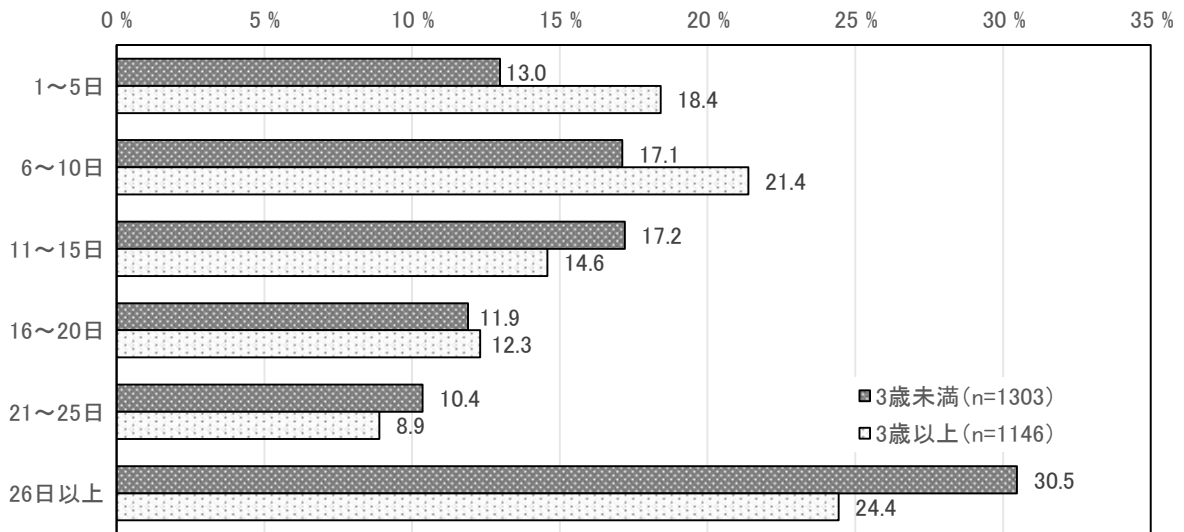


図 119 必要合計日数

④私用、リフレッシュ/必要日数

3歳未満では、「年11～15日」が26.0%と最も多く、次いで「年1～5日」が22.6%であった。

3歳以上では、「年1～5日」が30.9%と最も多く、次いで「年6～10日」が23.4%であった。

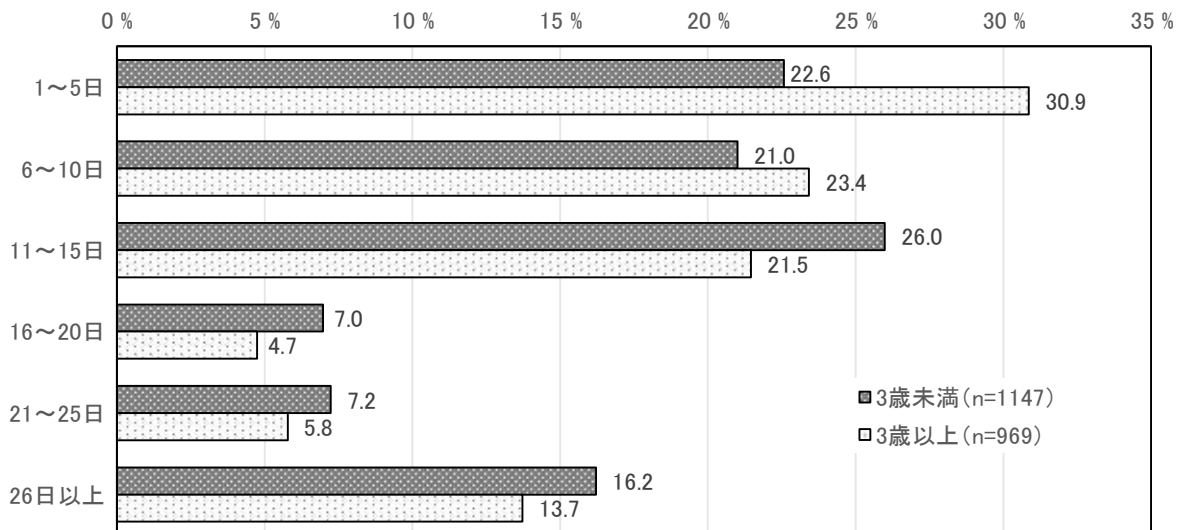


図 120 私用、リフレッシュ/必要日数

⑤冠婚葬祭、学校行事等／必要日数

3歳未満・3歳以上ともに「年1～5日」が5割前後と最も多く、次いで「年6～10日」が3割弱を占めた。

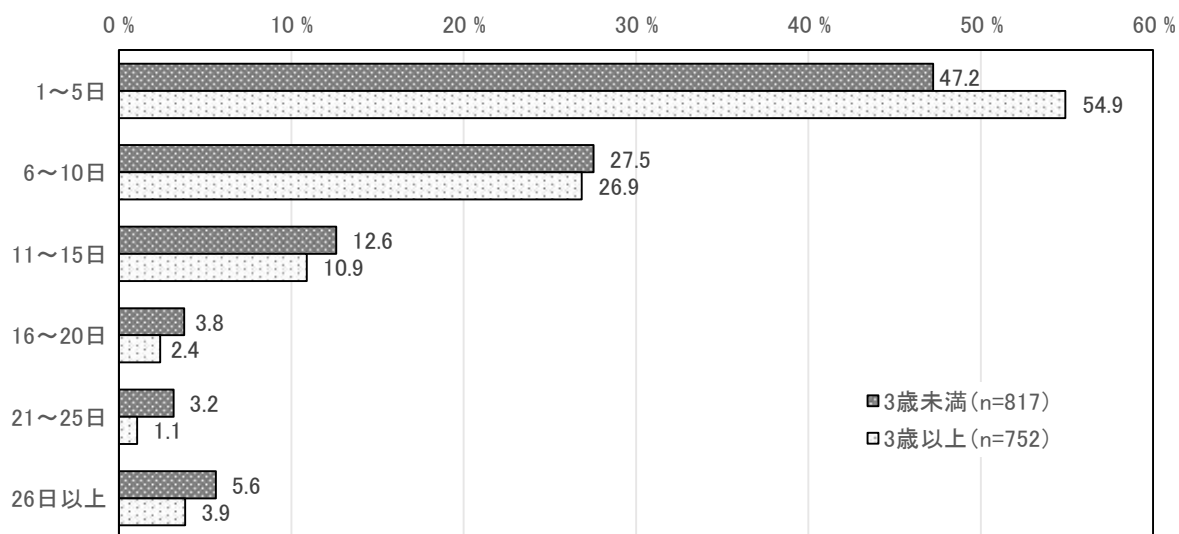


図 121 冠婚葬祭、学校行事等／必要日数

⑥不定期の就労／必要日数

3歳未満・3歳以上ともに「年1～5日」が3割前後と最も多く、次いで「年6～10日」が2割台であった。

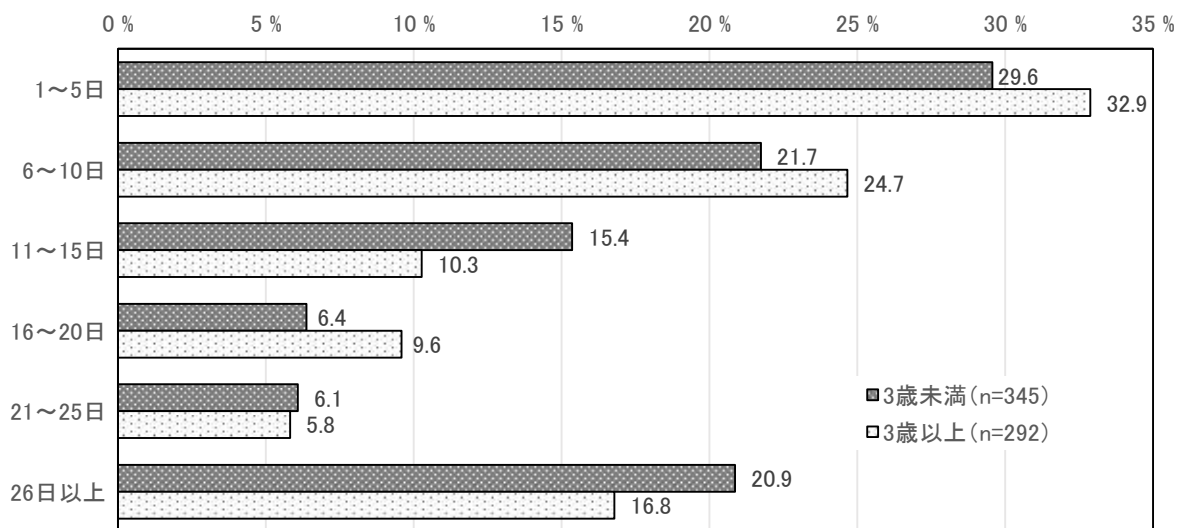


図 122 不定期の就労／必要日数

⑦その他／必要日数

3歳未満・3歳以上ともに「年1～5日」が最も多く、3歳未満では「年6～10日」が、3歳以上では「26日以上」が次に多かった。3歳未満では「年1～5日」と「年6～10日」の差があまりなく拮抗していた。

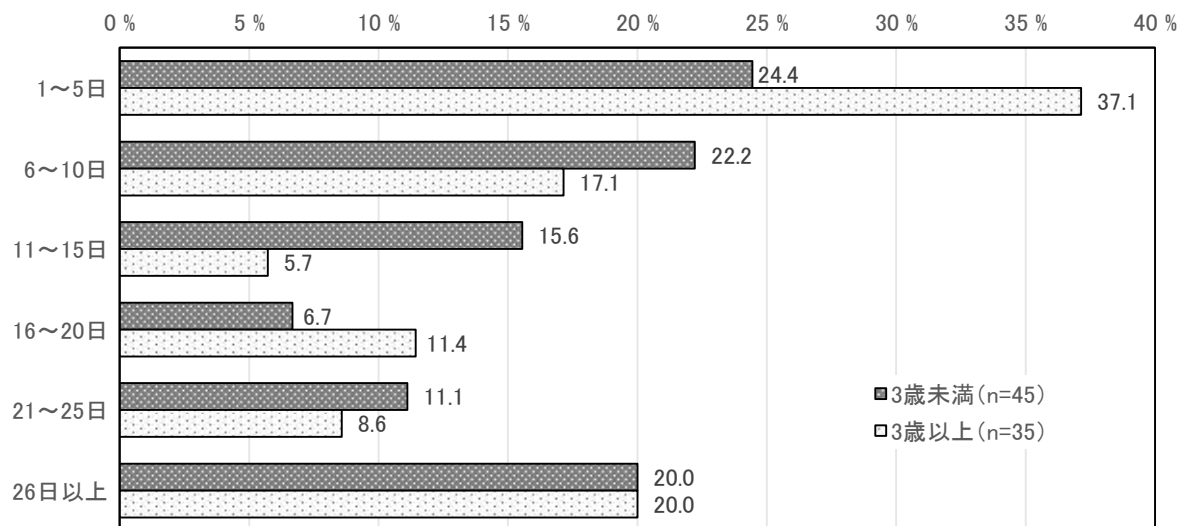


図 123 その他／必要日数

(3) 宿泊を伴う一時預かりが必要な機会の有無【3歳未満・以上：問23】

問23 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子様を泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字（1枠に1字）をご記入ください。

① 宿泊を伴う一時預かりが必要な機会

3歳未満・3歳以上ともに「なかった」が9割弱を占めた。

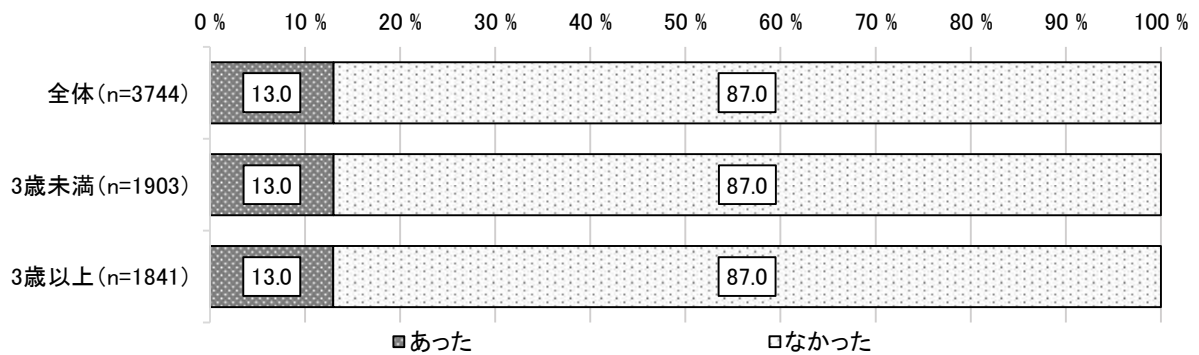


図 124 宿泊を伴う一時預かりが必要な機会

■ 前回調査(H30 実施)比較

「あった」は前回調査から10.6ポイント減少した。

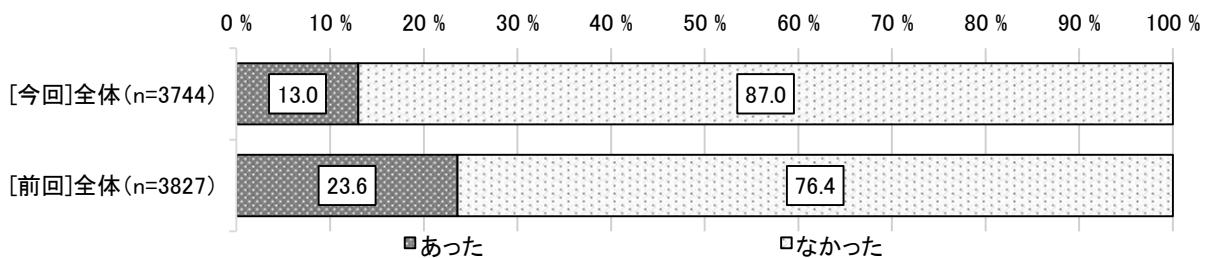


図 125 宿泊を伴う一時預かりが必要な機会（前回調査との比較）

②対処方法

3歳未満・3歳以上ともに「親族・知人にみてもらった」が約7割と最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が3割台であった。

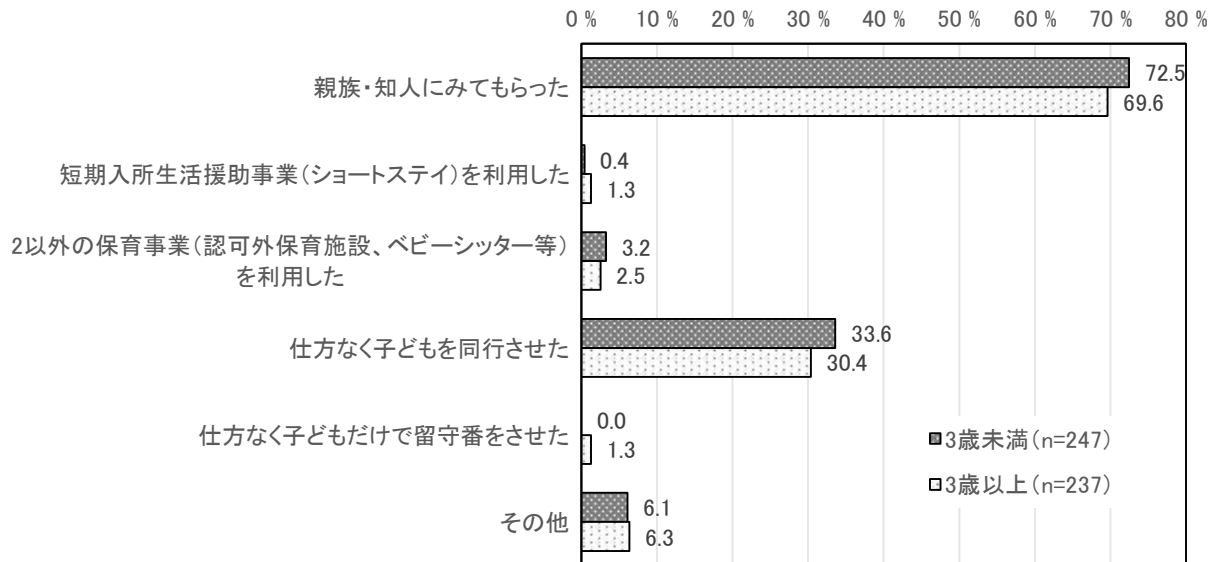


図 126 対処方法

■前回調査(H30 実施)比較

前回調査より「親族・知人にみてもらった」は4ポイント、「仕方なく子どもを同行させた」は0.4ポイント減少した。

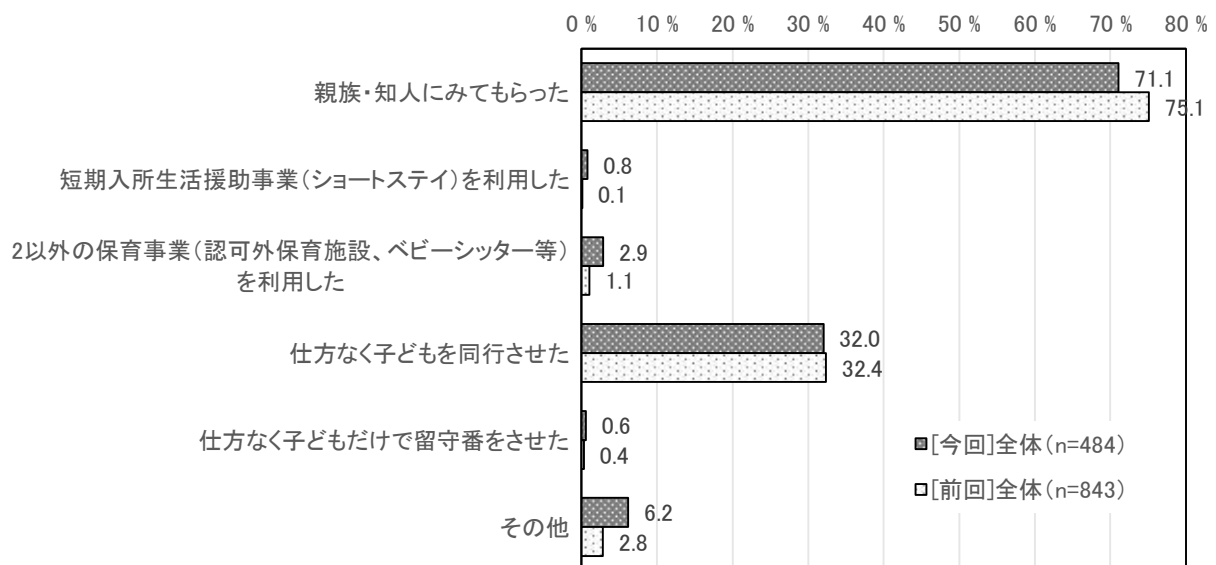


図 127 対処方法 (前回調査との比較)

③親族・知人にみてもらった／日数

3歳未満・3歳以上ともに「年1～5泊」が約7割と最も多かった。

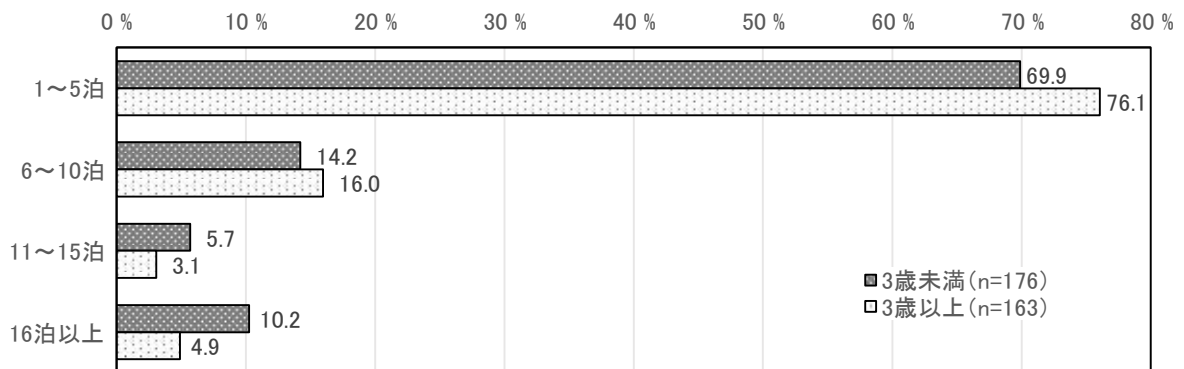


図 128 親族・知人にみてもらった／日数

④短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した／日数

母数が少ないため参考値となるが、3歳未満では「年1～5泊」のみ、3歳以上では「年1～5泊」が最も多かった。

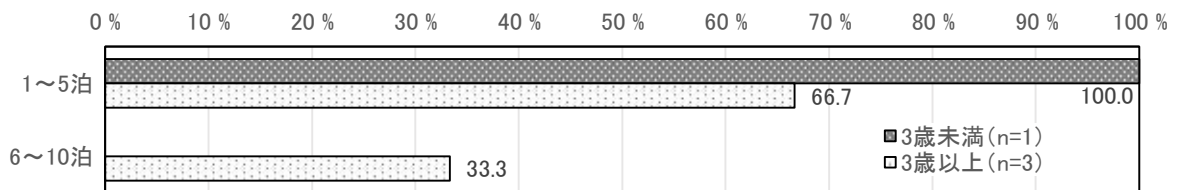


図 129 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した／日数

⑤ショートステイ以外の保育事業／日数

母数が少ないため参考値となるが、3歳未満・3歳以上ともに「年1～5泊」が8割台と最も多かった。

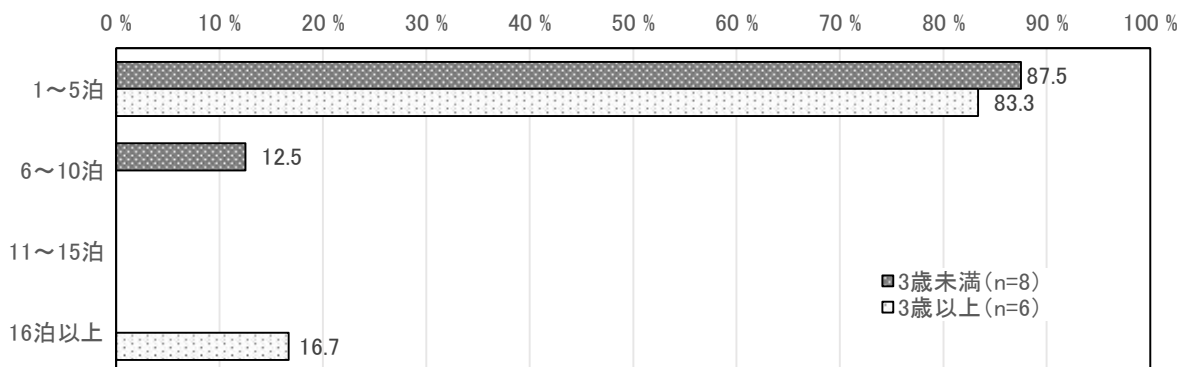


図 130 ショートステイ以外の保育事業／日数

⑥仕方なく子どもを同行させた／日数

3歳未満・3歳以上ともに「年1～5泊」が8割台と最も多く、次いで「年6～10泊」が1割前後であった。

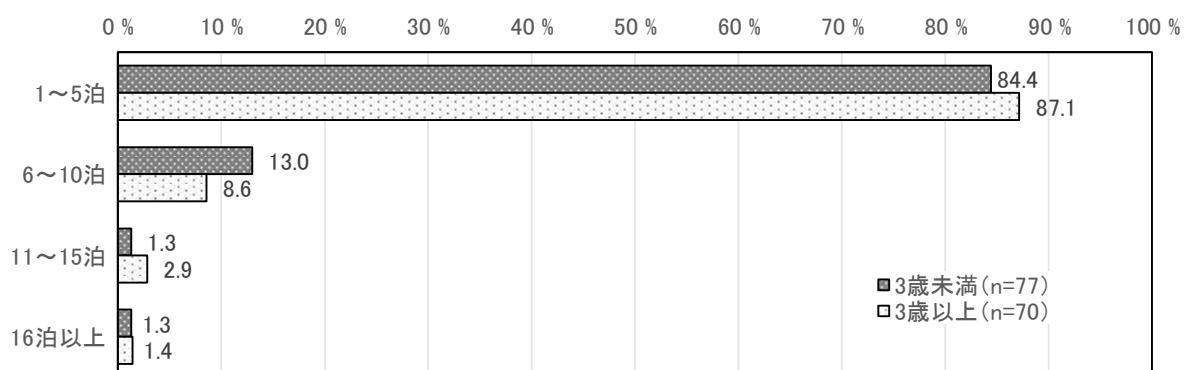


図 131 仕方なく子どもを同行させた／日数

⑦仕方なく子どもだけで留守番をさせた／日数

母数が少ないため参考値となるが、3歳未満はなく、3歳以上は「年1～5泊」のみであった。

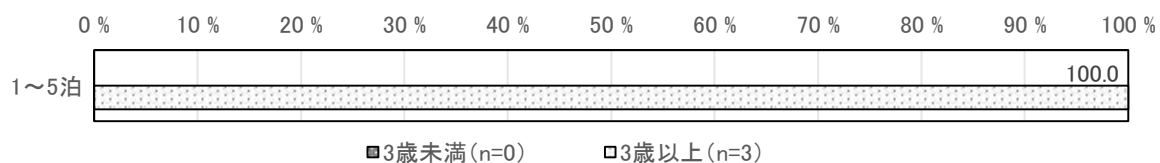


図 132 仕方なく子どもだけで留守番をさせた／日数

⑧その他／日数

母数が少ないため参考値となるが、3歳未満・3歳以上ともに「年1～5泊」が最も多く、「年6～10泊」が次に多かった。

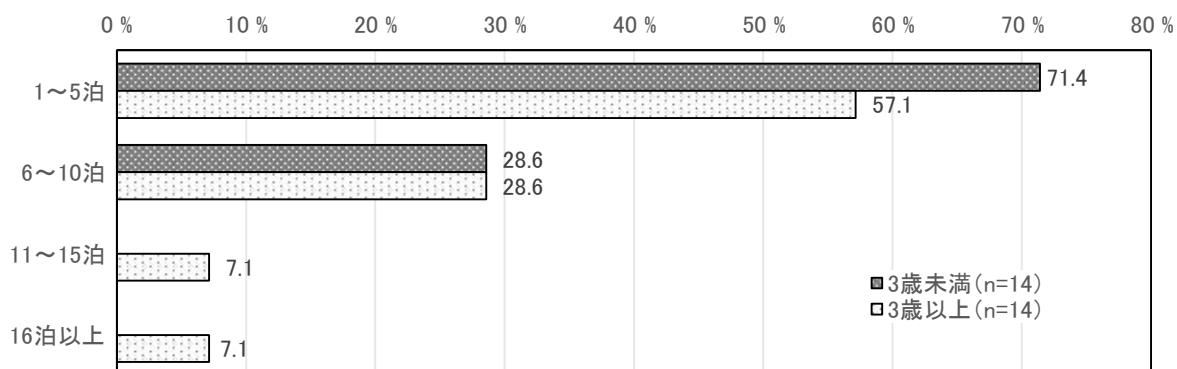


図 133 その他／日数

1.1. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度

(1) 育児休業の取得状況【3歳未満・以上：問24】

問24 あて名のお子様が生れた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。取得していない場合は、その理由をお答えください。それぞれ、あてはまる番号1つに○、記号すべてに○をつけてください。

①育児休業の取得状況

母親は、「取得した（取得中である）」が3歳未満で74.4%、3歳以上で67.4%と最も多かった。

父親は、「取得していない」が3歳未満で69.2%、3歳以上で79.2%と最も多かった。

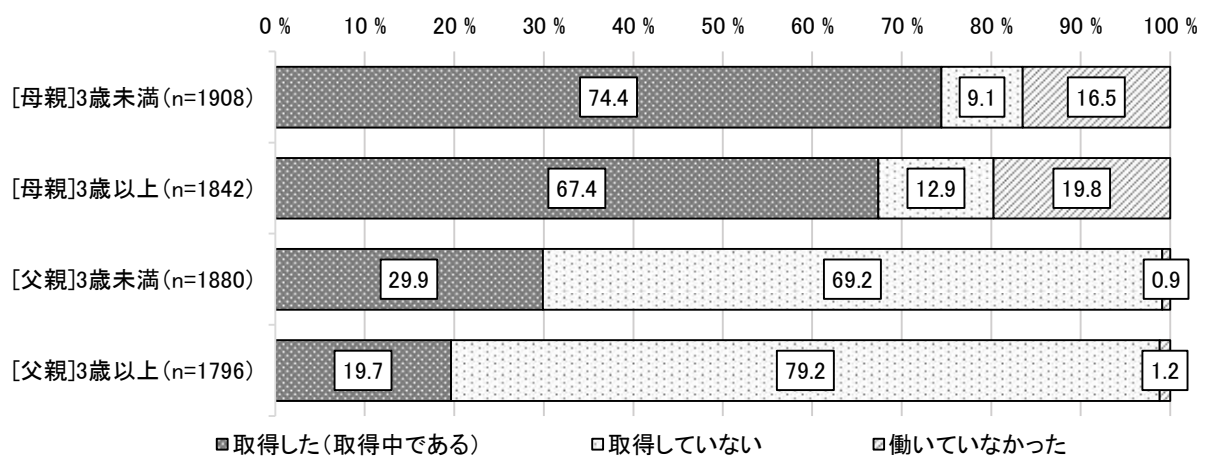


図 134 育児休業の取得状況

■前回調査(H30 実施)比較

「取得した（取得中である）」は、母親が9.1ポイント、父親が19ポイント増加した。

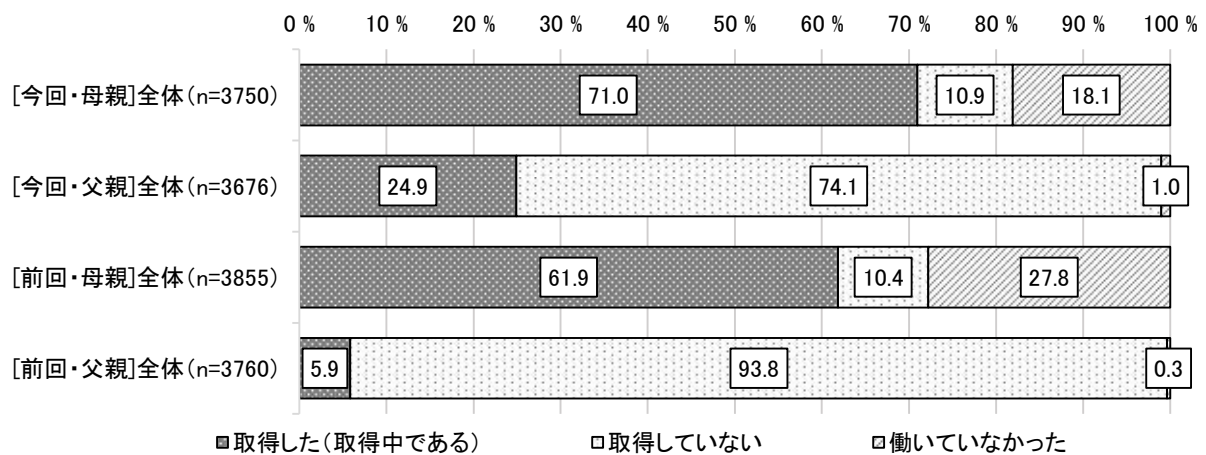


図 135 育児休業の取得状況（前回調査との比較）

②母親／取得していない理由

3歳未満・3歳以上ともに「仕事が忙しかったため」が2割台で最も多かった。3歳未満では「子育てや家事に専念するため退職したため」が、3歳以上では「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったため」が次に多かった。

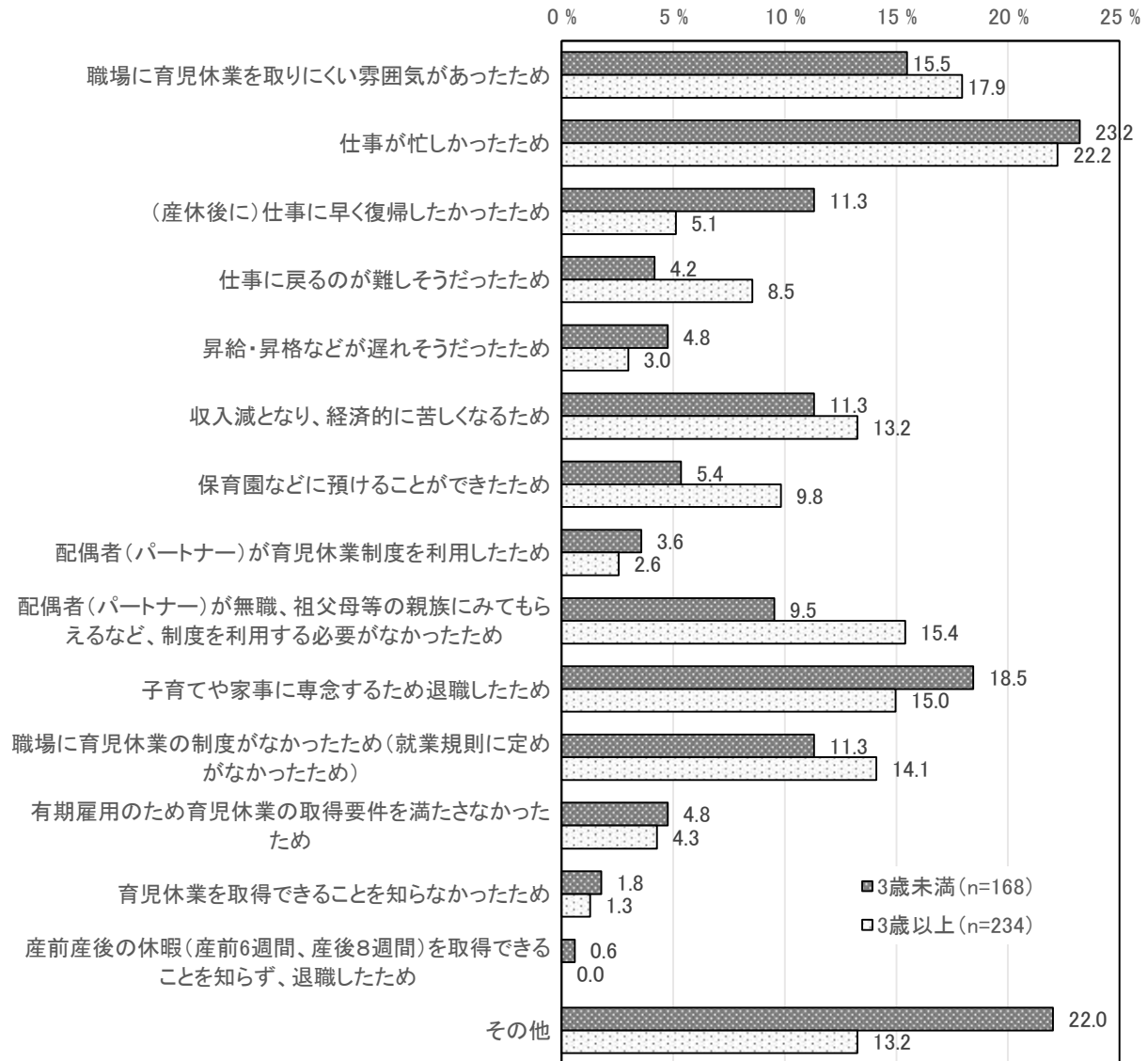


図 136 母親／取得していない理由

③父親／取得していない理由

3歳未満・3歳以上ともに「仕事が忙しかったため」が4割台で最も多く、次いで「配偶者（パートナー）が育児休業制度を利用したため」、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったため」が多くを占めた。

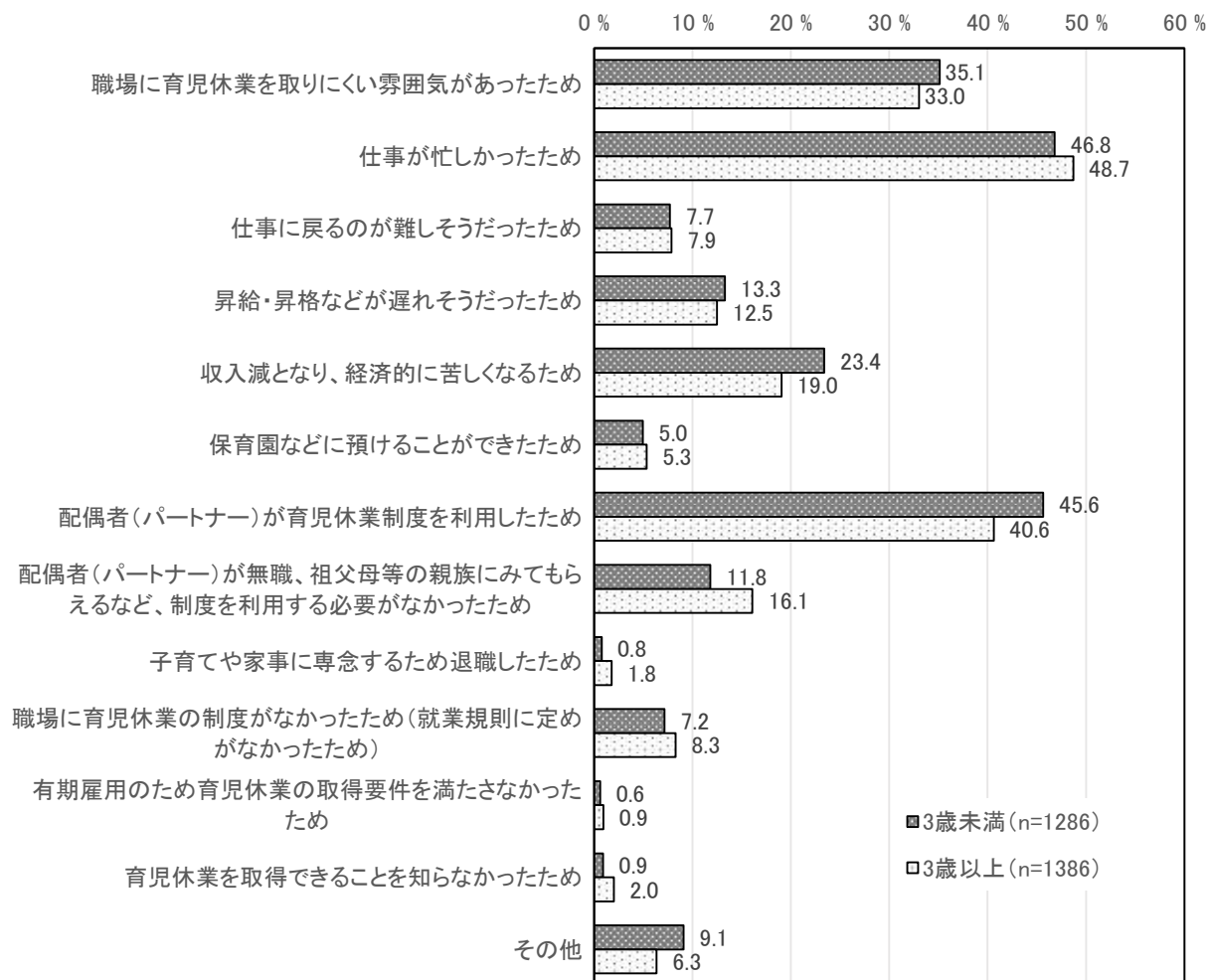


図 137 父親／取得していない理由

1 2. 小学校就学後の放課後の過ごし方（生年月日が平成30年4月1日以前の場合）

（1）放課後過ごさせたい場所／小学校低学年（1～3年生）【3歳以上：問25】

問25 あて名のお子様について、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。それぞれ、あてはまる番号1つに○、□内に数字（1枠に1字）をご記入ください。また、「すまいるスクール（学童保育）」には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。

①放課後過ごさせたい場所／小学校低学年

「学童保育（すまいるスクールなど）」が72.3%と最も多く、次いで「塾・習い事（学習塾、ピアノ教室、サッカークラブなど）」が59.7%、「自宅（家族とともに過ごす）」が48.5%であった。

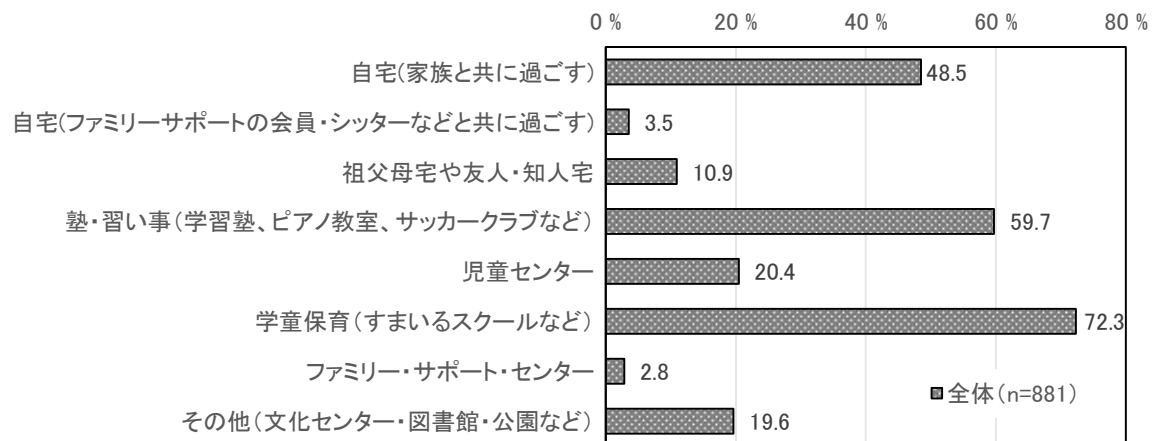


図 138 放課後過ごさせたい場所／小学校低学年

■前回調査(H30 実施)比較

「学童保育（すまいるスクールなど）」が5ポイント減少したのに対して、他の7項目は全て増加し、中でも「児童センター」は10.8ポイントも増加した。

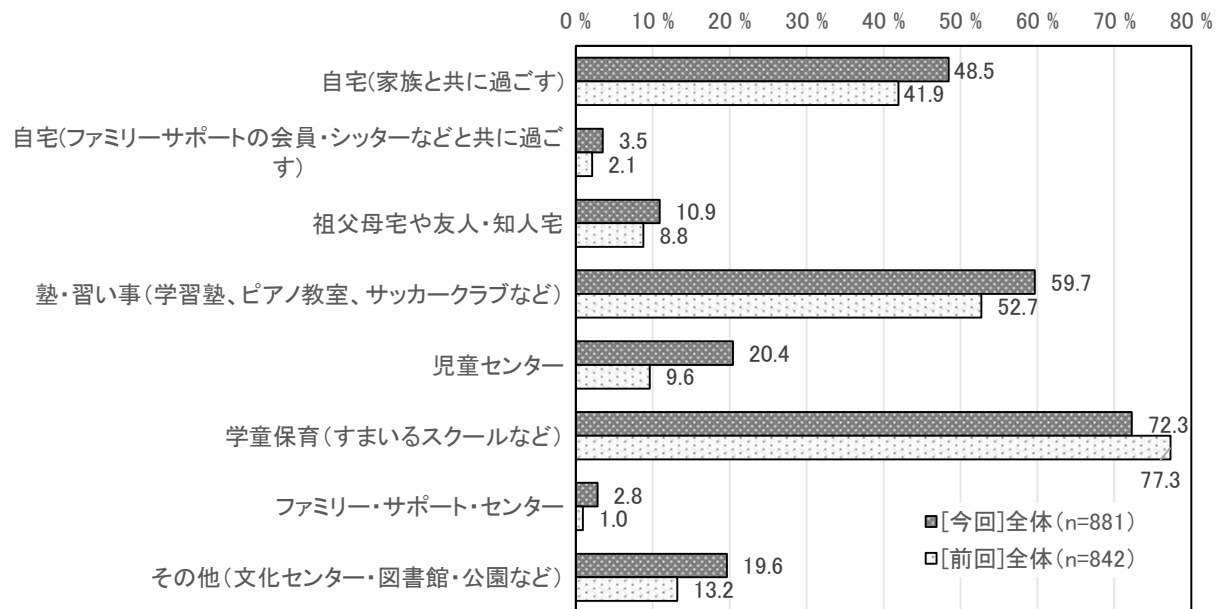


図 139 放課後過ごさせたい場所／小学校低学年（前回調査との比較）

②自宅で家族とともに過ごす／週あたりの希望日数

「週2日」が29.0%で最も多く、次いで「週3日」が22.0%であった。

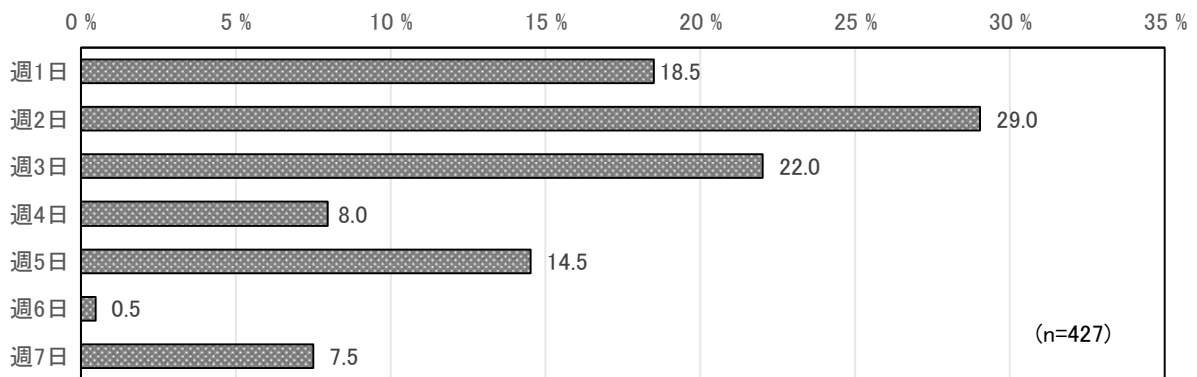


図 140 自宅で家族とともに過ごす／週あたりの希望日数

③ 自宅でファミリーサポートの会員などとともに過ごす／週あたりの日数

母数が少ないため参考値となるが、「週1日」が51.6%で最も多く、次いで「週2日」が25.8%であった。

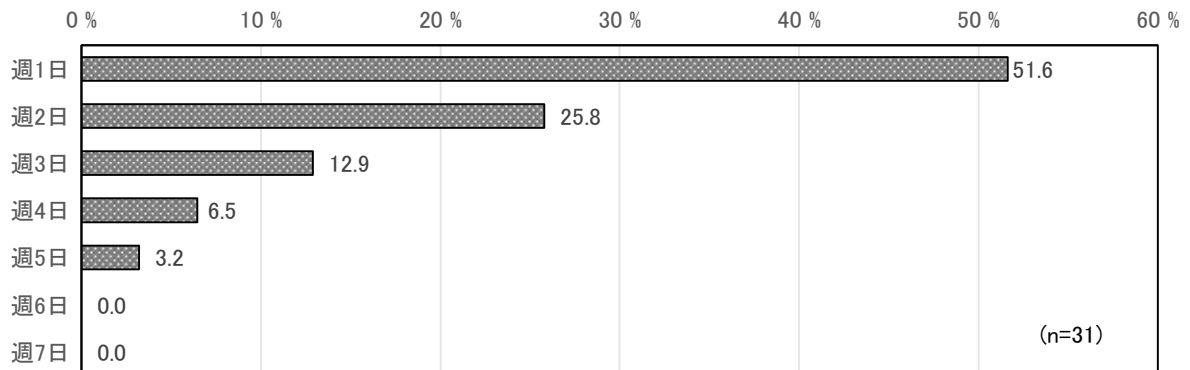


図 141 自宅でファミリーサポートの会員などとともに過ごす／週あたりの日数

④ 祖父母宅や友人・知人宅／週あたりの希望日数

「週1日」が70.5%で最も多く、次いで「週2日」が16.8%であった。

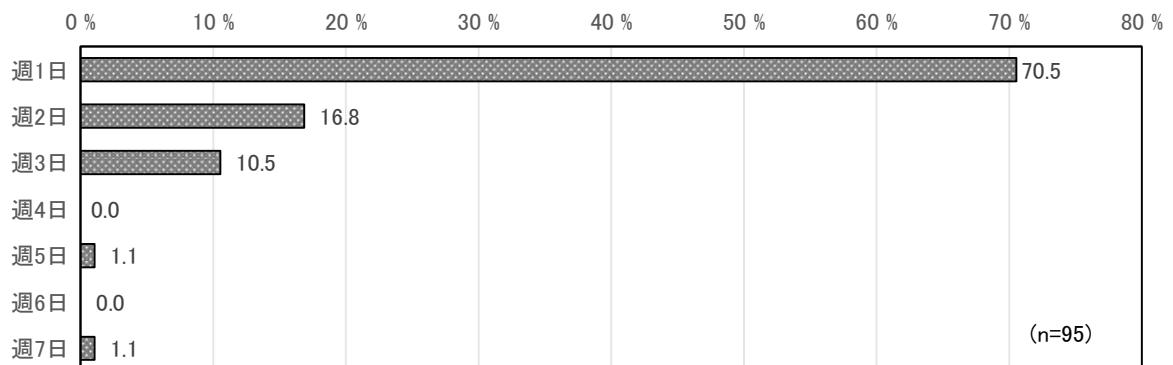


図 142 祖父母宅や友人・知人宅／週あたりの希望日数

⑤ 塾・習い事／週あたりの希望日数

「週2日」が42.9%で最も多く、次いで「週1日」が25.9%であった。

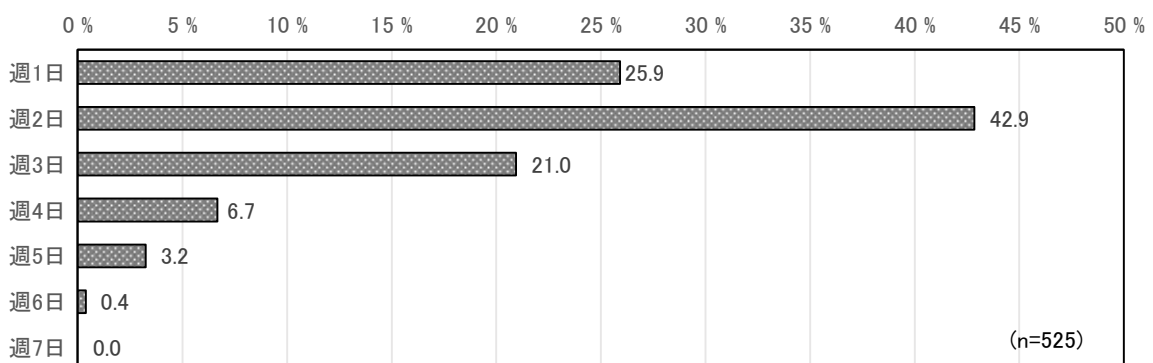


図 143 塾・習い事／週あたりの希望日数

⑥児童センター／週あたりの希望日数

「週1日」が60.3%で最も多く、次いで「週2日」が22.9%であった。

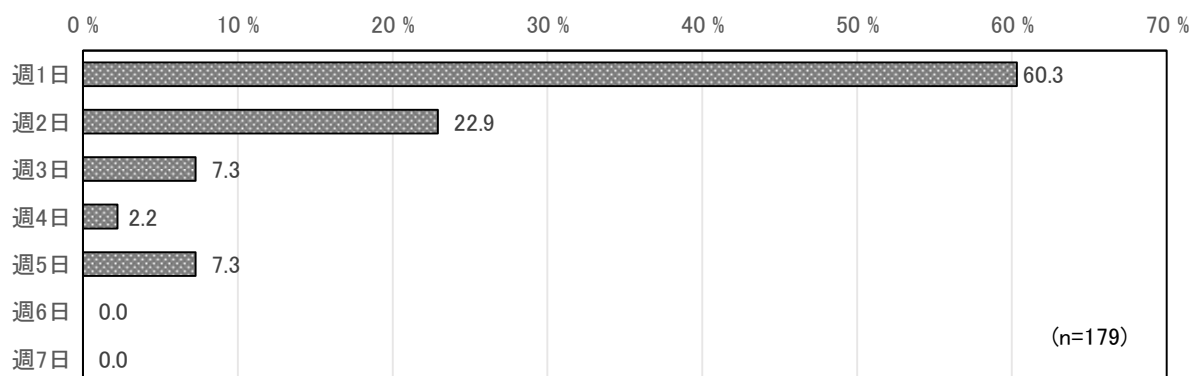


図 144 児童センター／週あたりの希望日数

⑦学童保育（すまいるスクールなど）／週あたりの希望日数と希望終了時刻

「週5日」が40.3%で最も多く、次いで「週3日」が21.6%であった。

すまいるスクールの利用希望終了時刻は、「18時まで」が44.1%で最も多く、次いで「17時まで」が34.0%であった。

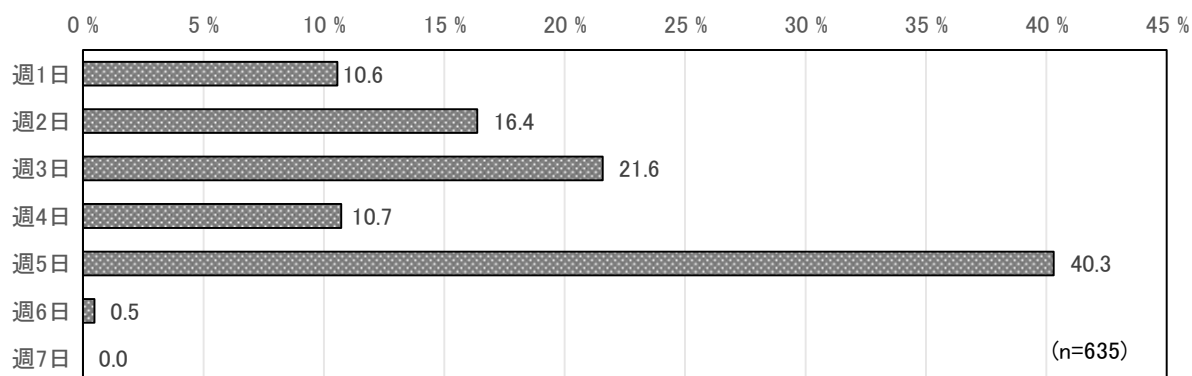


図 145 学童保育（すまいるスクールなど）／週あたりの希望日数

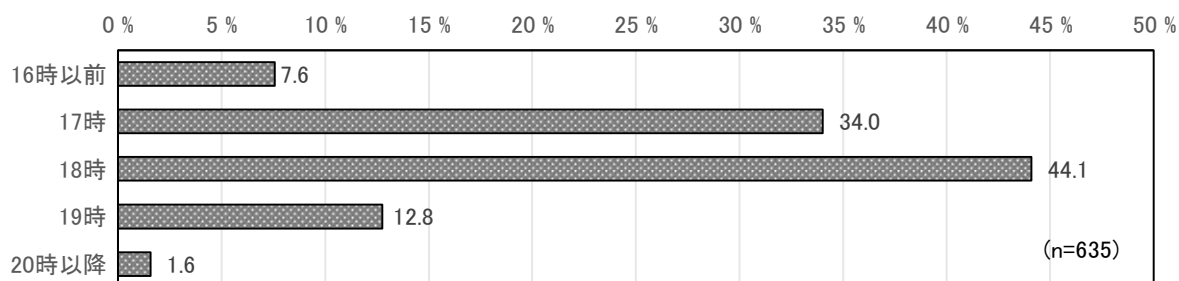


図 146 学童保育（すまいるスクールなど）／希望終了時刻

⑧ファミリー・サポート・センター／週あたりの希望日数

母数が少ないため参考値となるが、「週1日」が70.8%で最も多く、次いで「週3日」と「週5日」が12.5%であった。

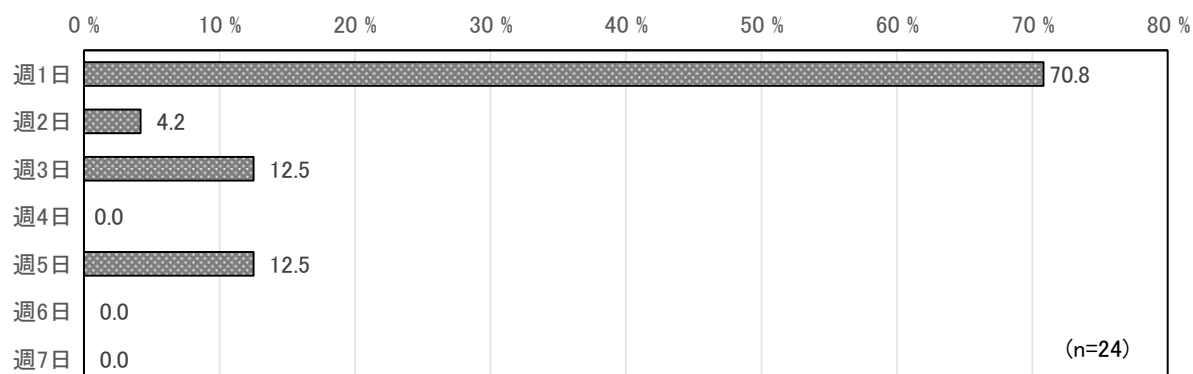


図 147 ファミリー・サポート・センター／週あたりの希望日数

⑨その他／週あたりの希望日数

「週1日」が43.6%で最も多く、次いで「週2日」が29.1%であった。

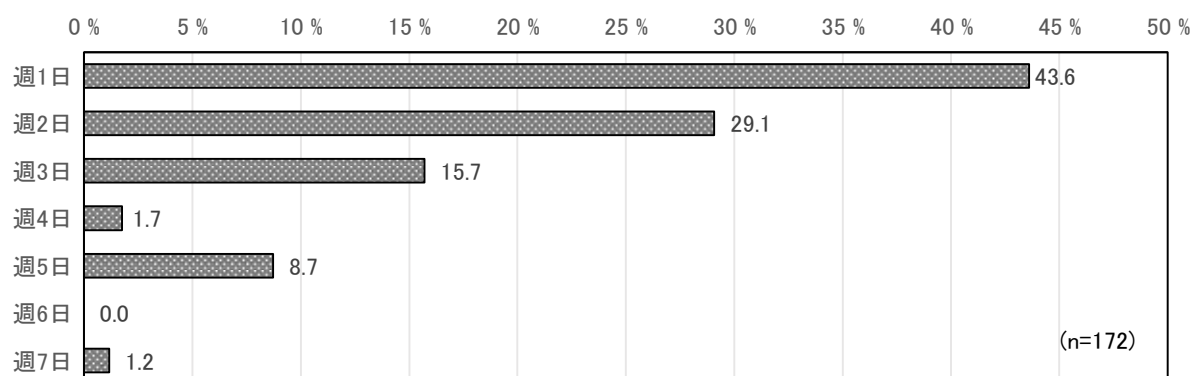


図 148 その他／週あたりの希望日数

(2) 放課後過ごさせたい場所／小学校高学年（4～6年生）【3歳以上：問26】

問26 あて名のお子様について、小学校高学年（4、5、6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。まだ先のことですが、現在お持ちのイメージでお答えください。それぞれ、あてはまる番号1つに○、□内に数字（1枠に1字）をご記入ください。また、「すまいるスクール（学童保育）」には、利用を希望する時間も□内に数字（1枠に1字）でご記入ください。

①放課後過ごさせたい場所／小学校高学年

「塾・習い事（学習塾、ピアノ教室、サッカークラブなど）」が83.2%と最も多く、次いで「自宅（家族とともに過ごす）」が49.0%であった。

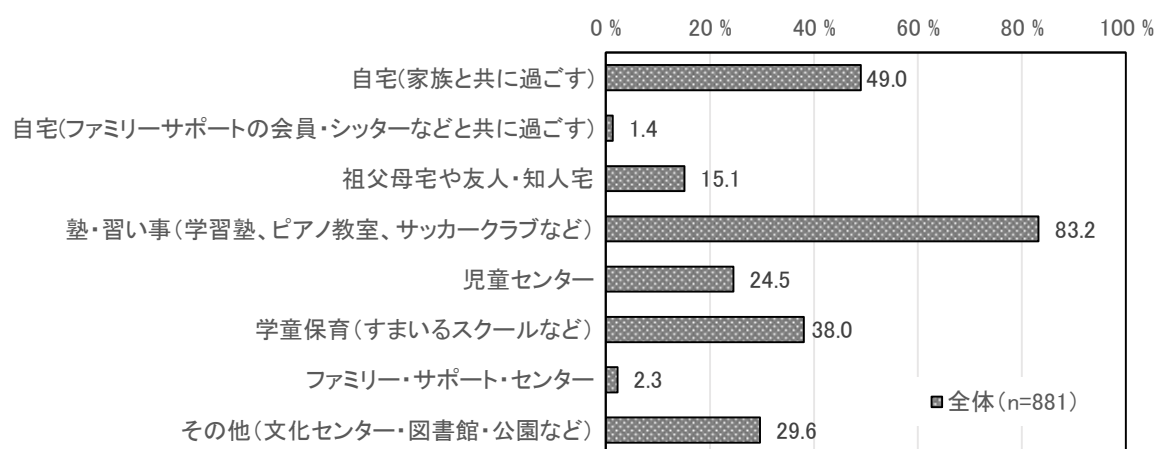


図 149 放課後過ごさせたい場所／小学校高学年

■前回調査(H30 実施)比較

「学童保育（すまいるスクールなど）」が3.5ポイント減少したのに対して、他の7項目は全て増加した。

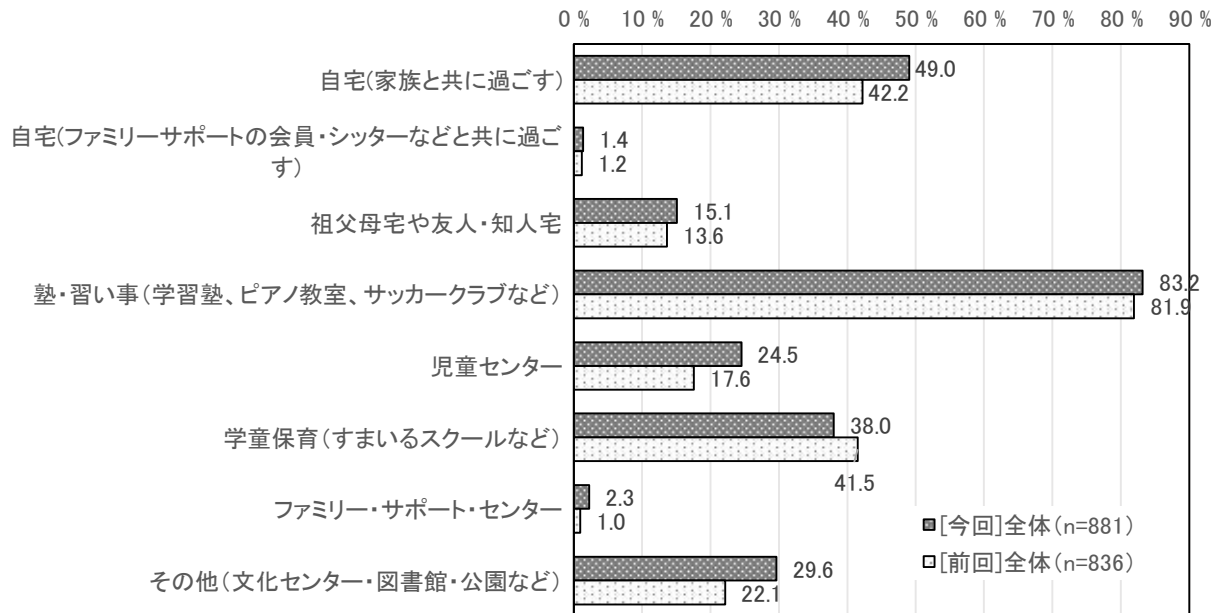


図 150 放課後過ごさせたい場所／小学校高学年（前回調査との比較）

②自宅で家族とともに過ごす／週あたりの希望日数

「週2日」が30.8%で最も多く、次いで「週1日」が23.1%であった。

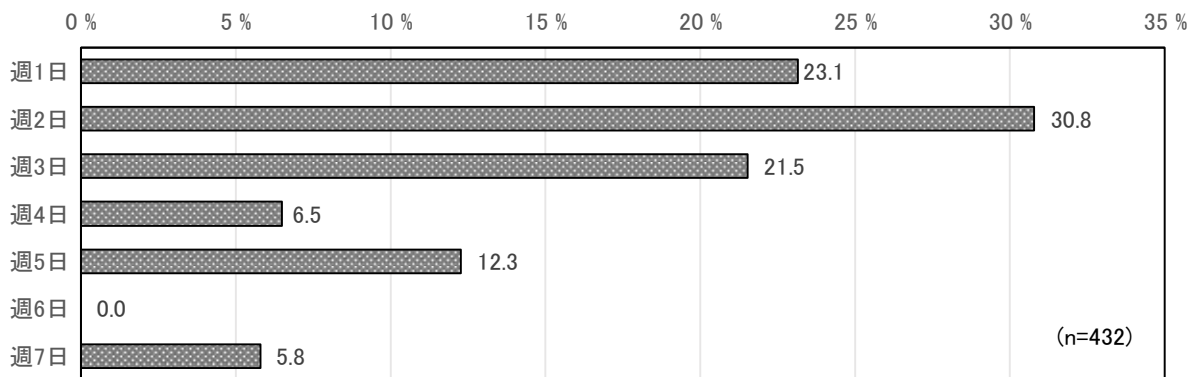


図 151 自宅で家族とともに過ごす／週あたりの希望日数

③ 自宅でファミリーサポートの会員などとともに過ごす／週あたりの日数

母数が少ないため参考値となるが、「週2日」が50.0%で最も多く、次いで「週1日」が33.3%であった。

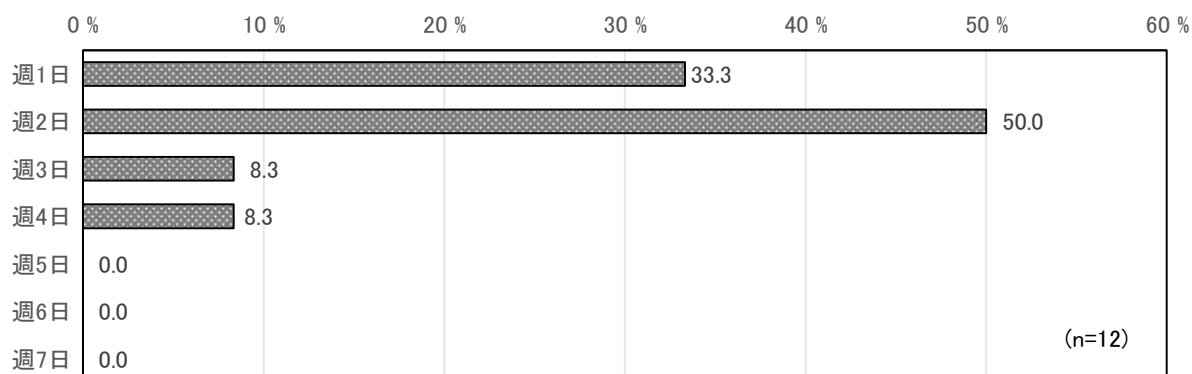


図 152 自宅でファミリーサポートの会員などとともに過ごす／週あたりの日数

④ 祖父母宅や友人・知人宅／週あたりの希望日数

「週1日」が53.0%で最も多く、次いで「週2日」が28.0%であった。

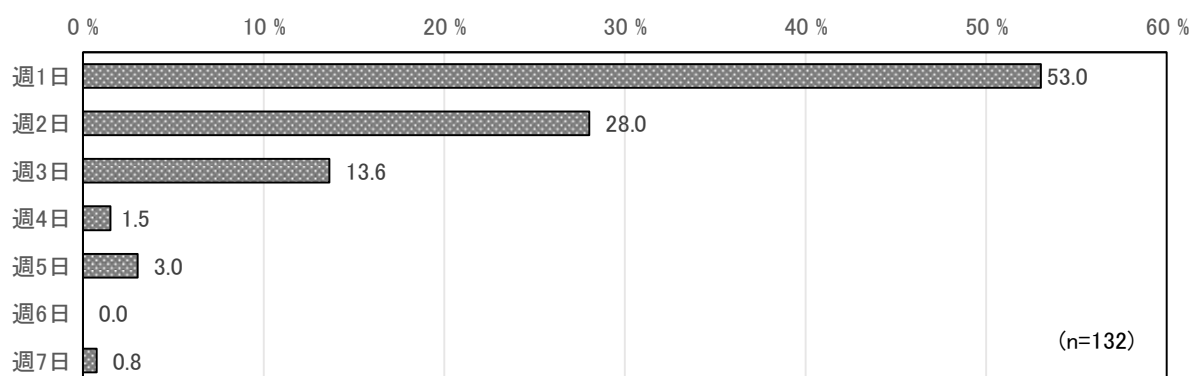


図 153 祖父母宅や友人・知人宅／週あたりの希望日数

⑤ 塾・習い事／週あたりの希望日数

「週3日」が35.6%で最も多く、次いで「週2日」が31.7%であった。

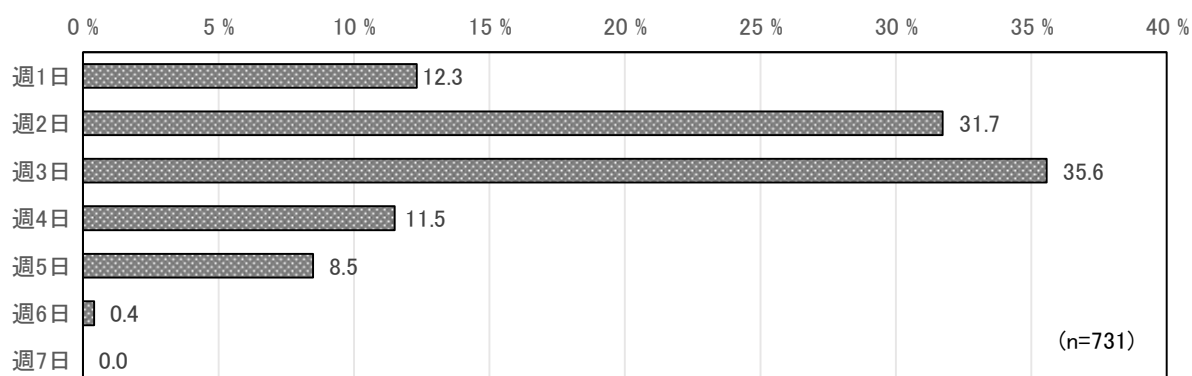


図 154 塾・習い事／週あたりの希望日数

⑥児童センター／週あたりの希望日数

「週1日」が42.3%で最も多く、次いで「週2日」が36.7%であった。

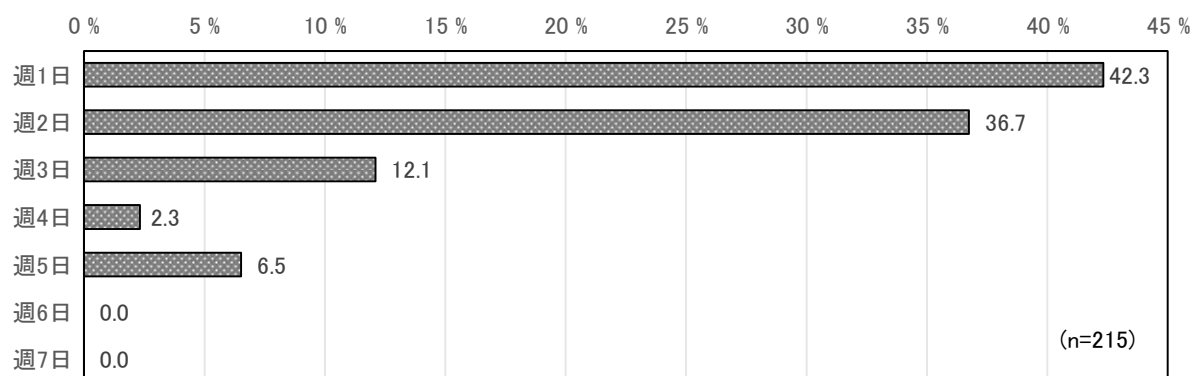


図 155 児童センター／週あたりの希望日数

⑦学童保育（すまいるスクールなど）／週あたりの希望日数と希望終了時刻

「週2日」が27.5%で最も多く、次いで「週5日」が25.1%であった。

すまいるスクールの利用希望終了時刻は、「18時まで」が46.5%で最も多く、次いで「17時まで」が28.8%であった。

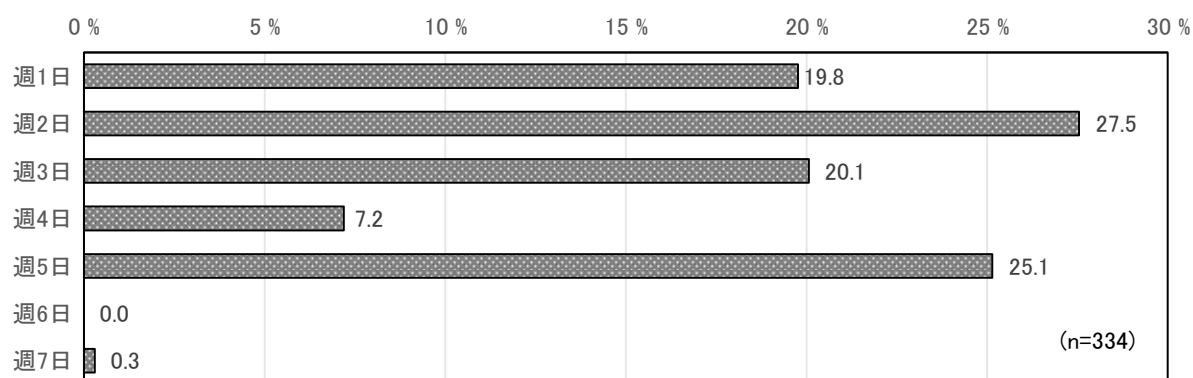


図 156 学童保育（すまいるスクールなど）／週あたりの希望日数

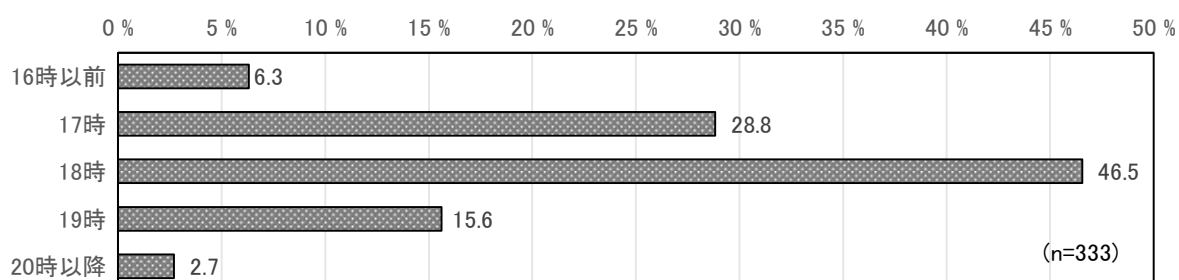


図 157 学童保育（すまいるスクールなど）／希望終了時刻

⑧ファミリー・サポート・センター／週あたりの希望日数

母数が少ないため参考値となるが、「週1日」が63.2%で最も多く、次いで「週2日」と「週3日」が15.8%であった。

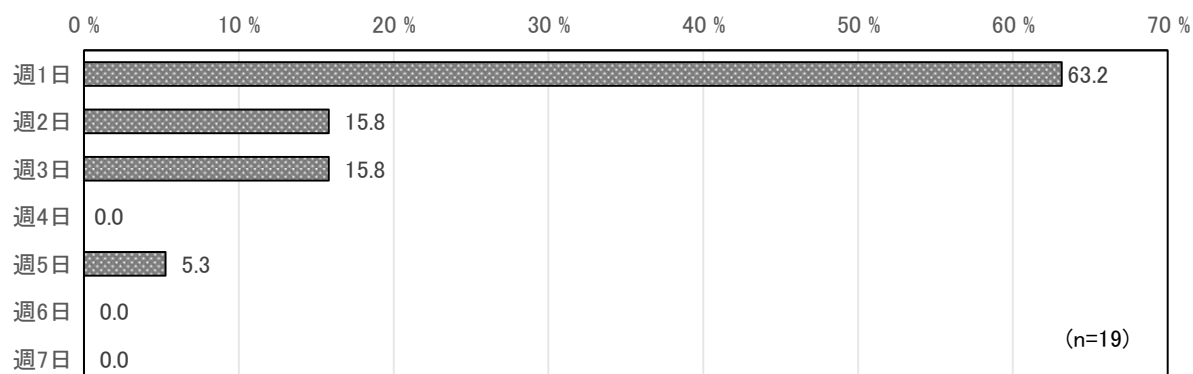


図 158 ファミリー・サポート・センター／週あたりの希望日数

⑨その他／週あたりの希望日数

「週1日」が40.4%で最も多く、次いで「週2日」が30.8%であった。

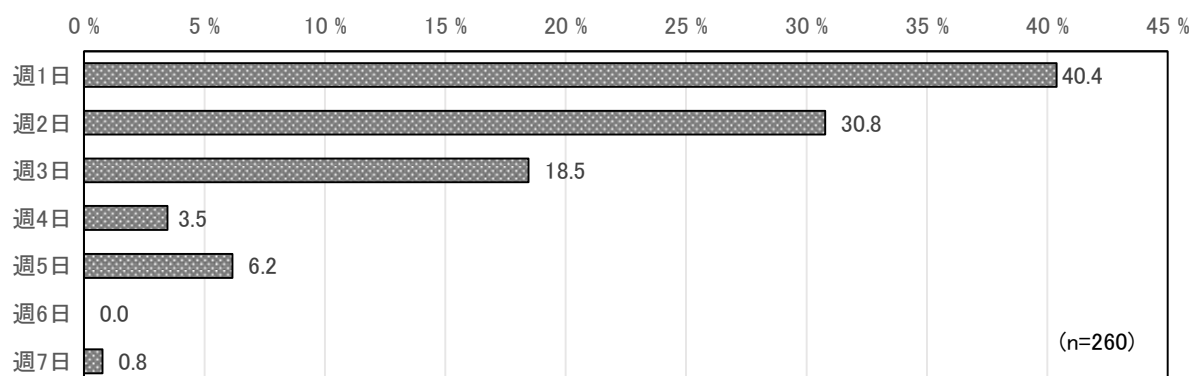


図 159 その他／週あたりの希望日数

(3) すまいるスクールの利用希望【3歳以上：問27】

問25または問26で、「5. 学童保育（すまいるスクールなど）」を選んだ方に伺います。

問27 お子様について、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育（すまいるスクールなど）の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。それぞれ、あてはまる番号1つに○、□内に数字（1枠に1字）をご記入ください。（低学年…1、2、3年生、高学年…4、5、6年生）

土曜日の利用希望は、「利用する必要はない」が68.0%と最も多く、「低学年の間は利用したい」が20.7%と続いた。

日曜日・祝日の利用希望は、「利用する必要はない」が86.7%と最も多く、「低学年の間は利用したい」が7.3%と続いた。

長期休暇中の利用希望は、「低学年の間は利用したい」と「高学年になっても利用したい」が4割台で拮抗した。

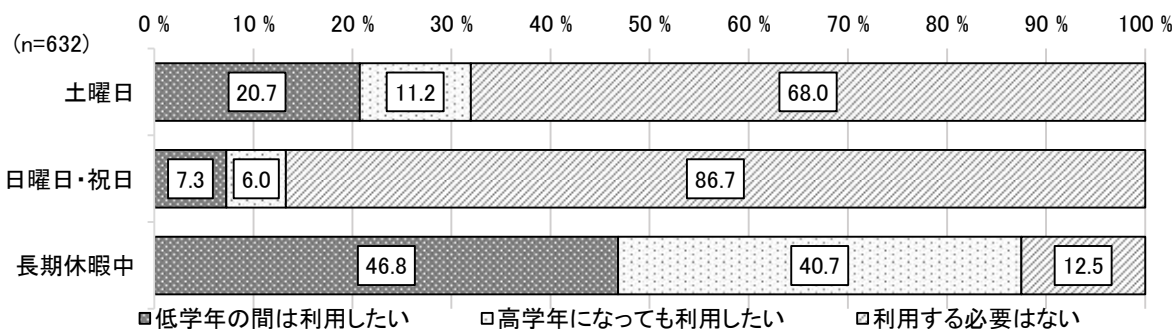


図 160 すまいるスクールの利用希望

■前回調査(H30 実施)比較

土曜や日曜日・祝日では「低学年の間は利用したい」「高学年になっても利用したい」のいずれも前回調査より減少している。

逆に、長期休暇中は「利用する必要はない」が12.2ポイントも減少し、「低学年の間は利用したい」「高学年になっても利用したい」のいずれも増加した。

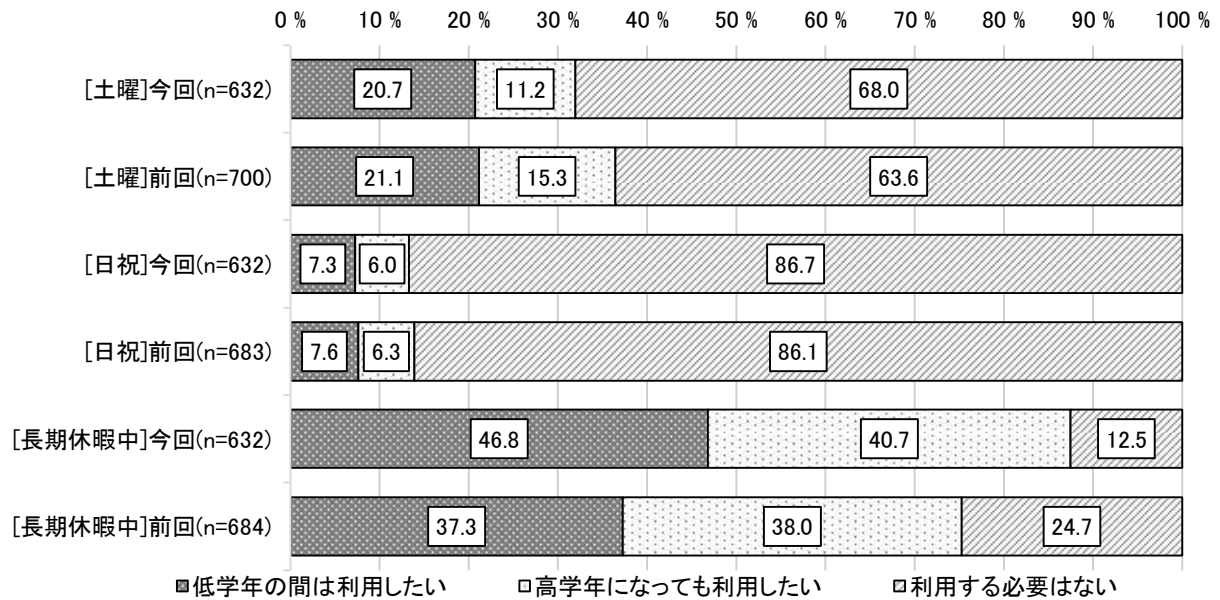


図 161 すまいるスクールの利用希望 (前回調査との比較)

13. 自由記述

(1) 自由記述【3歳未満：問25・3歳以上：問28】

問28 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

2,059人（回答者の54.6%）から回答があり、うち「特になし」の類を除く1,987人の回答について事業を中心とした分類に整理したところ、次図のような分布となった。

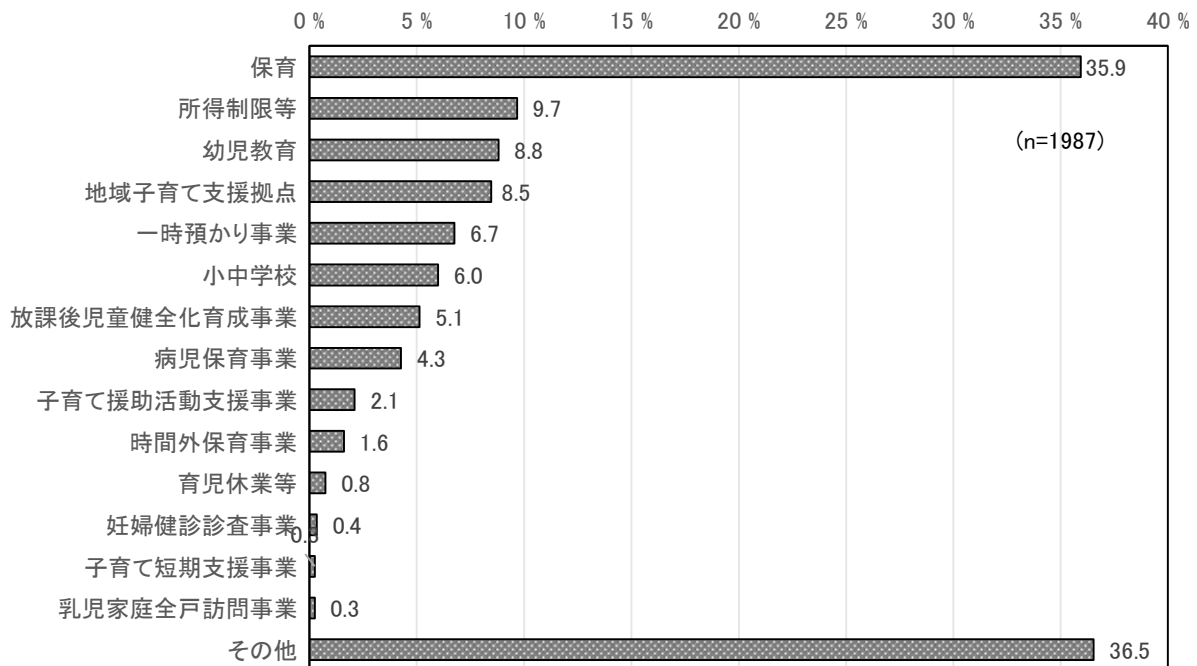


図 162 自由意見

主な意見（一部抜粋・要約しています）

保育	
要望	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育園は、現在はフルタイムで就労している場合に預けることができる施設になっているが、就労していなかったり、パート等で就労している場合でも、預けることができるようになってほしい。 ● 区立の保育園では買い物に行ってからお迎えに行くことは禁止されているが、迎えに行ってから買い物は、子ども同伴のためとても時間がかかり、それに伴い帰宅の時間も遅くなる。スーパーの買物に限り認めていただけると助かる。私立でも同じ運用ならまだ納得がいきますが、私立では特に何も言われないと聞いたことがある。 ● 住んでいる地域によっては他区の方が便利な場合もあるので、隣区の保育園（認可）にも通えるようにしてほしい。 ● 保育園に通っていると幼稚園との教育差に驚かされることが多い。付加サービス料金を支払ってでも、体操、ピアノ、水泳、工作、絵画などサービスを利用したい。土日の親のふれあい時間を増やすためにも選択制でこういったサービスを利用できればと思う。専業主婦と兼業主婦で子供の教育レベルが変わってしまうのでは働きたい女性が減るのではないか。 ● モンテッソーリ教育などを取り入れて、保育の質を高めてほしい。

意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 区内でも保育施設や子育て支援施設等の供給量等が地域によって大きく偏っていると感じる。特に区境だとないがしろにされているように思う。保育施設や支援施設の開設や改装等を考えてほしい。 ● 保育者および園児のマスク着用について懸念している。マスク着用により言語の発達に影響が見られるという話もある。 ● 保育園入園にあたり、早生まれが不利に感じる。他の区のように、早生まれ加点をしてほしい。0歳児ならどこでも保育園に入れるのに、1歳児は競争が激しい。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域により差があるとは思いますが、保育園の数は充足してきたと思う。今後は運営団体への定期的な監査等を行い、子どもたちや先生方が過ごしやすい状態を維持できるようにしてほしい。 ● 品川区は、待機児童問題を積極的に改善してくれるように感じられる。コロナが始まった頃に子を保育園に預けることになり、不安な部分もあったが、4月入園を6月まで延長できたりと、臨機応変に対応していただけてよかった。保育園は現在にいたるまで、閉鎖されることがなかった。公立の保育園のため、品川区のサポートを感じざるを得ない。 ● 区立保育園の先生は皆本当に頑張ってくれている。お給料を上げてあげてほしい。

所得制限等	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 国が実施した児童手当の所得制限について納得いかない。高所得になると保育園も入りづらくなり、税金や保険料ばかり多額に取られ、平等なはずの子供たちに対する支援も差が出るとなるとあまりに不公平である。千代田区のように区で独自の施策をとってほしい。 ● 所得による保育園の金額が変わるのをやめて。同じ保育の質を受けててどうして金額が違うのか。高所得の方が希望園にも入りにくい。税額が高いのに割に合わない。

幼児教育	
要望	<ul style="list-style-type: none"> ● 幼保一体の施設が限定されているため、施設を増設してほしい。幼稚園のような教育を受けさせたいと思っているが、保護者がどちらもフルタイム勤務のため保育園に預けざるを得ない。幼保一体型はフルタイムで働く親にも子供の教育を選択できる可能性を与えると考える。 ● 区立幼稚園を3年保育にしてほしい。2年保育では他の私立幼稚園の教育と差が出る気がする。 ● 幼稚園に関する情報が少ないように感じる。品川区のHPにも、名称・所在地だけでなく、スクールバスの有無・給食・預かり保育があるか等、一覧にして頂けると助かる。 ● 幼稚園の長期休暇中の預かり保育がないことに困っている。今は子供たちだけで留守番させているので心配である。
意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 幼稚園が少なく、住んでいる地域が激戦区で困っている。 ● 認定こども園・区立幼稚園等、幼保の施設が複雑で、何が違うのかわかりにくい。受けられる教育や保育の違いが知りたい。 ● 区立幼稚園に通っている。各種支払いが現金、かつ支払い先によって封筒を分けるなど非常に利便性が悪いので柔軟な支払い方法にしてほしい（振込み、引き落とし、電子マネー、カード払い等）。 ● 幼稚園、学校ともに連絡手段をメールにしてほしい。手紙は紙資源の無駄である。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 公立幼稚園は先生の研修などが充実しているようで、保育の質がよい。

地域子育て支援拠点

要望	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童センターをよく利用しているが、全体的に施設が古く、エレベーターがないので改装してほしい。 ● 児童センターの少ない地域は増えるとよい。 ● 児童センターの講座をコロナ以前のように実施してほしい。無料や安い価格で受けられる講座は、子どもにとっても専業主婦家庭にも助かる。学校以外の友達との交流はよい経験になる。 ● 保健センターの体操などのプログラムを増やしてほしい。幼稚園に通う子がいる場合に参加できる時間帯の親子体操がない。
意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 保健センター等相談員の差が大きい。真剣に悩んでいるから相談しているのに、面倒臭そうな態度を取られたことがあり、もう相談したくない。 ● 児童センターなどで開催しているイベントなどもっと周知してほしい。今は能動的に情報を取りに行かないと把握できないのでいつの間にか終わっていることもある。 ● 児童センターの事業は平日がメインで、複職後利用できない。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童センターをよく利用している。歩いて行ける範囲に子の遊び場があるのがありがたい。これからも是非運営を続けていただきたい。

一時預かり事業	
要望	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育園に通っていても、土曜日のオアシスルームを使用したい。保育園は基本的に就業時間しか預けられないため、働いていて兄弟を育てていたら、親は休む時間がまったくない。自身の通院すらできない。 ● オアシスルーム利用回数 60 回をもっと増やしてほしい。 ● オアシスルームの当日利用を可能にしてほしい。
意見	<ul style="list-style-type: none"> ● オアシスルームが地域により偏在している。 ● オアシスは 1 歳児の予約がすぐ埋まってしまい、急に必要になった時は利用できない。周りの 1 歳児もオアシスを利用できた事がないと話していた。近隣の保育園の一時保育もコロナの影響で一時保育を受付しておらず、港区の保育園の一時保育を利用している。本当に必要な時にオアシスが利用できるよになるとよい。 ● 以前オアシスルームを利用したことがあるが、持ち物などの準備（お弁当、バスタオル、等々）が大変で、短時間利用したくともなかなか気軽に利用できない。確かにオアシスルームは値段こそ安いですが、街中の一時保育であれば手ぶらで 1、2 時間預かってもらえるので、オアシスルームの利便性は低い。選択制で食事を出す等、なるべく親の手間を減らすようにするとよい。 ● 品川オアシスルームを利用したが、現金のみ、お釣り不可、と現代ではあり得ないサービス提供状況であった。かつ、スタッフさんもそれが当たり前のようにふるまわれ、自身の提供しているサービスが時代に大きく遅れていることを認識していない。ほぼすべての民間サービスで電子マネー、QR、クレジットカードいずれかの決済は使える時代であるため、行政の怠慢である。 ● オアシスは手順が面倒だった。産後一番辛い時に、各事業所ごとに出向き、面談して紙を書く等の手順が必要であり、なぜこのようなことをしなければならないのか疑問を感じた。自宅で手続きできるようにしてほしい。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ● もっと気軽に子供を預けられるような世の中になってほしい。先日初めてオアシスルームに預けてみましたが、短時間でも、とてもリフレッシュできた。こういう施設が増えてほしい。 ● オアシスルームを時々利用しています。保育士の方々は優しくしっかり子どもを見てくれているようで、安心して預けられる。 ● 子供と長時間一緒にいることはとても大変なことで、オアシスルームには体力的にも精神的にも助けられている。下の子が生まれた頃に家の近くにオアシスルーム戸越ができて、本当によかった。

小中学校	
要望	<ul style="list-style-type: none"> ● 子供が増えているのに学校数が増えていないため、教室数が足りなかったり、校庭が狭いなど環境が悪い。学校数を増やしてほしい。 ● 最も近隣の小学校へ通いたいのに通学を考慮した学区の見直しを進めてほしい。 ● 小学校の PTA 活動は平日昼間開催であることから、女性の集団になりやすいと考える。土曜開催など検討していただきたい。
意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 公立学校の教育内容や設備が、学校によって大きく差がある。 ● 小学生の通学の荷物が重い。 ● 子供が増えすぎて、1 人の担任がみるには、児童数が多すぎる。 ● 先生方の事務的な負担が大きすぎる。事務専門職員を置く、アプリ等活用して事務連絡の手間を省く(一部導入されてはいますが)等、もっと積極的に予算を割いてほしい。

放課後児童健全育成事業	
要望	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校のすまいるスクールでの昼食の宅配を実現してほしい。アレルギー対応を理由で検討が見送られているようだが、給食でも同じである上、アレルギー対応弁当がある業者を探せばよいだけである。また、一律全員宅食にするのではなく、選択制にして弁当持参にしたい家庭は弁当にすればよい。 ● すまいるスクール等で宿題を見てもらい、終わらせてきてほしい。 ● すまいるスクールは高学年では利用者がぐっと減ってしまうため、高学年でも楽しく過ごせる第三の場所を作って欲しい。
意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育園でも学童でも、コロナの影響で多様な体験をできる機会が減っている。 ● 小学校入学後はすまいるスクールへ通わせたいと思っているが、周囲の先輩保護者に「すまいるスクールでは子どもたちが放置されている。」「勉強したいのにうるさくてできない。」「コロナでイベントが激減した。」等の話を聞いた。子どもたちのすこやかな成長のため、また安心して子どもを預けられるよう、すまいるの質を向上させてほしい。軽食もおかしではなく、おにぎりやフルーツなど栄養価の高いものを出してほしい。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後上の子が小学生になるにあたり、すまいるスクールなども活用していく予定である。小学生と保育園児を抱える母になる身としては、すまいるスクールの存在はとてありがたいなと感じている。

病児保育事業	
要望	<ul style="list-style-type: none"> ● 病児保育の申請を簡略化してほしい。
意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 近くに病児保育施設がない。定員が少なく、オープンする時間も遅いた。結局午前中は仕事を休むことになり、定員オーバーの場合は預けられないとなると、利用を躊躇してしまう。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 病児保育も、コロナ以降は空きがあることが多く、いつも助かっている。

子育てに関する援助（子育て援助活動支援事業等）	
要望	<ul style="list-style-type: none"> ● 地区によってファミリーサポートの会員数に偏りがあるため、なくしてほしい。
意見	<ul style="list-style-type: none"> ● ファミサポは双子が 0 歳児のときに検討しましたが、平日に登録したり、登録場所まで行くことが大変で登録の壁の高さを感じた。もう少し簡易的にならないものか。 ● ファミリーサポートに問い合わせたが、近隣エリアでは会員不足で結局のところ実際に利用できる環境ではなかった。

時間外保育事業	
要望	● 急な用事などで子供を預けなければならないことがあるため、就労状況にかかわらず土日でも保育園を開園してほしい。
意見	● 土日利用するのに両親共に証明書が必要なのは利用しづらい。
評価	● 仕事の関係で夜間延長・土曜に通っていることも園に保育をお願いすることがあり、大変助かっている。どうしても必要な家庭は今後も利用できるよう制度を継続していただけると嬉しい。

育児休業等	
要望	● 地方公務員の夫でさえ育休がとれず、私は第一子産後に上司に残業を強要された。もう少し世間の意識の改革がされてほしい。 ● 母親が自営業をしているので育休をとれなかった。そのときに子供を預けて仕事ができる制度がほしかった。
意見	● 私は代表取締役のため、育休が取れなかった。代表取締役であっても、女性であることは変わりなく、育休がとれる国になってほしい。補償がないだけなので、自分のお金で安めという国の方針は理解しているつもりだが。

妊婦健診診査事業	
要望	● 妊婦検診への助成をもっと高くしてほしい。

子育て短期支援事業	
意見	● ショートステイ/トワイライトステイのある、あんしんセンターが自宅から遠い上、預ける時以外にも度々面談に行かねばならず、自転車で往復 1 時間かけて子供を連れていく。その度に仕事を休み、保育園は遅刻させて行かなければならないのも負担である。もっと気軽に行ける距離にあればと思い。
評価	● あんしんセンターが近くにあり、トワイライトが利用しやすく、働きながらまた病気の治療もあるので、子育て環境に助かっている。 ● 仕事の都合で、ショートステイ/トワイライトステイを利用している。利用料金も民間のベビーシッターなどに比べると遥かに手頃で、大いに助かっている。

乳児家庭全戸訪問事業	
評価	● 保健師さんの新生児訪問を生後 3 ヶ月まで続けてくださり、分からないことや不安を聞いていただき、とても安心した。

その他	
要望	● 公園の遊具を新しくするなど、整備してほしい。 ● 産後ドゥーラの数を増やしてほしい。 ● 各種の利用手続を簡易化してほしい。 ● 多胎児家庭への支援拡充をしてほしい。 ● 図書館を充実してほしい。 ● 柔軟に気軽に一時預かりなどができるシステムがあるとよい。もしくは、地域でそのようなグループ作りができるような体制を構築したい。 ● 土日に預かってくれる施設が増えてほしい。不定期にある土日の就労のために、休日保育の利用などしているが、日曜祝日は認定で費用なしで保育園同様の時間で預けられる一方、土曜日はオアシスルームを使う等で費用がかかったり、預けられる時間が短い。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て支援の施策をもっと認知度が上がるように周知してほしい。アンケートの中に出てきたものも知らないものが多かった。 ● 区内で利用出来る室内施設をもっと充実すると嬉しい。 ● コロナ禍ということもあり、なかなか同じ月齢の子をもつお母さんと出会えず、孤独な育児になっている。コロナ禍以前のように交流できる場を設けてほしい。
意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 路上喫煙を取り締まり、罰則措置を取る等、対策をしてほしい。子が公園などで遊んでいる隣でタバコを吸う人達は注意しても聞かない。それどころか副流煙でむせる子供達に手を振り上げ怒鳴り散らし文句を言って子供達を怖がらせる。そんな人達があちこちにおいて、個人ではもう対応しきれないことばかりである。純粋な子供達の心や体が殺虫剤と同じ成分であるタバコの副流煙で汚れている事実を目を背けるべきではない。 ● サービスの種類や名称が細々別れており、各サービスの説明の紙ばかりが山積みになっている。実際に利用したい場合に調べる手間がかかる。各サービスをシンプルでわかりやすいオンラインサイトで閲覧したい。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 品川区は子育て支援が充実していると聞き、ありがたい。 ● 今年度から産後ドゥーラだけでなくベビーシッターにも助成制度ができて本当に助かっている。